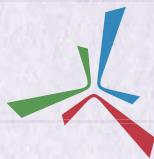
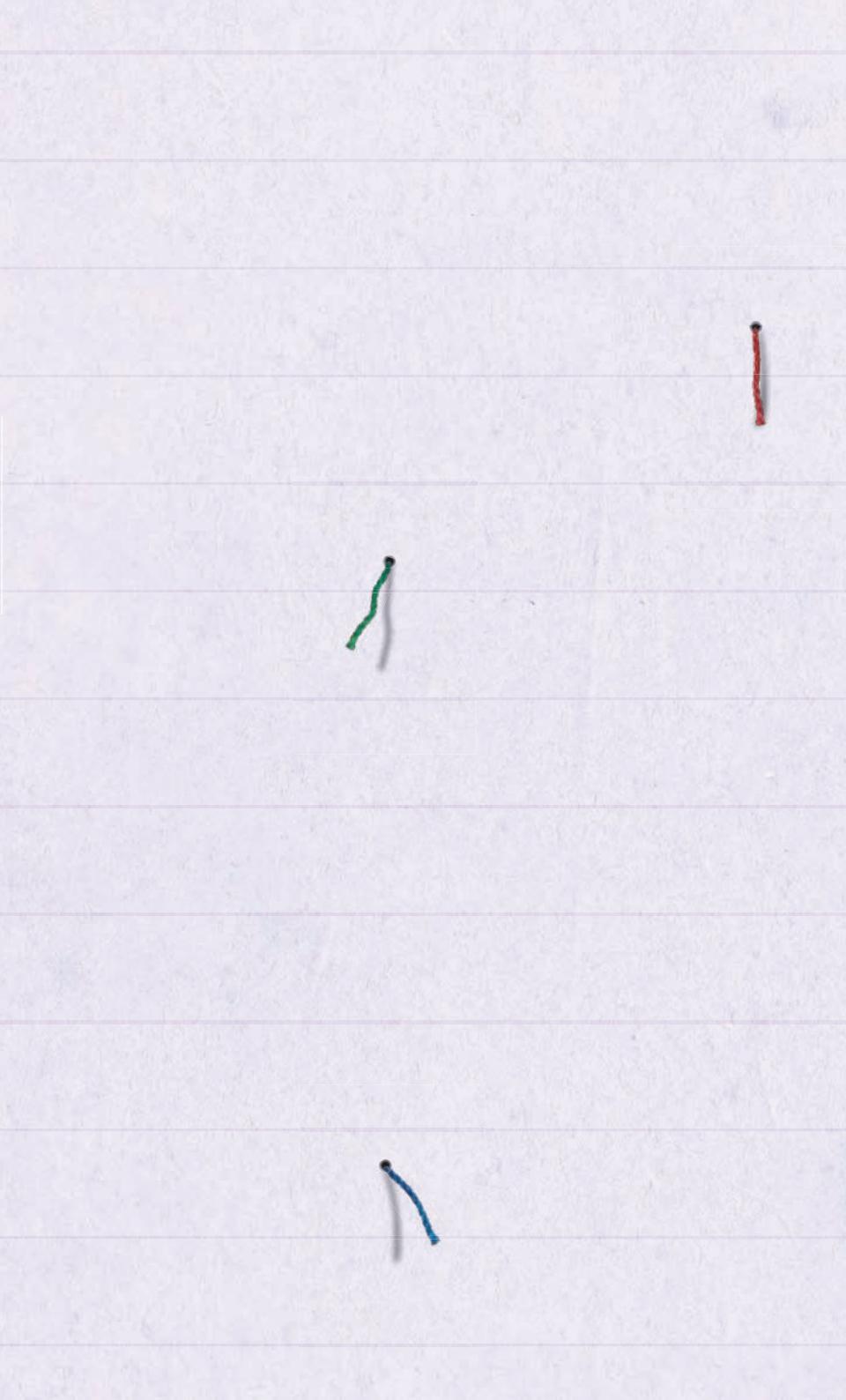


広島市立大学
Hiroshima City University

大学案内 2017





広島市立大学
Hiroshima City University

大学案内 2017

国際学部 International Studies

情報科学部 Information Sciences

芸術学部 Arts



Contents

学長メッセージ	014
建学の基本理念	016
人材育成の目標／アドミッション・ポリシー	017
学部構成図	018
教育の特色	020
全学共通系科目	022
外国語系科目／資格取得関係科目	024
国際交流	025
留学体験記	026
大学院	117
広島平和研究所／附属施設	125
・広島平和研究所	126
・附属施設	128
 Campus Life	
・学生座談会	132
・キャンパスカレンダー	136
・大学生活サポート	138
・クラブ＆サークル	140
・キャンパスマップ	144
就職	147
・キャリア・就職サポート	148
・就職活動体験談	150
・就職データ・Voices（卒業生）	151
ウェブサイト紹介	158
入試情報	160
アクセスマップ	162
MEMO	163

国際学部
International Studies

International Studies Information Sciences Arts

学部長メッセージ	030
求める人物像	036
教育方針	037
年次チャート、学部共通科目	038
5つのプログラム	039
・国際政治・平和プログラム	040
・公共政策・NPOプログラム	041
・多文化共生プログラム	042
・言語・コミュニケーションプログラム	043
・国際ビジネスプログラム	044
国際理解・少人数教育の重視	045
HIROSHIMA and PEACE	046
CALL英語集中	047
教員一覧	048
国際学部のユニークな研究紹介	050
海外研修	051
Voices	052
学部長メッセージ	058
求める人物像	064
教育方針	065
年次チャート、学部共通科目	066
[情報工学科]	067
・コンピュータコース	068
・ネットワークコース	068
・コミュニケーション基盤コース	069
[知能工学科]	070
・知能ソフトウェアコース	071
・知能メディアコース	072
・知能サイエンスコース	073
[システム工学科]	074
・人間・ロボット共生コース	075
・インターフェースデザインコース	076
[医用情報科学科]	077
臨床情報医学プログラム	079
教員一覧	080
情報科学部のユニークな研究紹介	084
Voices	086
学部長メッセージ	092
求める人物像	098
教育方針	099
年次チャート、学部共通科目	100
[美術学科]	101
・日本画専攻	102
・油絵専攻	102
・彫刻専攻	103
[デザイン工芸学科]	104
・現代表現	105
・視覚造形	105
・立体造形	106
・映像メディア造形	106
・金属造形	107
・染織造形	107
・漆造形	108
教員一覧	108
芸術学部のユニークな研究紹介	110
創作工房・実習アトリエ一覧	111
Voices	112







Learning Commons

ichi-como

01



02



03





Café





青木 信之
AOKI Nobuyuki
広島市立大学長

国際平和文化都市の「知」の拠点

広島市は「国際平和文化都市」として
国際的にも歴史的にも特別の役割を担った都市です。

その広島市が「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」として
一九九四年に設置した公立大学、それが広島市立大学です。

国際学部、情報科学部、芸術学部、そして広島平和研究所という
特色ある三学部一研究所構成の本学は

国際平和文化都市の「知」の拠点、地域と共に生し、

市民の誇りとなる大学を目指し、教育・研究を行っています。

二〇一五年には文部科学省「地(知)の拠点大学」による
地方創生推進事業(COC+)にも採択され、

拠点大学としての役割をさらに強化することを期待されています。
また、今年度から国際学生寮の整備、平和学研究科の開設など、

本学がさらに飛躍するための取り組みを掲げた第二期中期計画が始まりました。

広島の地で国際学、情報科学、芸術学、平和学を学び
世界と地域での活躍を志す皆さん入学を待っています。

建学の基本理念

科学と芸術を軸に
世界平和と地域に貢献する
国際的な大学

広島市立大学が基本理念として掲げた「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」という言葉には、科学・文化の発展と世界平和を希求する広島市の意志と、公立大学としての地域貢献への期待が込められています。そうした本学の使命は、学術の中心として、深く専門の学芸を教授研究し、次代を担う感性と創造力の豊かな人材を養成するとともに、優れた教育研究の成果を地域に還元し、もって文化の向上と社会の発展に寄与することにあります。

国際平和文化都市を都市像とする広島市に設置された本学は、国際学部、情報科学部、芸術学部の3学部、そして大学院博士前期・後期課程として、国際学研究科、情報科学研究科、芸術学研究科を有する総合大学です。また世界平和と人類の幸福を実現するための研究や提言を行うことを目的とする広島平和研究所を附置研究所として設置しています。

広島市立大学は、特色のある独自の教育研究活動を通じて、世界と地域が求める時代の要請に応え、本学の目標である「国際平和文化都市の『知』の拠点一地域と共に共生し、市民の誇りとなる大学一」を築き上げていきます。

人材育成の目標

広島市立大学は、豊かな感性と真理探究への情熱を持ち、多様な文化と価値観を尊び、平和を希求する人材を育成します。さらに、幅広い知識と確かな専門性を有し、高い倫理観を持って広く社会に貢献できる人材を育成します。

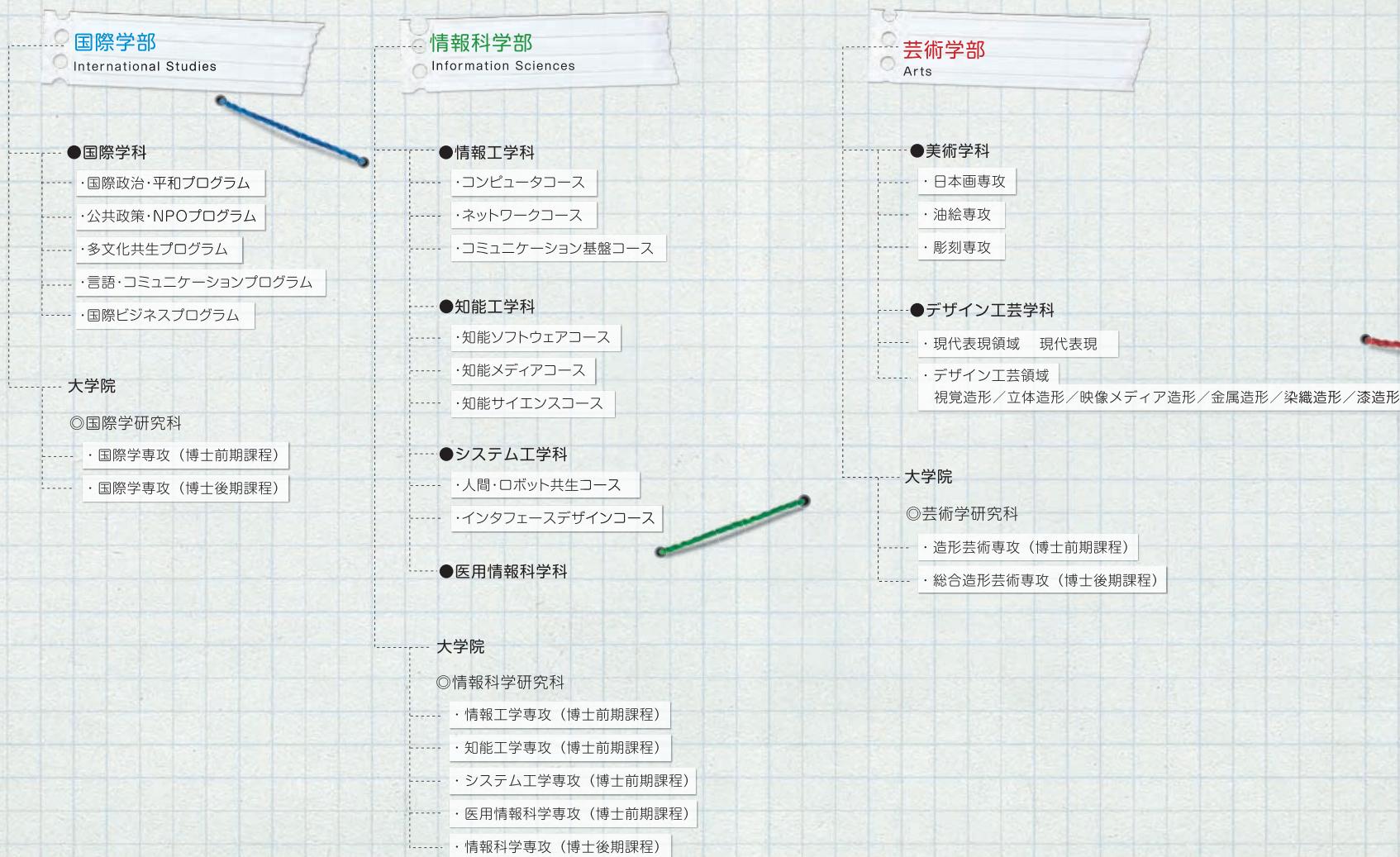
Admission Policy

アドミッション・ポリシー

広島市立大学は、次のような人の入学を求めています。

- 人間性豊かで、向学心の旺盛な人
- 知的好奇心と探究心を持ち、知の創造と活用に意欲のある人
- 世界平和と地域・国際社会の発展に積極的に貢献したい人

学部構成図



教育の特色

● 徹底した少人数教育

本学では、学部学生約1,800名に対し、約190名の専任教員を配置しています。教員1名当たりの学部学生数は約9.5名です。このような恵まれた教育体制を特徴とし、演習科目や多くの授業で少人数教育を実践しています。少人数教育で教員と学生相互の緊密な人間関係を築き、学習面のみならず、課外活動や進路選択など学生生活全般にわたりてきめ細かい指導を行っています。

● 基礎演習の全学実施

少人数教育の代表は1年次の必修科目「基礎演習」です。この科目は、大学で学ぶための基礎的能力や問題発見・解決能力、さらにコミュニケーション能力を高めることを目的としています。具体的には、資料の検索や収集の仕方、文献の読み方、レポートやレジュメ(要約)の書き方、プレゼンテーションや討論の仕方などを学び、高校教育から大学教育への円滑な移行のためのオリエンテーション的機能を果たしています。授業では教員と学生相互の討論が行われることが多く、コミュニケーションを図り学習集団の形成にも役立っています。

● いちだい知のトライアスロン

「いちだい知のトライアスロン」は、「知る・考える・伝える」能力の向上と豊かで幅広い教養を培うことを目的として、3学部の特徴を生かし、質とともに量を重視した読書、映画鑑賞、美術鑑賞を大学全体で推進する教育プログラムです。このプログラムでは、大学で開発した専用のウェブシステムを使い、学生が読んだ本や鑑賞した作品の感想レポートをオンラインで提出し、担当教員からコメントが返信されます。附属図書館、語学センター、芸術資料館などの学内施設では、学生がより多くの作品に挑戦できる環境を整え、「コメント大賞」や「知の鉄人」などユニークな企画を数多く実施しています。また、広島市内の美術館や広島市映像文化ライブラリーとも連携し、これらの学外施設を会場に本学教員による講演やギャラリートーク、映画上映会等を組み合わせた「出張講座」を年に数回開催しています。

美術館キャンパスメンバーズ制度

学生により多くの芸術作品に触れてもらうことを目的に、「広島県立美術館」および「ひろしま美術館」のキャンパスメンバーズ制度に加入しています。本学の学生は、これら2つの美術館の常設展・特別展(広島県美術展を除く)を無料で鑑賞することができます。

● 総合共通科目のパッケージ化(関連科目群)

主に1・2年次に履修する総合共通科目では、3学部の教員が連携し、それぞれの専門性を生かし、複合領域にわたる講義を行っています。総合共通科目では、受講生に科目構成を分かりやすく提示するため、テーマに沿って関連する科目を整理したパッケージ(関連科目群)を設けています。パッケージとして例えば「平和を学ぶ」「自然の仕組みを知る」「アートに親しむ」などがあります。

こうしたパッケージを参考に、受講生は各自が関心のあるパッケージの中から、それに含まれる科目を履修していくことで、系統的な学習を進めることができます。

● キャリア教育の推進

卒業後の進路や職業選択に向けた学生のキャリア形成支援を目的に、「キャリア形成・実践科目」を設けています。柱となる「キャリアデザイン」では、グループワークやさまざまな分野で活躍する社会人の講演などを通じて、大学で学ぶことと社会で働くことの意義や関係性を理解し、社会人にとって必要な力を身に付けるとともに、自分自身のライフプランを考えていきます。「キャリアサポートベーシック」では、キャリアデザインの実現のために必要な知識・スキルを学び、具体的な実践力を養っていきます。

また、企業で行われるインターンシップ(国際学部と情報科学部)や学校でのインターンシップ(国際学部のみ)に参加することで、専門科目的単位として認定される制度があります。インターンシップは、就業体験を通じて、職業に対する意識を高めることを目的としています。

2014年4月には新たにキャリアセンターを設置し、従来からの就職支援にとどまらない総合的なキャリア教育を、全学を挙げて実施する体制を整えました。

● 広島・地域を学ぶ科目が充実(COC+^{*} 関連)

「地域に愛着・誇りを持ち、地域に根付いて、その発展に貢献する人材」の育成を目指して、①広島および周辺地域の魅力や現状を知り、②課題解決に向けた方策を考え、③自治体や企業等と連携し、④各学部等の専門性を發揮して活動することができますが段階的に身に付くように、選択的に学べる「地域貢献特定プログラム」を、全学部の教育課程に組み入れています。このプログラムの科目には、大学内での講義のほか、学外での実践的な学修活動を行うものもあります。

^{*}COC+とは、「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」の略称で、自治体・企業等と協働して地域に貢献する人材育成を行う大学に対する文部科学省の補助事業です。本学は、2015年度にこの事業に応募し、採択されました。

全学共通系科目

学部を越えた共通科目の学修で、知識・感性・人間性を磨く

本学では、学部の専門的な科目に加えて、「総合共通科目」「一般情報処理科目」「保健体育科目」の3分野で構成された全学共通系科目を設置。各専門分野をはじめ、人間と文化、社会、科学とのかかわりや創造と表現、コンピュータリテラシーなどを学び、社会人に求められる理解力・判断力・表現力を総合的に身に付けていきます。

区分	科目		
全学共通系科目	総合科目	地球環境論 地域再生論入門 創作と人間 心の健康・身体の健康	メディアと社会 情報社会論 情報と企業 NPO論
		広島の産業と技術 ひろしま論	広島の觀光学 地域課題演習
		平和と人権A（ヒロシマと国際平和） 平和と人権B（現代世界と人権） 広島からの平和学：実践の方法 平和インターンシップ	
		哲学 A・B 世界の宗教 心理学 歴史学 現代史 A・B 世界の文学 法学（日本国憲法）	政治学 経済学 社会学 文化人類学 自然人類学 経営学
	共通科目 B (数理と自然)	数学概論 物理学概論 基礎物理学 化学概論 基礎化学	生物学概論 基礎生化学 情報科学概論 物理・化学実験
		デッサン概論 油絵入門 日本画入門 立体造形概論	プレゼンテーション技法概説 デザイン工芸概論 コンピュータ・アート
	基礎・教養演習	基礎演習	教養演習
	キャリア形成・実践科目	キャリアデザイン キャリアサポートベーシック	国際交流演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ
	一般情報処理科目	情報基礎	情報演習
	保健体育科目	健康科学	体育実技Ⅰ・Ⅱ

※ 科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

ユニークな科目

» ひろしま論

3学部1研究所で構成する本学の特色を生かした科目です。国際、情報、芸術、平和の各領域において、広島をキーワードに幅広いテーマを設定し、各テーマに造詣の深い講師がオムニバス形式で授業を行います。さまざまな観点から広島の歴史、文化、経済、産業、行政などをひもとくことでその特色を知り、地域社会への関心を深め、地域社会の問題解決と発展を思考できる幅広い見識を持った人材を育てることを目的としています。また、国際平和文化都市広島の原点である被爆体験や広島の平和の取り組みについても学びます。

» 平和と人権A(ヒロシマと国際平和)

人間が生まれながらに持つ権利(人権)と個々人が備え持つ固有の価値(尊厳)が保証され、守られる状態を広い意味での「平和」ととらえるなら、人権や人間の尊厳が傷つけられ、侵される最も顕著な例は戦争です。講義では、広島の戦争経験のうち、今から70年前に投下された原子爆弾による被爆体験に焦点を当てます。その上で、先の大戦の経緯や原子爆弾の投下過程と被害の実相、現代世界における核兵器の存在状況や意味を考えながら、平和を実現するための課題について探求します。広島平和研究所の研究員や国際・情報科学・芸術学部の教員、さらには学外の有識者や被爆者などを講師として迎え、講義では映像や図像等も積極的に活用します。

» 情報と企業

ICT(情報通信技術)を中心とした各企業の取り組みを通じて、実社会の状況を知ることを目的としています。国内外のさまざまな企業の第一線で活躍の方々を講師として迎え、ICTを中心とした各企業での取り組みについて講義をしていただいています。また、この科目は、遠隔講義環境を利用して、慶應義塾大学、京都大学、広島市立大学の3拠点をネットワークで結び、本学から参加できるようにしています。両大学における講義を聴講するだけでなく、質疑応答等七合目双方向の対話が可能です。

» 創作と人間

芸術学部を有する本学の特徴を最大限に生かし、全学部生を対象とし、美術に関する幅広い教養と知識を養い、人間の根源的な創造または創作する気持ちを触発し、作品を造る喜びを伝える本学ならではの科目です。絵画・彫刻・工芸・デザイン等の各領域で、優れた技術と豊富な経験を持つ芸術学部教員が、自らの創作体験や作品の紹介を通して創作への姿勢を示し、その多様な芸術観に触れる機会を提供することで人間的な創作について考察します。

» 基礎演習

大学での学びに必要な基礎的能力を、入学間もない時期から少人数グループで学修する科目です。学部独自のカリキュラムで、情報収集やプレゼンテーションの仕方、レジュメ(要約)等の書き方、そして図書館等の附属施設を効果的に利用する方法などについて、各担当教員が工夫して授業を行います。また、教員と学生相互がコミュニケーションを図る機会となり、大学生活全般のオリエンテーションとしても役立っています。

※国際学部においては、専門基礎科目的「基礎演習I」を「基礎演習」に相当する科目としています。

外国語系科目

地球社会に生きる国際人に必要な語学力の習得

最新の設備や機器を備えた語学センターや外国人教員による直接の指導、多彩な教材など、ハード・ソフトの両面から外国语の学習環境を提供。読むこと、書くこと、話すこと、聞くこと、考えることという総合的で実践的な語学力を身に付け、21世紀の国際人として活躍できる力を養います。

●徹底した訓練を行う「CALL英語集中」

本学では、コンピュータ利用による英語訓練授業「CALL英語集中」により、英語力の養成を図っています。この授業では、語学センターや情報処理センターのコンピュータを使って、1年次は英語のリスニング、リーディング、文法を集中的に学習。2年次はそれに加えて、スピーキングやライティングを学習し、英語表現を徹底的に身に付けています。授業は、指定された約2カ月間に自分の都合やベースに合わせて学習を行うもので、学習の開始前と終了後にTOEIC IPテストを受験。国際社会に不可欠な英語力を確実に高めていきます。

●能力別少人数の「英語応用演習」

「CALL英語集中」とは別に、1クラス10~15名という少人数授業「英語応用演習」を開設。ここではスピーキングとライティングの技能を集中して鍛えるための授業を行います。このクラスは能力別の編成を行い、各クラスのレベルに適したシラバスとテキストを使って、きめ細やかな指導を行います。

資格取得関係科目

本学では、教育職員免許状受領資格や学芸員資格を取得するための科目を開設しています。

(取得可能な資格・関係科目は以下のとおりです)

取得可能な資格

国際学部	●中学校教諭一種免許状(英語)	●高等学校教諭一種免許状(英語)	●博物館、美術館などの学芸員
情報科学部	●高等学校教諭一種免許状(数学)※医用情報科学科を除く	●博物館、美術館などの学芸員	●高等学校教諭一種免許状(情報)
芸術学部	●中学校教諭一種免許状(美術)	●高等学校教諭一種免許状(美術)	●博物館、美術館などの学芸員
	●高等学校教諭一種免許状(工芸)※デザイン工芸学科に限る		

区分	科目		
教育職員免許状受領資格取得関係科目 (教職に関する科目)	教師論	教科教育法(情報)I・II	教育実習I・II
	教育原理	教科教育法(美術)A・B1・BII	教職実践演習(中等)A・B・C
	教育心理学	教科教育法(工芸)I・II	学校インターンシップ
	教育経営学	道徳教育論	教職特講
	人権教育論	特別活動論	
	教育課程論	教育方法・技術論	
	教科教育法(英語)A・B1・BII	生徒・進路指導論	
	教科教育法(数学)I・II	教育相談論	
学芸員資格取得関係科目	生涯学習概論	博物館資料論	博物館教育論
	博物館概論	博物館資料保存論	博物館情報・メディア論
	博物館経営論	博物館展示論	博物館実習

国際交流

広島市立大学は、建学の基本理念としても、広島ならではのメッセージを世界に発信できる特別な都市にあることからも、国際的な大学となることを強く期待されています。2013年には、大学の国際化をより一層強力に推進するため、国際交流推進センターを設立し、学生の海外留学派遣および留学生受け入れのための企画・実施等を全学で一元化し運営する体制を整えました。今後は、さらに各種国際交流プログラムを開発・充実させるなど、学生の語学や専門知識・技能の習得はもとより、異文化環境の中で活躍できるグローバル人材を輩出していく重要な牽引役を担っていきます。加えて留学生と日本人学生が共同生活を行う「国際学生寮」の整備を進めており、国籍の枠を越えた寮生が共同生活を行うことにより、グローバルな視野を持ち、対人関係の構築や多様性を受け入れ共感する力に優れたタフな人材を育成していきます。

●海外学術交流協定大学等への学生派遣

現在、ハノーバー専科大学(ドイツ)、アラヌス大学(ドイツ)、ベルリン・バイセンゼー芸術大学(ドイツ)、ベルリン・フンボルト大学(ドイツ)、ハワイ大学マノア校(アメリカ)、オルレアン大学(フランス)、レンヌ第2大学(フランス)、西京大学校(韓国)、梨花女子大学校(韓国)、西南大学(中国)、国際関係学院(中国)、上海大学(中国)、国連平和大学(コスタリカ)など協定を結び、交流・学生交換留学を推進しています。派遣留学は、本学に在籍したまま、半年あるいは1年間留学するもので、派遣先の大学で修得した単位は、一定の条件のもとで本学の単位に認定されます。

●海外からの留学生の積極的な受け入れ

建学の基本理念である国際的な大学を実現するために、また、国際レベルでの教育研究の交流を緊密にするために、外国人特別選抜制度を設けて、海外からの留学生、特にアジアからの留学生の受け入れに積極的に取り組んでいます。2015年度の実績では、受け入れ留学生数は96名、うち海外学術交流協定大学からの交換留学生は15名で、公立大学の中でも国際交流が盛んな大学です。そして、本学で受け入れた留学生の学習や日本での生活がスムーズに進むように、日本語や日本の事情・文化を学ぶ科目を充実するとともに、奨学金の紹介など、さまざまなサポートを行っています。

●海外語学研修参加による単位修得

毎年、多数の学生が海外で行われる語学研修に参加しています。また、大学が指定する研修に参加すると、科目「国際交流演習」の単位として認定される制度があります。

○海外語学研修補助事業

学生が海外の大学または研修機関で語学研修を受ける場合に、旅費、研修費用等の2分の1を1人につき20万円を限度に補助します。補助金交付に当たっては、2年生以上の学生を対象とし、広く学内から公募します。応募者が多い場合には、本学での成績や面接等に基づいて選考します。

2015年度実績(研修先国および人数)

アルゼンチン(1名)、オーストラリア(2名)、カナダ(2名)、アイルランド(1名)、フィリピン(1名)



01

オマル・ロサレス

芸術学研究科総合造形芸術専攻 博士後期課程3年

日本で生活し研究するという経験は、アーティストとして、また、ひとりの人間としての私の人生をとても豊かなものにしています。日本での留学は、メキシコと異なる教育体系を知ることや世界中の人々を友人に持つことを可能にしています。芸術学研究科の教授たちは、私の国の文化を理解すると同時に、いつも寛大な心をもって私を指導し、一番良い方法をもって問題解決を行ってくれます。また、日本人学生達は、私の作品制作への異なるアプローチに強い関心を示し理解してくれます。このような良い関係・環境により、現在までにメキシコや韓国、イスラエル、アメリカ、そしてタイなどの他のアーティストとのさまざまなプロジェクトを実現できたのです。

ドゥロー・アーゴタ

国際学研究科国際学専攻 博士後期課程2年

2014年10月に広島市立大学に大学院生として入学し、現在、国際学研究科博士後期課程2年生です。広島の原爆爆弾投下を主なテーマとし、特に1970年代に在韓被爆者の支援運動に深くかかわっていた日本人の活動について研究しています。原爆が投下された当時、広島・長崎に多くの韓国朝鮮人が住んでいたこと、また70年代に在韓被爆者が日本人被爆者と同じ権利を得るために、彼らを一生懸命支えた日本人が大勢いたということは殆ど知られていません。しかも、それらの事実を記載した英語資料も存在しません。そのため、私は日本人による在韓被爆者の支援運動・支援活動を博士論文のテーマとして、英語で論文を書いています。研究以外では、英会話を教えたり、日本各地に旅行したり、友達と一緒に飯を食べたり、カラオケに行ったりと、広島でとても楽しい日々を過ごしています。将来はできれば日本で就職し、数年間ここで住み働きたいと思っています。

私の

留学体験記
Study Abroad Experiences

02

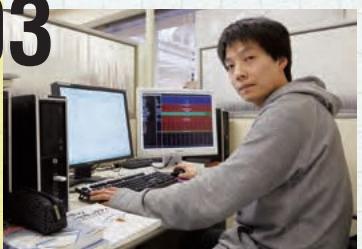
薛斌斌

情報科学研究科情報工学専攻 博士前期課程1年

私は将来、幅広い知識を持つ技術者になりたいと考えていたので、ハード・ソフト両方の知識・技術が学べる広島市立大学の情報科学部に入学しました。情報科学部では電子工学、計算機工学、通信工学など多分野の知識をバランス良く学ぶことができます。私はこの春学期を卒業し、大学院に進学しました。現在は、論理回路システム研究室に所属し、主に車載LAN(Local Area Network)侵入防止システムを研究しています。近年の自動車は、制御の電子化により、運転者にさまざまな新しい機能を提供す

る一方、それに伴うセキュリティリスクも増加しています。そのため私は、車載LAN侵入防止システムに関する研究を専門としたエンジニアとなり、情報関連産業の発展に貢献したいと思っています。また、学外でアルバイトをしています。そこで色々な人と出会い、日本語の勉強にもなります。もちろん自身の研究が一番重要ですが、アルバイトをすることで、私生活の充実や社会的な経験等も得られると考えています。

03



薛斌斌

情報科学研究科情報工学専攻 博士前期課程1年

私は将来、幅広い知識を持つ技術者になりたいと考えていたので、ハード・ソフト両方の知識・技術が学べる広島市立大学の情報科学部に入学しました。情報科学部では電子工学、計算機工学、通信工学など多分野の知識をバランス良く学ぶことができます。私はこの春学期を卒業し、大学院に進学しました。現在は、論理回路システム研究室に所属し、主に車載LAN(Local Area Network)侵入防止システムを研究しています。近年の自動車は、制御の電子化により、運転者にさまざまな新しい機能を提供す

る一方、それに伴うセキュリティリスクも増加しています。そのため私は、車載LAN侵入防止システムに関する研究を専門としたエンジニアとなり、情報関連産業の発展に貢献したいと思っています。また、学外でアルバイトをしています。そこで色々な人と出会い、日本語の勉強にもなります。もちろん自身の研究が一番重要ですが、アルバイトをすることで、私生活の充実や社会的な経験等も得られると考えています。

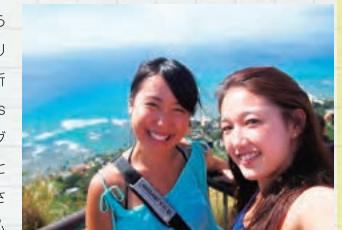
三好 花奈

国際学部国際学科4年 (2015年8月から半年間ハワイ大学マノア校に派遣留学)

ハワイ大学のキャンパスは、豊かな緑に囲まれ、ビーチまでバスで15分程という誰もがうらやむ環境の中になります。私はここで、市立大学での専攻と同じように政治学とジャーナリズムの授業を中心に行いましたが、授業の内容といい、形式といい、そのほとんどが真新しいものばかりでした。植民地化の構造や、それが先住民に与える影響を学ぶ「Indigenous Women and Politics」という授業では、政治学の授業にもかかわらず、毎週リーディング以外にも、授業内容を踏まえて「詩を作る」、「(写真を切り貼りして)コラージュを作る」といった課題が出され、アートを使って先住民に関わる問題を提起する方法を学びました。さて、忘れてはならないハワイ留学の特権は、何と言っても大自然に触れられることです。私も暇さえあれば、シュノーケリング、カヤック、ハイキングに出かけていました。ある時は崖から海にジャンプ、またある時はマウイ島まで足を延ばし、(ハワイなのに)極寒の山頂でのキャンプを経験するなど、自然の中で培った度胸と体力は大きな財産です。ハワイほど「よく学び、よく遊ぶ」を実現できる場所はないでしょう。「ハワイ留学?いいね~うらやましい」と言え切れないので、これがばかりは「その通りです」と認めるしかありません。どうですか、みなさんも留学してみたいになりましたか?

(写真左が三好さん)

04



さまざまな人々との出会い、
いくつも感じた体験がある…

森本 隆志

情報科学部システム工学科2年

私は2月25日から3月2日までシンガポール短期研修に参加しました。今回は情報科学部からただひとり国際学部の学生に交じって参加し、多くの経験をさせていただくことが出来ました。シンガポールでは、現地の大学生との交流やホームステイ、企業訪問などを実行しました。私にとって最も印象深い体験はホームステイです。日本とは全く違う文化や食事、英語しか通用しない環境など、全てが海外でしか得られないものでした。また、そうした経験だけでなく、ホームステイを通じて知り合った数多くの友達も私にとってかけがえのないものになりました。このホームステイでは海外に出ていくことの重要性を実感するとともに、英語学習へのモチベーションを高めることができることが出来ました。情報科学部の学生は国際学部の学生と比べると、やはり普段から英語を学ぶことに深く関心を持っているないように感じます。今回の短期研修のような、所属学部に関係なく海外に行く機会をもっと多くの人に利用してもらいたい、たくさんの方々の経験をしてもらいたいと思います。

(写真左が森本さん)



05

吉本 芽以

芸術学部美術学科油絵専攻4年

(2015年3月から約1年間ハノーバー専科大学に派遣留学)

私がドイツ留学を決めたのは外国人留学生との交流がきっかけでした。異国の日本で勉強するのは大変だろうなと感じつつも、一方それは大変面白そうだと思ったのです。私が所属する芸術学部の派遣先は、ドイツにある3つの協定校が一般的です。その中で、私は総合大学で語学の授業を受けられるという点からハノーバー専科大学を選択しました。ドイツ語は2年前から学習していたものの、留学開始後半年位は中々喋れるようにはなりませんでした。ドイツの大学では「描く」授業だけでなくパフォーマンスの授業にも挑戦しました。これは、ある作家の文章から作品を割り上げるというもので、舞台作家の先生が授業を取り仕切ります。文庫自体の解釈が難しく大変でしたが、最後に市の美術館でパフォーマンスできることは大きな成果でした。留学開始前は異国で暮らすことに戸惑いましたが、最終的には現地での友人や新たな知識、経験など、多くを得ました。

06





国際学部

International Studies

混沌とした世界を生きぬく術を広島で学ぼう

かつて人びとは、さまざま期待を二十一世紀に寄せてきました。
特に戦争の世紀と呼ばれた二十世紀の反省は、

世界に平和を渴望させ、広島は、その一つの出発点でありました。

しかし、世界の行く末は、決して予定調和というわけにはいかないのです。
複雑で混沌とした現代世界を生きぬくための術は、どこにあるのでしょうか。

そこに単純な一つの正解はありません。

だからこそ、さまざまな視点からのアプローチが必要になるでしょう。
相手といかに密なコミュニケーションをとることができるか。

歴史や文化といった私たちの背景には何があるのか。

社会や政治、経済はどのように動いているのか。

それらの知識を、人びとがともに、仲間として生きていくために用いるには、どうすれば良いのか。

これらは、単に情報としての知識だけではなく、

実際に人びとと触れあう中で学び取っていくものです。

学際性、専門性、そして少人数教育。

時代のニーズに応える教育が、広島の地に、国際学部にあります。

吉田 晴彦
YOSHIDA Haruhiko

国際学部長







見つめる先は国際社会、自由なアプローチで豊かな人間性を培う

求める人物像

Admission Policy

身に付けた外国語を生かしたい、ビジネスの現場で活躍したい、
日本や世界、各地域の問題に強い関心があるなど、
21世紀社会を担う意欲を持った人を歓迎します。

1

幅広い分野の基礎的な知識を理解し、
さらに考えを深めて自らのことばで表現できる人

2

日本語と外国語の能力を磨き、コミュニケーション能力を高めて、
さまざまな国や地域の人々と交流したい人

3

国際社会や地域社会のさまざまな課題に関心を持ち、
その解決に真摯に取り組める人

教育方針

Principles

一人ひとりの興味や卒業後の進路を見据えて選択した学びを、
より効率的に進め、深めていくために、
国際学部では、以下のコンセプトを掲げています。

「学際性」の実現に向けて

既存の枠にとらわれず、私たちの周りや世界各地域の異質で多様なものを、
多面的・複眼的に関連付けて理解できる学際的なカリキュラムを設けています。

5つのプログラムの可能性

学生の関心や目標に応じた5つのプログラムを用意し、それらを組み合わせて
学習することができる多様で柔軟なカリキュラムを編成しています。

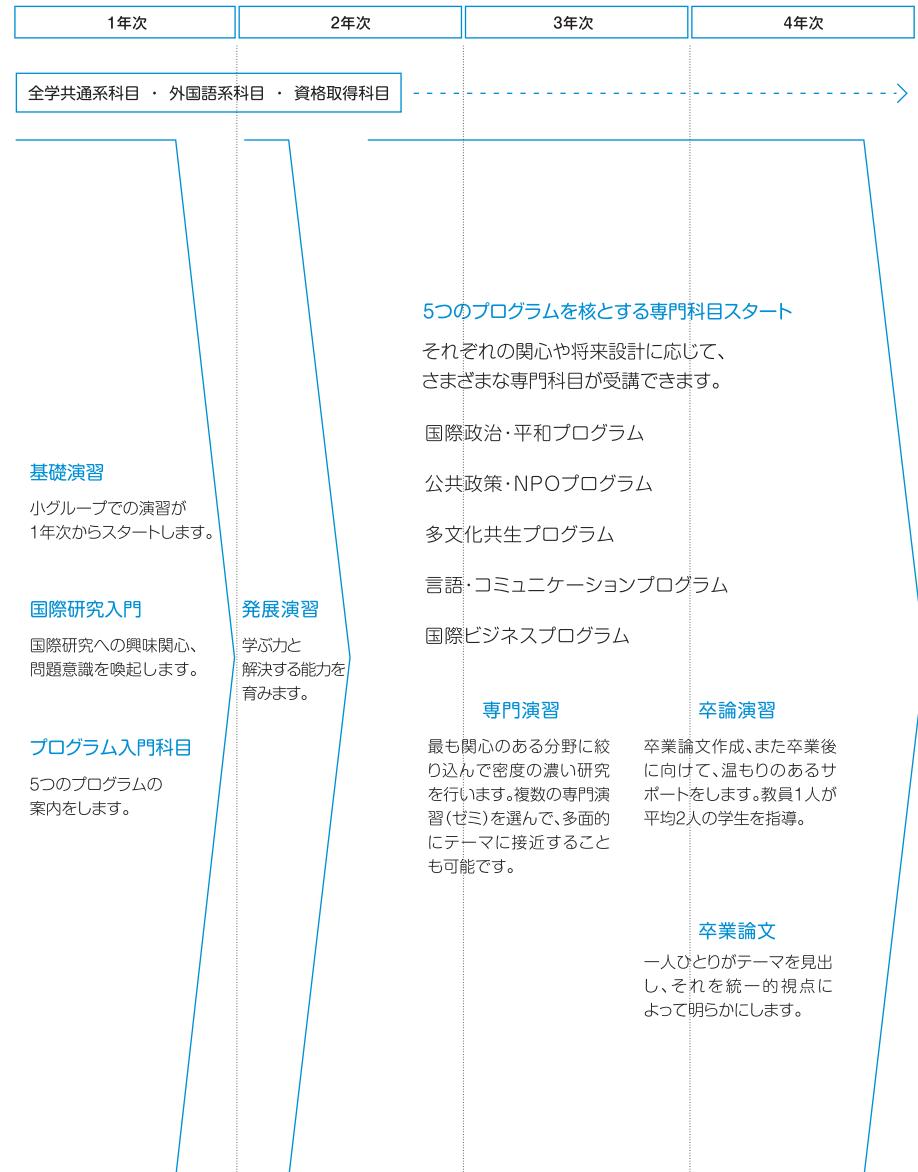
少人数クラス・ゼミの魅力

学生同士はもちろん、学生と教員がしっかりと議論ができるように、
演習科目や各授業クラスを少人数で編成しています。

丁寧で適切なサポート体制

通常の授業だけではなく、課外活動を含めて、豊かな学生生活と
学生一人ひとりの目標を実現できるよう、きめ細やかなサポート体制を整えています。

年次チャート、学部共通科目



5つのプログラム

5つのプログラムをベースにした国際学部の教育プラン

21世紀の国際社会で求められる人材を育成するために、国際学部では6つの目標を設けています。それは、「幅広い教養を養うこと」「教養科目と専門科目とを連携させ学際的に学び知識を身に付けること」「国際的・学際的な視野を持って多様な問題を解決できる能力を高めること」「高い外国語能力を身に付けること」「問題解決のための行動力を身に付けること」「一人ひとりの関心、興味、ニーズに応じ、専門的な研究へ発展させられること」の6項目です。この目標を実現できるように、5つのプログラムを中心とした教育カリキュラムを提供しています。

5つの領域から21世紀をとらえる

国際学部では、「国際政治・平和」「公共政策・NPO」「多文化共生」「言語・コミュニケーション」「国際ビジネス」と、21世紀を担う人材に求められている国際的・地域的な課題を解決に導くための能力を養う5つのプログラムがあります。関心のある分野を深く学ぶ、あるいは複数のプログラムにまたがって幅広く学ぶなど、柔軟な学習が可能です。

複数プログラムの履修が可能

各自の関心や将来の目標に応じて複数のプログラムを履修することができます。各プログラムの科目は、互いに関連しているので、複数のプログラムを組み合わせて履修することで、理解が深まり、より高度な知識の修得が期待されます。また、より広く深く学ぶことによって、専門性プラスアルファの視点・考え方を身に付けることができます。

プログラム履修の認定

1プログラムにつき、最低36単位を修得することによって、そのプログラムで提供された専門科目を学修したことの認定が与えられます。これを領域認定と呼びます。国際学部の学生は、複数のプログラムについて領域認定を受けることができます。国際学部で学ぶ学際性の背景となる専門性も兼ね備えていることを示す領域認定は、就職時だけでなく国際社会において高評価されるものと考えられます。

【国際政治・平和プログラム】

地球規模の問題を理解し、その解決方法を探る

現代の国際社会には、紛争、テロ、難民、開発、環境などのさまざまな地球規模の課題があります。これらの課題を理解し、解決方法を見出すための鍵となる国際関係の理論や歴史、そして平和研究の方法や実践について一緒に学びましょう。

●科目群

国際関係論	国際政治学	国際人権法	アメリカ政治論
国際関係史入門	比較政治学	紛争解決論	ヨーロッパ政治論
国際法	民族国家論	国際機構論	ロシア研究
国際協力論	開発政治論	国際関係史	東南アジア研究
国際社会論	平和研究入門	日本政治論	
国際安全保障論	平和研究	東北アジア政治論	

※ 科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

科目紹介

比較政治学

さまざまな国の政治制度を比較することにより、国際政治、ひいては現在の世界が見えてきます。例えば民主主義の概念。国によって憲法の成り立ちも異なれば、考え方や権利の理解もさまざまです。各国の歴史、文化、政治などの背景を踏まえながら比較し、また日本における民主主義についても考察を深めます。

国際安全保障論

「多くの人が平和を望んでいるにもかかわらず、なぜ戦争は起こるのか」「安定的な安全保障システムは、どのようにすれば実現可能なのか」「どのようにすれば平和を実現できるのか」といった問題を国際関係論や外交史の視点から分析します。

国際協力論

国際協力とは、なぜ、何を、誰が行うものなのでしょうか。そこにどのような問題があるのでしょうか。それについて、社会科学という視点から考えていきます。講義は、単なる知識を提供する場としてではなく、マーリングリストなどを利用しながら、議論を重ね、理解を深めることに重点を置いて進めていきます。

ヨーロッパ政治論

第二次世界大戦以降、ヨーロッパ諸国は絶えず連合を経て、独自の政体である欧州連合(EU)を形成しました。欧州連合不安などのニュースを耳にしたことがあると思いますが、そもそも多様なヨーロッパ諸国が、なぜ統合に至る道を選んだのでしょうか。EUは何を目指し、そして今、どのような課題に直面しているのかについて、政治的な側面に注目しながら考えていきます。

【公共政策・NPOプログラム】

望ましい社会を創造するために、経済や社会のあり方を知る

望ましい社会を創造するために、人々の生活の基礎である経済や社会のあり方について学びましょう。市民、NPO(非営利組織)、政府などの果たす役割や協力し合う仕組みを考えましょう。社会のために働きたい方を歓迎します。

●科目群

公共政策・NPO入門	財政学	現代日本経済論	国際教育論
国際経済学入門	金融論	組織の経済学	アメリカ教育論
ミクロ経済学	現代社会と法	国際開発論	政治と経済
マクロ経済学	比較法制度	スポーツ文化経営論	地域政策論
非営利組織論	経済政策論	健康心理学	地域再生論
基本統計学	交通論	教育経営学	

※ 科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

科目紹介

国際開発論

国際開発とは、貧しい人がよりよい生活を送れるよう、世界中の人や国、さまざまな組織が援助をすることです。それは素晴らしいことではありますが、相手のことを理解せず、自分の考えを押しつける国際開発は問題を引き起こしてしまいます。この講義では、具体的な話にもとづき、政治学や経済学、社会学の知識を使いながら、国や人によって問題となる貧しさや望ましい生活の中身がどれだけ違っているのかを学んでいきます。

経済政策論

2人以上の人間が互いに影響を及ぼしながら行動する状況をゲーム的状況と呼びます。例えば学生と教員との関係、友人関係、相性の良くない人の接し方など。このゲーム的状況で人々はどのように行動し、その結果としてどのようなことが起こるかについて体系的に学ぶとともに、どのような政策が望ましいかについて考えていきます。

非営利組織論

最近話題になることが多いけれど、実態がよく知られていないNPO(非営利組織)。講義では、「非営利組織がなぜ社会の中に出現するのか?」「どんな運営をどんな人たちがしているのか?」「経済的にどう成り立たせているのか?」「市民社会は世の中をどう変えようとしているのか?」などについて考えます。また、環境、福祉、まちづくり、国際協力などの公共政策と非営利組織の関係についても学びます。

国際教育論

OECDによるPISA調査に見られるように、学力をめぐる国際競争もますます激しくなっています。国際教育論では、グローバルな視点から教育を把握するとともに、世界の国々や地域の教育について学びます。そして、教育に関する比較文化論的な観点を踏まえながら、持続可能で平和な社会づくりのための教育について考えます。

【多文化共生プログラム】

多様な考え方を持つ人々との共生について考える

世界は新たな発見に満ちた知のフィールドです。国家・地域・民族・文化の垣根を乗り越え、多様な考え方を持つ人々と「共に生きる」を合言葉に、文化的対話の方法や可能性について理論と実践の両面から学びましょう。

●科目群

多文化共生入門	音楽人類学	社会文化思想史	フランス文化論	ラテンアメリカ研究
地域研究入門	エスニシティ論	共生の哲学	アメリカ文化論	アフリカ研究
テキスト分析法	ジェンダーとセクシュアリティ	マスマディア論	中国文化論	美術史
フィールドワーク論	労働と社会	メディア・リテラシー	日本研究	美学
比較文化論	異文化間交渉論	日本文化史	東アジア研究	
比較民族学	文化交流史	イギリス文化論	アラブ研究	

※ 科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

科目紹介

エスニシティ論

グローバル化が進む現代において相互理解は不可欠であり、その起点となる“自分たちは何者か”が強く問われています。自分のアイデンティティを追求することは、自己理解であり、他者理解への第一歩。そのためにも正しい歴史観を学び、自己を通して世界をとらえ、さまざまな角度から情勢を考えていきましょう。

ジェンダーとセクシュアリティ

「男らしさ」「女らしさ」って何でしょう。この講義は、社会的・文化的につくられた“性差”について、これまでの自分の経験や歴史・映画・美術などを通して意識することから始まります。男女それぞれの立場からも考え、“性差”を時代の流れや文化によって異なるものとしてとらえることによって、多様なものの見方を養っていきます。

共生の哲学

「グローバリゼーション」と呼ばれる動きが進展する中、自分とは異質な他者と共に生き、共に社会を築くことが差し迫った課題となっています。私たちが自らの可能性を見通すためにはまず、そもそも「共生」とは何か、と問うべきでしょう。共に生きること自体を哲学的に問うことによって、他人の語る「共生」に踊らされることなく、自分自身が他者と共に生きていく道筋を探っていきましょう。

アフリカ研究

アフリカについての皆さんのおいは、「野生動物の楽園」それとも「飢餓と貧困、紛争の多発地帯」でしょうか。どちらも日本で広く流布しているものです。ところが、こうしたイメージはアフリカを私たちから遠ざけています。実はそのイメージは、私たちのものの見方の偏りから生まれているものです。同じ時代、同じ世界に生きているアフリカの人々の生活を共に感じていきましょう。

【言語・コミュニケーションプログラム】

コミュニケーション上の諸問題を学び、外国語の実践能力を高める

言語(日本語・外国語)を基本とするコミュニケーション上の問題(社会問題・外国語教育・外国語政策・言語比較、異文化理解など)について学ぶと同時に、外国語の実践能力の養成を重点的に行います。外国語学習に関心のある方を歓迎します。

●科目群

言語・コミュニケーション研究入門	言語比較論	フランスの文学と文化	英米文学特講
社会言語論	通訳技法論	イギリスの文学と文化	英文構成法
応用言語論	コミュニケーション技法論	英語学概論	英語コミュニケーション
日本語学・日本語教育学	Cross-Cultural Language	英文法論	英語聴解法
翻訳論	and Communication	英米文学概論	時事英語

※ 科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

科目紹介

言語比較論

外国語の習得には母語(日本語)についての理解が不可欠です。日本語はどのような言語なのか、日本の社会・文化とどうかかわっているのか…。中国から漢字が日本にどのように伝わり、変化し、日本語化してきたかを中国と日本の歴史などを関連させながら追究し、これから日本語がどのように発展していくかを考察していきます。

社会言語論

例えば日本語においても、広島、博多、沖縄など地域によって、表現やイントネーションが異なります。アメリカ英語においても男女でニュアンスが違ってくる場合があります。ビデオ等で実際の違いを聞き比べながら、あるいは各地域の言葉をリサーチ・比較し、ディスカッションしながら私たちの言葉がどのように構築されているのか学んでいきます。

フランスの文学と文化

フランスの文学と文化は、中世以来、ヨーロッパ文明の中心であり、日本の近代文学にも大きな影響を及ぼしました。文学や映像文化まで含めたフランス文化、さらに社会や歴史についての基礎的知識を身に付けるための科目です。文学を中心に広くフランス文化全般に触ることによって、価値観の多様化が進む現代社会において、均衡のとれた人間性を養うことについて考えていきます。

英米文学概論

誰かに自分の思いを伝えるためには、心を動かす言葉が必要。文学作品は心に響く言葉の宝庫。授業では、英米文学史に残る名作についての知識を得るだけでなく、文学作品を体で感じるために、リズムのよい詩を声に出して読んだり、シェークスピアの劇の一コマを演じたりします。遠い昔の作品が驚くほど新鮮で迫ってきます。詩や小説や劇を通じてコミュニケーション力や表現力を身に付けましょう。

【国際ビジネスプログラム】

経営学や経済学上の諸問題を学際的に思考する

これまでの経営学や経済学の領域でとらえられてきた問題を、
国内的・国際的な幅広い視野と、文化的・社会的・政治的環境との相互関係においてとらえ、
問題発生の予防にもつながる総合的な解決ができる問題解決型の学生を育成します。

●科目群

国際ビジネス入門	財務管理論	経営組織論	人的資源管理論
国際経営論	簿記論	企業行動論	テクノロジーマネジメント
マーケティング論	会計学	国際金融論	
経営史	公会計論	国際貿易論	
多国籍企業論	国際会計論	国際ビジネス法務	

※ 科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

科目紹介

多国籍企業論

私たちが身近に接している多くの企業が今日では自国だけでなく、他国に生産拠点を持ち多国籍企業として活動しています。多国籍企業を取り巻いている文化・政治・経済環境などの影響を踏まながら、外国に工場を設置するメリット、文化や習慣の違いへの対応、複数国での社会貢献など、単なる国内経営とは異なる経営を考えてみましょう。

国際金融論

経済の自由化、グローバル化が進み、巨額のマネーが国境を越え、ネットワークを通じて取引されています。また円とドル、円とユーロなど通貨同士の交換も活発です。こうした国際金融の仕組みや市場取引にはリスクが伴うこと、またリスクを回避するにはどんな方法があるかを具体例を挙げながら一緒に考えてみましょう。

国際会計論

会計はビジネスの言語と言われます。現在、グローバル化を背景として、各国の文化、政治、経済と密接に結びつくビジネスの言語の中に、国際言語が急速に導入されています。本講義では、会計の国際言語がどのように作られているか、それを各國が導入する際に生じている問題は何かなどについて学びます。また、国際的企業人にとって不可欠な英文財務諸表に関する知識の修得も目指します。

マーケティング論

マーケティングとは、売れるものを作り、販売することです。つまり、販売はマーケティング活動の一部にしかすぎず、いかに売れるものを作るかはマーケティングの本質と言えます。企業経営におけるマーケティングの役割を踏まながら、売れる仕組みを作るためのマーケティングの諸概念や戦略について考えてみましょう。

国際理解・少人数教育の重視

国際理解

海外学術交流協定大学との国際交流に加え、国際学部ではより多様な取り組みを通じて、国際理解を深めています。例えば、世界中から募った学生と一緒に平和について学び交流を行う「HIROSHIMA and PEACE」(46ページに詳細)、ドミニカ共和国にある広島東洋カープの野球学校での企業インターンシップ(51ページに詳細)、研究室での海外へのスタディー・ツアーなど、さまざまな機会を提供しています。

また、国際学部では、1年次前期の必修科目である「国際研究入門」をはじめとして、カリキュラムの履修を通じて、多くの国々、地域の言語、文化、政治、経済、ビジネスを学ぶことにより、国際理解を深められるよう工夫をしています。

さらに、国際学部全教員に占める外国人教員、海外の大学院で学位を取得した日本人教員の割合がとても高く、国際学会、国際調査、国際プロジェクト等への参加経験が豊富な教授陣による指導と、そのネットワークを活用した海外研究者による学内での講演などを通じ、国際的な取り組みに触ることができます。

少人数教育の重視

1学年100名の定員に対し、約50名の教員を擁する国際学部では、少人数教育を重視しています。

大学では、高校までとは違い、「明白な正解」が必ずしもない中で、学修と研究を進めていくことが必要です。それを可能とするための基本的なトレーニングを行うのが、必修科目として開設されている「基礎演習I・II」と「発展演習I・II」です。1クラス10名程度で、1年次、2年次の2年間にわたり、読解力、分析力、記述力、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力、調査能力を高めるための演習指導を受講することができます。

3年次では専門演習(いわゆる「ゼミ')、4年次では卒業論文演習が必修となっており、研究室に所属して教員から指導を受け、各自の専門領域に関する学修と研究を行います。約50名の教員の中から、自身の関心に応じて専門演習、卒業論文演習を履修することができ、両演習とも教員1名と数名の学生で構成されることが多いです。さらに、国際学部では複数の専門演習を選択でき、幅広い興味に応じながら、少人数で深く学ぶことを可能にしています。

Intensive Summer Course HIROSHIMA and PEACE

多様な国的学生と共に英語で平和を研究し、自己を表現する

「ヒロシマと平和」を英語で学び、討論

世界から学生が広島市立大学に集い、「ヒロシマ」と「平和」を学び語り合う講座が国際学部にあります。それが夏期集中講座HIROSHIMA and PEACE(以下H&P)です。核についての実態や課題を知り、非核と平和の知識を考察し、さらに、被爆者からの証言を聞き平和記念式典にも参列する専門的かつ多彩な講座です。この講座の講義とディスカッションはすべて英語で行われます。

それぞれにとっての「平和」とは?

H&Pでは、毎年10カ国以上の学生が一堂に集い、知的な「楽しさ」を感じながら学びディスカッションをします。そこでは、国際政治、歴史、文学、哲学、異文化コミュニケーション、メディア、環境、紛争解決など幅広い視点からPEACEについて専門的に学びます。さらに、東日本大震災後は、原発の安全性についても取りあげています。ウェルカム・パーティーに始まり、講義の後にカフェで語り合い、参加者の絆は深くそして強くなります。

留学でも得がたい「国際体験」

2003年から2015年までの受講生の国籍(日本を除く)は計45カ国(アメリカ、韓国、イギリス、シンガポール、アラブ首長国連邦、ドイツ、中国、スウェーデン、マレーシア、オーストラリア、タイ、ネパール、ポーランド、フランス、ノルウェー、インドネシア、ガーナ、ウガンダ、スペイン、ハンガリー、ニュージーランド、ベトナム、ポルトガル、リトアニア、ルーマニア、イタリア、デンマーク、クロアチア、キューバ、リビア、スリランカ、オランダ、バングラデシュ、イラン、ロシア、アイルランド、イスラエル、ナイジェリア、イラク、ジンバブエ、フィンランド、インド、パキスタン、フィリピン、ブルガリア)です。また、H&Pは、本学の学術交流協定大学であるハワイ大学マノア校の正式科目であり、毎年数名の学生が交換留学生として受講します。同時に開講する大学院レベルのH&Pには、大学教授や外交官も受講したことがあります。これまでの世界中の受講生は、ネット上でコミュニティーを作り交流を続けています。過去の受講生はロンドンで開かれた反核集会で「同窓会」を開きました。広島の地で学び、語り合い、そして、平和の意識を共有していく海外研修や留学でも得ることができない貴重な国際体験と言えるでしょう。

Preliminary English Training (PET) Program H&P本番に向けた英語討論能力の強化

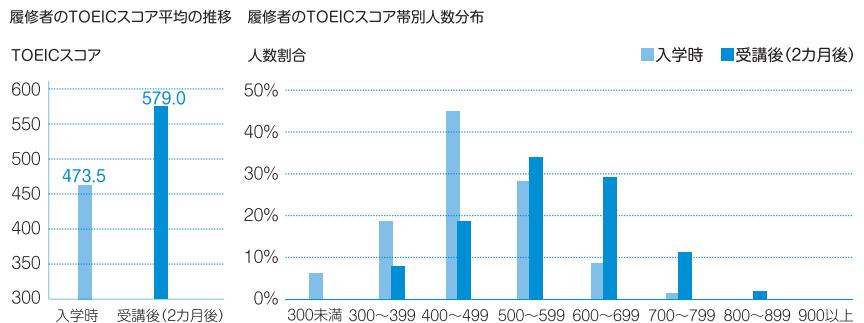
H&Pの国際学部受講生は、H&P本番前に約3ヶ月間の事前英語研修(PET)プログラムを受講します。このプログラムは、チーム・ティーチングによる徹底した指導で、英語の討論能力、表現力、それに広島や原爆、平和問題について英語で発信できる能力を高めます。また、PET期間中に終日英語濁けの研修(English Only Day)を実施し、平和問題に関する調査とその結果発表、討論会、英語によるレクリエーションなどを行っています。PETプログラムの「共通語」は英語、1回の集中研修ながら参加者のH&P参加意欲と連帯意識を高め、本番に向けて確実なスキルアップにつなげます。

CALL英語集中

◎実践的な英語力を鍛える

語学センターや自宅のコンピュータを用い、英語のリスニング、リーディング、文法、語彙を集中的に訓練するeラーニングによる授業です。通常の授業のように教員が週1回授業をするといった形態を取らず、指定された期間中(約2ヶ月間)、自分の都合のよい時間に自分に合ったペースで学習を行います。学習の開始前と終了後にTOEIC IPテストを受験し、英語力および学習効果を客観的に測定します。国際社会で活躍していくために必要不可欠な英語力を確実に高めています。

CALLを利用した効率的な学習で確実にTOEICスコアがアップ!



上のグラフは、「CALL英語集中」国際学部1年生履修者のTOEICスコア平均の推移とスコア帯別人数分布を示したもので、入学時に比べ、受講後のスコアは105.5点アップし、579.0点に伸びています。スコア帯別人数分布についても、受講後は分布がスコアの高い方に移動しており、英語力が大きく底上げされていることが分かります。TOEIC運営委員会発行の「TOEIC TEST DATA & ANALYSIS 2010」によると、全国の大学1年生のTOEICスコア平均は419点ですが、国際学部1年生のTOEICスコアは、入学時点ですでに大学1年生の平均を大幅に上回っています。また、全国の大学4年生の平均スコアは509点、企業が新入社員に期待するスコアは445点以上とされていますが、国際学部1年生は前期終了の時点でこれらのスコアを大きく上回る学習成果を上げています。

◎徹底した訓練の「CALL英語集中」と能力別少人数の「英語応用演習」

ネットワークを利用して「CALL英語集中」で、リーディングとリスニングを中心とした英語の訓練をほぼ毎日行うとともに、1クラス10~15名という、大学共通教育としては異例の少人数クラス「英語応用演習」で、徹底したスピーキングとライティングの指導を受けます。また「英語応用演習」では、クラスを能力別とし、それぞれのレベルに適したシラバスとテキストできめ細かい指導が行われます。

教員一覧

氏名	専門分野
 教授(学長) 青木信之 AOKI, Nobuyuki	英語教育学
 教授 赤星晋作 AKAHOSHI, Shinsaku	教育経営学
 准教授 飯島典子 IIJIMA, Noriko	中国近代史 華僑論
 准教授 板谷大世 ITAYA, Taisei	東南アジア研究 開発政治論
 教授 井上泰浩 INOUE, Yasuhiro	マスメディア 国際コミュニケーション
 講師 今江秀和 IMAI, Hidekazu	臨床心理学
 教授 岩井千秋 IWAI, Chiaki	応用言語論
 教授 宇野昌樹 UNO, Masaki	文化人類学 中東地域研究
 准教授 ト部匡司 URABE, Masashi	比較国際教育学
 教授 ヴェール, ウルリケ WOHR, Ulrike	日本近・現代史 ジェンダー史
 教授 太田育子 OTA, Ikuko	国際法 国際人権法

氏名	専門分野
 教授 大東和武司 OHTOWA, Takeshi	多国籍企業論 国際貿易論
 准教授 大場静枝 OBA, Shizue	フランス 地域文化研究
 教授 大庭千恵子 OBA, Chieko	ヨーロッパ政治 民族国家論
 准教授 柿木伸之 KAKIGI, Nobuyuki	哲学
 准教授 カーソン, ルーク CARSON, Luke	異文化 コミュニケーション
 教授(副学部長) 金谷信子 KANAYA, Nobuko	非営利組織論 公共政策
 准教授 城多 努 KITA, Tsutomu	財務管理 公会計
 教授 金 栄鎬 KIM, Yeongho	政治学・国際関係 現代朝鮮半島政治
 准教授 倉科一希 KURASHINA, Itsuki	アメリカ外交史 国際関係史
 准教授 ゴーマン,マイケル GORMAN, Michael	アメリカ文学
 教授 佐藤深雪 SATO, Miyuki	日本文学・日本文化史

氏名	専門分野
 准教授 シュラトフ, ヤロスラブ SHULATOV, Yaroslav	国際関係史(ロシア)
 准教授 城市真理子 JOICHI, Mariko	日本美術史 東洋美術史
 教授 関村 誠 SEKIMURA, Makoto	美学・哲学
 教授 曾根幹子 SONE, Mikiko	地域スポーツ 生涯スポーツ論
 准教授 高橋広雅 TAKAHASHI, Hiromasa	経済政策論
 准教授 田川 玄 TAGAWA, Gen	文化人類学
 教授 寺田英子 TERADA, Hideko	財政学 交通経済学
 准教授 西田竜也 NISHIDA, Tatsuya	国際安全保障論 国際関係論・国際協力・外交史
 講師 古澤嘉朗 FURUZAWA, Yoshiaki	国際関係論 紛争解決論・平和構築論
 准教授 武藤彩加 MUTO, Ayaka	日本語学 日本語教育
 講師 目黒紀夫 MEGURO, Toshio	環境社会学 国際開発論 アフリカ地域研究
 教授(語学センター長) 渡辺智恵 WATANABE, Tomoe	通訳技法論

※の教員は、2016年度末に退職の予定です。

国際学部のユニークな研究紹介

研究
その1

ショパンの恋人も絶賛した作品『バルザス＝ブレイス』の研究

准教授：大場静枝

最近は、地方の民話や民謡などの民間伝承がフランス文学史の中でどのように位置付けられているかを研究しています。いわば「再話文学」の系譜を探る研究です。再話というのは、小泉八雲の『怪談』のように、民間伝承を現代的な表現の物語に再創造することです。再創造の過程で文学的な肉付けがなされることから、近年ではこうした作品を「再話文学」と呼んでいます。研究の中心となる作品が『バルザス＝ブレイス』で、「バルザス＝ブレイス」はブルターニュ地方の言葉で「ブルターニュの民謡」という意味です。『バルザス＝ブレイス』は19世紀の初めにこの地方で採集された古謡を編んだものですが、この作品をもとに多くの再話作品が成立しました。男装の女流作家にしてショパンの恋人でもあったジョルジュ・サンドが絶賛し、ブルターニュ文学の金字塔とも言える作品ですが、残念ながら日本での認知度は低く、現在まで邦訳は存在していません。今は、再話文学の系譜を探る研究と並行して、数人の研究仲間とこの『バルザス＝ブレイス』の翻訳にも取り組んでいます。

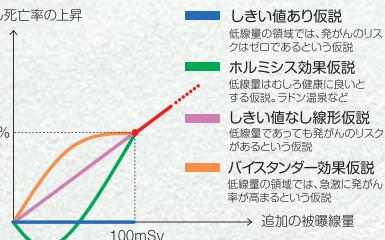


研究
その2

不確実性の問題の下で不安が形成されるメカニズムを解き明かす

准教授：山根史博

もし仮に気象予報士が「明日の降水確率は分かりません」と言ったとしたら、多くの人が困るはずです。このように、将来の出来事の発生確率が分からぬ状況を「不確実性」といいます。不確実性は世の中のいたる所に存在し、日々私たちを悩ませています。私が研究している低線量被曝の問題はその一例です。例えば100ミリシーベルト未満の追加被曝によって、将来、がんで死くなる確率がどのくらい高まるか?これについてはいくつか仮説が存在しますが(図を参照)、どれが正しいか科学的に十分解明されていません。そのためか、低線量被曝の健康影響に関してさまざまに風評が流れ、立場の異なる人たちの間で論争が生じています。こうした情報の錯そうが、被曝そのものの影響とは別に、福島第一原発周辺の住民の不安を助長している可能性があります。このような不安の形成メカニズムを明し、その緩和に役立つ知見を得たいと考えています。



海外研修

Study Abroad Programs

ハワイ大学英語文化研修

広島市立大学の海外学術交流協定大学であるハワイ大学マノア校で行われる国際学部のスタディツアードです。ホームステイをしながら、午前中は英語集中授業を受け、午後はフィールドスタディーで真珠湾攻撃の地(アリゾナ記念館)やダイヤモンドヘッドを訪問し、歴史と文化に触れます。英語の授業では、ハワイ大学学生が会話の練習相手をするインターチェンジ、ボランティア活動を通して街に出て英語を使う機会もあります。さらに、ハワイ大学の実際の授業を聴講することもでき、一般的な短期留学では決して得ることのできないプログラムです。



ロシア・スタディツアード

ロシア研究を専門とする教員が引率して、ロシア極東で短期研修を実施しました。参加者は、本学でロシア語を学ぶ学生がほとんどでしたが、中にはこれまでロシアと縁がなかった学生もいました。滞在中、学生たちは積極的にロシア語を学び、現地の事情について知識を深めました。また日本語を学ぶ現地のロシア人学生たちと交流し、親睦を深めました。日本では「近くで遠い国」と言われるロシアですが、学生たちは実際に現地を訪れて人々の優しさに触れることができました。学生たちにとって異文化交流の貴重な経験となりました。



広島東洋カープ企業インターンシップ

中米のドミニカ共和国にある広島東洋カープの野球学校で毎年2名(半期1名ずつ)が半年間(事前研修1ヶ月、現地研修5ヶ月)、インターンシップを経験します。現地の選手に日本語を指導したり、各部署の業務を手伝ったりするなど、充実した日々を過ごすことができます。ラテン文化に浸り、発展途上国の現状を肌で感じる経験は、学生たちをさらにたくましくするでしょう。



「途上国」や「平和学」について学びたかったのと、海外留学に向けてお金を貯めたかったことから、地元広島の市大に入学。夏期集中講座「HIROSHIMA and PEACE」に参加し、いろいろな国の人たちと「ヒロシマ」と「平和」について語り合えたことは貴重な経験になりました。「ルワンダの体験から学んだ命の尊さ・教育と平和の大切さ」という特別講義を受けた際にルワンダの方と話したことがきっかけで、ルワンダへの留学を決意。20年前の内戦から経済発展まで、どのように平和を構築してきたのか、現在の課題は何か、現地の大学での学びやNGOへの参加を通して学ぶつもりです。広島で育った私が広島市立大学国際学部の学生として行くことに意味があると思うので、広島市出身の漫画家・中沢啓治氏の被爆体験をもとにした『はだしのゲン』を紹介するなど、私ができることを現地で実践したいです。

どうすれば紛争がなくなるんだろう…。
まだからできることが、きっとある。
広島で育ち、広島で学ぶ

(国際学部)
国際学科 4年
向地 由
Yui Mukojo
(広島県立広島皆実高等学校出身)

高校卒業後4年ほど働いたのち、念願だった大学受験を決意、1年間勉強し直して入学しました。主に株式や多国籍企業、リスク認知学などに興味があり、来年は1年間、デンマークでワーキングホリデーに参加し、高福祉好待遇の社会システムや多国籍企業の仕組みなどを学ぶ予定です。高齢化が進み多くの課題を抱える日本の危機を考えるにつれ、自分の周りの人を大切にすることはもちろん、さらに地域や国に貢献するために、自分に何ができるか、自分はどうなるべきか、真剣に考えるようになりました。将来はコベンハーゲンビジネススクールでMBAを取得し、ゆくゆくは経営者として組織を運営したいと考えています。大学時代は「成人」という節目を迎える期間もあります。自分の選択に責任を持ち、いろいろな活動に触れ、自分の目で見て道を見つけ、自らの足で進んでください。

社会経験で目的意識が明確に。
大切な人、地域、そして日本のために、
目指すべき自分の姿を模索中。

(国際学部)
国際学科 3年
前田 一成
Kazushige Maeda
(滝川第二高等学校出身)

3年の後期に交換留学プログラムを利用してフランスに留学。授業中も活発に発言が飛び交うクラスで、あまり英語が通じないレンヌの町も、私にとってはフランス語を学ぶために恵まれた環境でした。日本語のクラスに先生のサポートで入らせてもらったのも貴重な経験で、日本語とフランス語を互いに教えあえる友人もできました。私は入学前から国際協力に興味があり、入学後もフィリピンの支援活動に参加していたのですが、留学で社会人や学生など幅広い立場の友人から話を聞いて価値観が変わり、国際協力にこだわらず、もっと視野を広げて将来を選択しようと考えるようになりました。市大は行動力のある人が多く、背中を押してくれる環境だと思います。今からどんどん未来は広がります。間違ってもいい。どう立て直すかが大事。何事にもひるむことなく前向きに挑戦してください。

間違いを恐れず積極的に!
日本の技術や魅力を伝えるために
自分に何ができるか模索中。

(国際学部)
国際学科 4年
松本 あすか
Asuka Matsumoto
(愛媛県立西条高等学校出身)

2年生の夏に、フィリピンに語学留学したのですが、語学力以外にも自分の力不足を痛感。英語を話すことは全く苦になりませんでしたが、例えば「日本の政治について」など知識の乏しいテーマについては話すことができませんでした。海外の人に日本を伝えるために知識を得ることの必要性を強く感じ、帰国後はさまざまなジャンルの本を何冊も読破。中でも興味を持ったのが株式で、先生から「日経STOCKリーグ」というコンテスト形式の株式投資学習プログラムを勧めていただき、参加しました。今年の夏からは交換留学で1年間、ドイツのハノーバーで歴史教育とジェンダー学について学ぶ予定です。国際学部は目的を持ってば何でも学べる環境です。今やりたいことに本気で取り組み、大学に入ったら興味のある分野に向かって突き進んでください。何にでもなれる可能性を秘めています。

語学研修が分岐点となつて
プラスの方向に変わつていく自分を実感。
大学は知識と経験の宝庫!

(国際学部)
国際学科 3年
信末 航
Wataru Nobusue
(広島県立祇園北高等学校出身)



情報科学部

Information Sciences

情報科学で未来を切り開け！

広島市立大学は広島市の西風新都に誕生し、二十二年が経過しています。

情報科学部は情報科学の幅広い分野の多数の教授陣を揃え、

中国・四国地域を代表する情報科学の学び舎として知られています。

世界で生活するヒトだけでなく、自動車などのモノもネットワークで即座に結ばれる時代になり、情報の重要性はますます大きくなっています。

情報は世界の文化や経済に多大な影響を及ぼす時代なので、

グローバルな視点で情報をとらえ、問題を解決する技能が必要になっています。

情報科学部では、情報科学の基礎的な科目から

グローバル社会で活躍するための実用的な科目まで学べる学習環境を提供しています。

西風新都の風光明媚な自然環境の中で、時代の最先端を走る情報科学を学び、

未来を切り開くリーダーになることを目指しましょう。



情報科学部長

角田 良明

KAKUDA Yoshiaki





高度情報化社会を支える「情報通信技術」の分野をリードする能力を養う

III 求める人物像

Admission Policy

「情報科学の分野で自分の適性を見つけ、十分な学力や技術力を身に付けて、科学技術の進歩に貢献することを目指す気概がある人」の入学を期待しています。具体的には、以下のような人を求めています。

1

情報科学に興味があり、
情報科学をより深く学びたいと考えている人

2

情報科学の基礎である数学・理科・語学が得意な人

3

困難な問題に挑戦し、
解決しようとする意欲と熱意を持つ人

III 教育方針

Principles

高度情報化社会を支える「情報通信技術」(ICT)に関する研究開発を担う研究者および専門技術者を養成するため、以下の教育目標を定めています。

学生が興味関心、適性に基づいて専門分野を選択できる仕組みの提供

入学後、情報科学の基礎知識を修得した後に、学生一人ひとりの興味関心、適性に基づいて専門分野を選択できる仕組みを提供します。

情報科学に必要な基礎学力の育成

情報科学を専門的に学ぶ上で基礎となる数学、プログラミング、英語などの学力を十分身に付けます。

情報通信技術を活用できる技能の養成

先端的な情報通信技術(ICT)を知的生産の道具として活用できる能力を身に付けます。

専門分野に関する体系的な知識の修得

教育内容を厳選、体系化した上で、効果的な専門教育を行います。これにより、専門分野に関する体系的な知識を修得します。

体験的・総合的学習を重視した教育プログラムの実施

21世紀の知識基盤社会で問題解決ができる人材を育成するため、実験、実習、演習、口頭発表など体験的・総合的学習を重視した教育プログラムを実施します。

知識や学力の多様化した学生への効果的な教育の実施

知識や学力の多様化した学生への効果的な教育を実施します。少人数教育を推進するとともに、習熟度別クラス編成、グループ学習などを導入します。

年次チャート、学部共通科目



* 情報科学部の募集は学部一括で行い、学科への配属は2年次開始時にあります。

* 科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

» 情報工学科

- コンピュータコース
- ネットワークコース
- コミュニケーション基盤コース

次世代を見据えた情報環境の創造を、ソフト&ハードの両側面から追求

情報工学科では、コンピュータとネットワークに関するハードウェア技術およびソフトウェア技術を広範囲に教育研究します。これらの技術をベースに、コンピュータとネットワークの融合技術、情報環境に対応できる人材を育成します。

III 教育課程

1年次	2年次	3年次	4年次
前期	後期	前期	後期
学部共通科目	>	インターンシップ 地域実践演習	プレゼンテーション技法 技術文書作成法 卒業研究Ⅰ・卒業研究Ⅱ
		情報ネットワーク 観光情報学	情報通信法規 知的財産権
		論理設計 論理設計演習 デジタル信号処理 通信方式 コンピュータアーキテクチャⅠ プログラミングⅢ プログラミングⅢ演習 数値計算プログラミング	コンピュータアーキテクチャⅡ ソフトウェア工学 データベース 技術者倫理 グラフと最適化 コンパイラ ネットワーク設計 ネットワーク設計演習 LSI設計演習 情報理論 情報と職業 電子回路 テクニカル・コミュニケーション演習 情報工学実験Ⅰ 企業活動とプロジェクトマネジメント
			マルチメディア通信 ワイヤレスネットワーク システムLSI設計 分散システム 集積回路 CADシステム ネットワークソフトウェア演習 プロトコル設計 テクニカル・リーディング演習 情報工学実験Ⅱ オペレーティングシステム ネットワークプロトコル 電子物性光エレクトロニクス

* 科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

コンピュータコース » 情報工学科

コンピュータのハードウェア、ソフトウェアなどに関する基礎的な知識を学び、システムソフトウェア、システムLSI、組込みシステムなどの高度情報化社会基盤を支える情報システムおよび新しいコンピューティング環境に対応できる優れた人材を育成します。そして、卒業後、コンピュータコースで身に付く基礎能力・基盤技術によりスーパーコンピュータの設計・開発、コンピュータ能力を引き出した上でしか実現できない娯楽、生活インフラ、医療、自動車などに関する新しいサービスを提供するシステムの設計・開発、日常生活を支えるサーバーのような大きなコンピュータから身に着けるような小さなコンピュータ活用製品までのソフトウェア/ハードウェアの設計・開発、さらには社会インフラや安全が優先されるシステムの設計・開発などで広く社会で活躍しています。

●研究室、研究テーマ

コンピュータデザイン

コンピュータのおかげで便利になった世の中。それだけに、コンピュータが間違つたり動かなくなると社会生活中に支障が出てきます。研究室では、誤動作や障害を未然に防ぎ、安全で安心して使えるコンピュータとその作り方について研究します。

論理回路システム

コンピュータのハードウェアとソフトウェアは論理回路・論理設計の理論に基づいて統一的に議論することができます。本研究室では、論理回路学とVLSI設計技術に基づいて、コンピュータに関する最先端の研究課題に取り組んでいます。

コンピュータアーキテクチャ

速くて使い易い新しいコンピュータを求めて、ハードウェアとソフトウェアの両面から迫ります。可変構造を持つ柔らかいアーキテクチャ、無限と有限を行き来するプログラミング、数値解析や可視化技術、センサデバイス、ネットワークを駆使します。

ネットワークコース » 情報工学科

インターネット、モバイル通信、デジタル放送などに関する基礎的な知識を学び、いつでもどこでも利用可能で、生活に密着した情報ネットワークおよび次世代のメディア協調型情報ネットワーク社会を支える基盤技術の高度化に対応できる優れた人材を育成します。そして、卒業後、ネットワークコースで身に付く基礎能力・基盤技術により有線・無線通信システムの設計・開発、インターネット通信技術やP2P通信技術を活用したゲームやSNSなどの新しいサービスの設計・開発、また、それらの新しいサービスを効率よく運用できるようにするためのサーバシステムの設計・開発、さらには身近にあるさまざまなものernetワークに接続し、新しいサービスを実現するためのIoTシステム(Internet of Things)を活用したシステム設計・開発など幅広く社会で活躍しています。

●研究室、研究テーマ

ネットワークソフトウェア

各モバイル端末が端末そのものの機能だけでなくデータ中継機能の役割も果たし、無線だけでネットワークを構成するアドホックネットワークの研究を行い、登下校時の児童の見守り、IoTサービスなどに応用しています。

情報ネットワーク

情報ネットワークに関わる基盤技術、そのシステムおよびネットワーク全体を対象としたさまざまな技術およびIoTセキュリティ技術について教育研究を行っています。

モニタリングネットワーク

IoTによる電波や光、音などの様々な自然現象のモニタリングを実現するネットワークおよびそれらを応用したワイヤレスシステムに関する研究を行っています。

コミュニケーション基盤コース » 情報工学科

離れた多地点のヒト、モノ、情報、機能がインターネットにつながり、いろいろな方法で互いに結合することで、今までとは違う情報の使い方や暮らしの支援ができる社会インフラが構築されようとしています。コミュニケーション基盤コースはコンピュータネットワークや社会ネットワークといったモノとモノとの関係が描けるものがすべてつながるネットワークを研究対象とします。ネットワークの構成要素のつながり方のパターンの研究やセンサシステムなどネットワークの構成要素そのものに関する情報物性技術、さらにはセンサから得られた膨大な情報を処理する技術の研究教育を行い、新しいコミュニケーション基盤に対応できる人材を育成します。

●研究室、研究テーマ

ネットワーク科学

モノ、情報、機能を結合・共有できる情報基盤構築と様々な現象をネットワークとしてとらえ、つながり方のパターンを研究します。また、大量のデータ解析を含む社会ネットワークの分析も行います。

センサシステム

あらゆるもののが繋がるネットワークの構成要素となる先進センサシステムについて、物理・物性に関連した手法で材料、デバイス、センサなどの面から研究教育します。

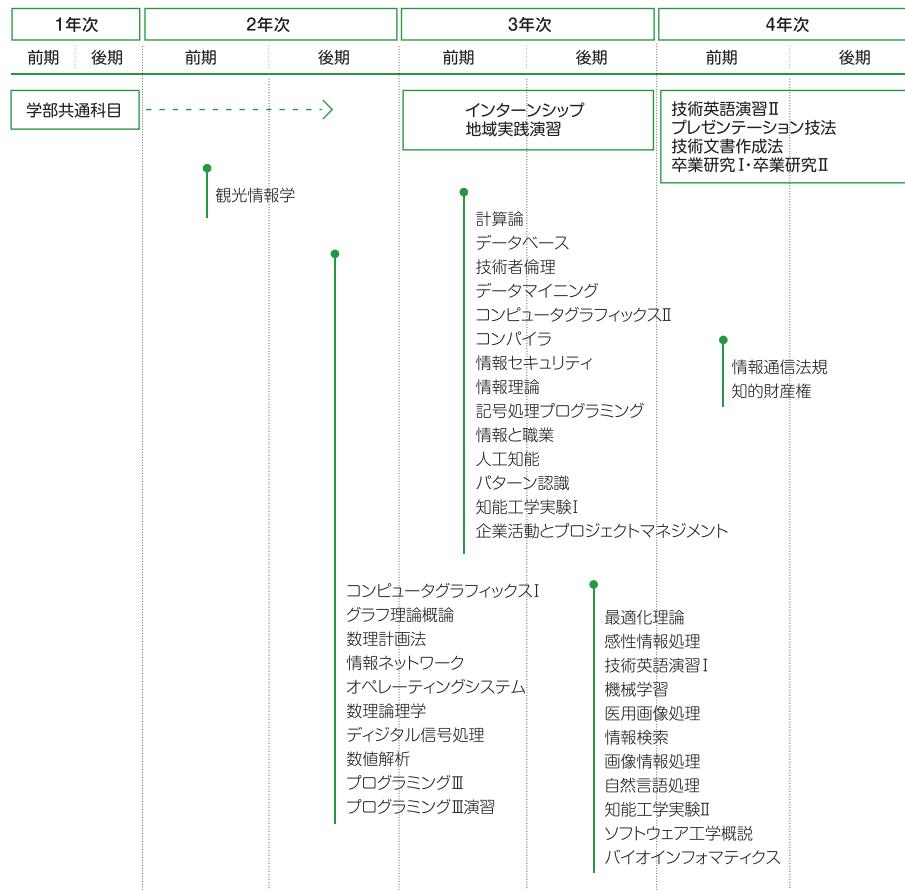
» 知能工学科

- 知能ソフトウェアコース
- 知能メディアコース
- 知能サイエンスコース

人間の知的なコミュニケーションや情報行動を支援するシステムの構築

知能工学科では知識基盤社会における人間の知的なコミュニケーション行動や情報行動を支援する高度な知能情報システムの技術者および研究者を育成するために、知能ソフトウェアコース、知能メディアコースおよび知能サイエンスコースの3コースを設置しています。また、全てのコースに共通な教育として、コンピュータグラフィックス、データベース、デジタル信号処理、最適化理論、情報理論、数理論理学、グラフ理論概論などが開設されています。

III 教育課程



※ 科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

知能ソフトウェアコース » 知能工学科

人間の知的能力をコンピュータで実現するため、人間の脳に対応する知識・思考・学習などに着目した知能情報システム技術の教育研究を行っています。例えば、社会の中の非常に多くのデータから重要な知識や規則を抽出する、問題解決のためのさまざまな解決方法の中から効率的に適切な解を見つけ出す、コンピュータ自身が自分で問題解決のための知識を獲得する、人間の持っている感覚や経験をコンピュータで実現して社会に役立つ有用な規則を見発見することなどを対象としています。そのため、これらの知識情報処理に必要な人工知能、データマイニング、機械学習、知情報検索エンジン、エージェント、発見的探索などを学びます。

知能ソフトウェアコースでは知識基盤社会に重要な知能情報システムを開発できる人材を育成します。コースにおける学習を通して知識基盤社会に対応できる知識や技術を習得し、プログラム設計、データアナリスト、Webデザイナー、システムエンジニア、システム開発やサーバー設計・構築などの仕事に従事する能力を身に付けることができます。卒業後の進路としては、情報通信関連企業、電機メーカー、ソフトウェア開発関連企業、Webサービス企業、情報処理サービス企業、電力系企業などがあります。

●研究室、研究テーマ

学習工学

人工知能やVRの技術を基に、学校や企業での教育や学習活動を支援するための知的学習支援システムやeラーニングの研究を行っています。また、ヒトの感性と知識を結びつける感性工学の研究も行っています。

データ工学

文字・数値、テキスト、音声、画像などで表現されるデータを用いて、人間の知識創造活動を支援する情報システムの構築に挑戦しています。特に、ビッグデータやデータベースからの知識発見、マルチメディアデータ処理、分散並列処理、視覚的な情報コミュニケーション、情報マネジメント、ゲノミクス情報処理、ソーシャルメディアなどに注目しています。

機械学習

機械学習とは、人間が自然に行っている学習と同様の機能をコンピュータ上で実現するための技術のことです。グラフ構造データに対する機械学習手法を用いた、特徴的パターンの発見やデータマイニングへの応用について研究を行っています。

知能メディアコース » 知能工学科

人間の知的能力の中でも人間の目や耳などに対応する人間の感覚や知覚、人間とコンピュータ間のコミュニケーションなどに着目した知能情報システム技術の教育研究を行っています。具体的には、画像、映像、幾何データ、音声、文書などのメディア情報処理を中心とします。例えば、画像や映像から物体を抽出・計測する、実際の映像と違和感のない人工的な映像を作り出す、人間とコンピュータが自然な言語で会話することなどを対象としています。そのため、これらのメディア情報処理技術に必要な画像情報処理、コンピュータグラフィックス、自然言語処理などを学びます。

知能メディアコースでは知識基盤社会に重要なメディア情報処理システムを開発できる人材を育成します。コースにおける学習を通して情報通信社会に対応できる知識や技術を習得し、プログラム設計、データアナリスト、Webデザイナー、システムエンジニア、システム開発やサーバー設計・構築などの仕事に従事する能力を身に付けることができます。卒業後の進路としては、情報通信関連企業、電機メーカー、ソフトウェア開発関連企業、Webサービス企業、情報処理サービス企業、電力系企業、映像・音響機器メーカーなどがあります。

●研究室、研究テーマ

画像メディア工学・CG

カメラで捉えた実物体の画像から、物体のかたち・動きや表面の質感などを計測・認識する研究を行っています。また、映画やゲームでおなじみのコンピュータグラフィックスを、より美しく、より高速に描くための手法や、原爆ドームに被爆前の建物を重ね合わせて見せるような拡張現実感・複合現実感技術の開発にも取り組んでいます。

言語音声メディア工学

人と機械や、異なる言語を話す人同士での自然で豊かなコミュニケーションを実現するために、音声で対話するCGキャラクターや機械翻訳、大規模な文書集合から必要な情報を言語で検索する技術などに取り組んでいます。

知的メディア工学

テキスト、画像、データなどのさまざまなメディアにおける知識の獲得、知識を適用した知識情報処理の手法の開発や応用、コンピュータが自分で協調して学習を行うマルチエージェントの研究を行っています。また、データを圧縮したり、通信で起こる誤りを訂正したりするための、より効率的な技術について研究しています。物理的な手法を系統的に適用することによって、情報科学に新しい視点を開くことを目指しています。

知能サイエンスコース » 知能工学科

人間の知的能力を理解し実現するために必要となる数理モデル、解析モデル、アルゴリズムなどに着目した知能情報処理に関する基礎技術の教育研究を行っています。例えば、生物進化のモデルを理解し知能情報システムの機能や性能を最適化するために応用する、データを解析し有用な知識を抽出するためのアルゴリズムを考案する、解読しにくい暗号化や効率の高い符号化のための数学的な基礎を学び安全で効率的な通信に応用する、渡り鳥の影響と病原体の進化を考慮した感染症のシミュレーションモデルを構築して感染予防のために利用することなどを対象としています。そのため、これらの知能情報処理に必要な数理モデル化、最適化アルゴリズム、統計的情報処理、確率的情報処理、シミュレーションなどを学びます。

知能サイエンスコースでは知識基盤社会におけるコンピュータの活用に必要な数理モデルや解析モデルを設計し利用できる人材を育成します。コースにおける学習を通して知能情報処理に対応できる知識や技術を修得し、アルゴリズム設計、プログラム開発、データアナリスト、Webデザイナー、システムエンジニア、システム開発やサーバー設計・構築などの仕事に従事する能力を身に付けることができます。卒業後の進路としては、情報処理サービス企業、ソフトウェア開発関連企業、Webサービス企業、情報通信関連企業、電力系企業、金融機関、高等学校教員、地方公共団体などがあります。

●研究室、研究テーマ

計算知能

生物の進化や昆虫の群行動などに基づく自然コンピューティング、脳神経系に基づくニューロコンピューティングなどに関する研究を中心に、知的モデルや計算アルゴリズムの提案、知的システムの構築などを行っています。

パターン認識

パターン認識とはデータに潜む規則性を見つけ出すことであり、文字認識や音声認識に応用されています。ここではビデオ、環境音、テキストなどの(時)系列データを対象に、データに潜む規則性を計算機に自動発見させる機械学習の研究を行っています。

知能数理

因子分析法の数理的基礎に関する数理統計学、数理システムと空間配置の幾何学、暗号理論や符号理論への応用も視野に入れた代数多様体論などの情報科学に関連する数学の諸分野を研究しています。

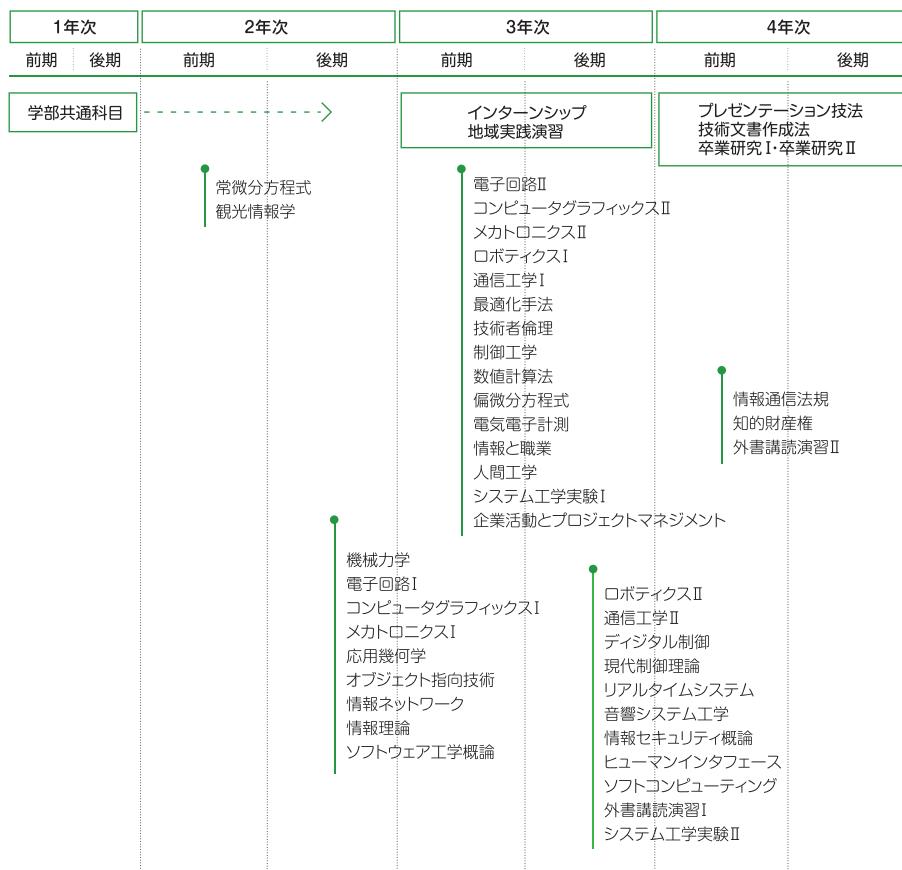
» システム工学科

- 人間・ロボット共生コース
- インターフェースデザインコース

人間・コンピュータ・情報システムの調和を図りユビキタス社会を実現

システム工学科では、人間が安全安心快適便利に生活するための社会システムの実現を目指し、今後ますます重要なロボットを開発するためのシステム化技術ならびに、人間がロボットや情報機器をより快適に使うためのインターフェースデザインに関する技術を広範囲に教育研究します。

III 教育課程



* 科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

人間・ロボット共生コース » システム工学科

深刻な少子高齢化社会を迎える我が国では、労働者人口の激減に対応するため、人間社会のあらゆる場面でロボットが活躍する時代がもうすぐ到来します。本コースではこのような「人間・ロボット共生社会」の到来を念頭に、家庭・介護福祉施設・病院・オフィス・工場等で活躍するさまざまなロボットを開発するためのシステム化技術と、それらの基礎学問である機械力学・電子回路・メカトロニクス・制御工学・ロボティクス・プログラミング・数理科学等に関する教育・研究を行います。ロボットを教材にソフトとハードの両方を習得することができ、自動車・機械・IT・ネットワーク機器等のメーカーをはじめ、さまざまな情報技術業界で即戦力として活躍可能なエンジニアを育てます。

●研究室、研究テーマ

メカトロニクス

情報、機械、電気・電子の融合により生まれるインフォメカトロ工学に関する研究開発を行っています。具体的には、電気自動車、電動車いす、飛行ロボットなどに視覚機能を持たせる研究、筋肉運動の解析と機械システムへの応用、福祉機器への応用を目的としたフルードパワーシステムの開発などを行っています。

知的制御システム

制御と生体計測をキーワードに、自動車の全自動後退駐車システム、視線情報を用いた安全運転支援システム、ドライバーの運転訓練システム、救急車で傷病者を迅速かつ安全に搬送するための総合システムなど、人と環境に優しいシステムの研究・開発に取り組んでいます。

ロボティクス

人間とロボットが共生する社会の到来に向け、生活・介護支援ロボットのための移動制御技術・動作教示技術・環境知能化技術・通信技術等を主に研究しています。また、風を用いた非接触物体操作技術やヒューマノイドロボットを用いたプレゼンテーションシステム等の応用研究も進めています。

数理科学

高速コンピュータ計算を用いた数値解析学、自然現象に関する確率過程論、代数方程式を満たす点の作る图形(代数多様体)を研究する代数幾何学など、各教員が個々の分野の研究に取り組んでいます。

インターフェースデザインコース ≫ システム工学科

世の中に無数に溢れる機械や情報機器は誰でも使えるほど優しい設計にはなっていません。本コースでは、人間・機械・コンピュータを有機的に結び付けることで、「いつでも、どこでも、だれでも」が使うことができるよう優しいインターフェースの実現を目指し、それに必要なデザイン技術を学びます。特に、障害者・弱者・高齢者支援、環境(自動車など)への応用を狙い、ヒューマンインターフェース・人間工学・音響工学・リアルタイムシステム等の基礎技術を習得します。それらを基に、リアルな音質に迫る人工的音響空間のデザイン、直感的で効率的なコンピュータ操作インターフェースデザイン、情報機械を効率的に動かすためのプログラムデザイン等の研究を進める中で、技術とデザインの両者を理解する骨太な人材育成を行っています。

●研究室、研究テーマ

通信・信号処理

さまざまな媒体を伝送路に用いる情報通信システム、量子力学を基にした通信・信号処理回路、インテリジェントな通信方式に関する研究を行っています。

組込みデザイン

機器に組み込まれたコンピュータシステムである組込みシステムの設計技術、分散協調システム、情報セキュリティ、組合せ最適化、情報推薦技術などの研究に取り組んでいます。

サウンドデザイン

道具、機械、環境などをヒトに適したものに設計する人間工学、音響心理や音響工学の基礎から応用までを学ぶ音響システム工学などの教育を開展。基礎科目で学んだ知識に基づき、ヒトの音響・視覚情報に対する感じ方の研究やインターフェースの研究を行っています。脳科学や音響心理学からもサウンドデザインにアプローチします。

システムインターフェース

コンピュータを活用して、人間の創造力や発想力を高め、人間の知的作業を支援するシステムを構築し、インターネット上の情報発見やコミュニケーションの促進、オンライン学習環境の構築と学習効果の増幅を目指した研究を行います。

» 医用情報科学科

情報科学・自然科学・工学に関する十分な基礎教育とそれを超えた学際色豊かな専門教育

医用情報科学科では、豊かで安心・安全な社会の実現を目指し、情報科学・自然科学・工学に関する学問を基礎とし、その上でバイオインフォマティクス、医用画像処理、医用ロボット工学、生体情報工学、医用情報ネットワークといった融合領域の専門知識・技術を学ぶ場を設けています。本カリキュラム構造を用いることで、医療、生命、環境といった現代社会に係る諸問題を既存の学問体系の枠を超えて、俯瞰的に取組むことができる人材を育成します。

III 教育課程 (平成28年度新設も含む)

1年次		2年次		3年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期
学部共通科目				インターンシップ 地域実践演習	プレゼンテーション技法 技術文書作成法 卒業研究I・卒業研究II
				医用統計解析 デジタル信号処理 機械工学 量子・統計力学 制御工学 電気電子計測 分子生物学 医用生体画像計測 外書講読演習I 医用情報科学実験I 企業活動とプロジェクトマネジメント 情報と職業 技術者倫理	情報通信法規 知的財産権
				プログラミングIII 医用プログラミング 情報ネットワーク 力学 幾何光学・波動 電気磁気学 アナログ信号処理 生物学	生物工学 バイオインフォマティクス 医用画像処理 医用ロボット工学 バイオメカニクス 生体情報工学 医用情報ネットワーク 外書講読演習II 医用情報科学実験II

* 臨床情報工学科プログラムで開講される医療系科目(医歯薬保健学、医歯薬保健学II、医療系実習)を卒業要件の単位として認定します。

* 科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

情報科学・自然科学・工学に渡る幅広い領域での基礎知識・技術を修得し、理系大学生としての素養を身に付けます。そして上記基礎を修得した上で新たな学問である医用情報科学に関する知識や技術を体系的に学習します。また実験や実習などのアクティブラーニングを通して、医用情報科学に関する新しい知識や技術を自ら応用展開できる能力を養います。さらに大学間連携事業である「臨床情報医工学プログラム」を活用することで、医療現場での実践的な知識も身に付けることができます。本学科が提供するカリキュラムを体系的に学習することで、情報産業のみならず医療機器、電気電子機器、自動車、製造業等の幅広い産業で必要とされる「俯敵力と学際的・融合的な思考能力」を養います。

●研究室・研究テーマ

バイオ情報学

計算と実験の両方のアプローチで、タンパク質・DNAなどの分子レベルからヒト・植物の個体レベルまでの、生物全般で見られる生命現象の解明に挑み、医療・農業・工業などへの応用を目指します。具体的には、金属タンパク質の機能発現機構の解明とその知見を利用した機能性物質の設計、視覚情報処理の基本原理の解明およびその視覚情報計測技術への応用、病気の診断に用いるバイオセンサーの開発、LEDを用いた植物工場の開発、バイオディーゼル燃料製造時に発生する廃棄物の再資源化などに挑戦しており、生命に関わる基礎から応用までの研究・開発に取り組んでいます。

医用画像工学

X線CT、MRI、顕微鏡などによる画像計測に基づき、生体にかかる分子、細胞、組織から臓器までさまざまな構造物の「かたち」や「動き」、さらにこれらの疾患による変化や個体差などをとらえ、医療や医学をサポートするための技術の研究を行っています。目指しているのは、医師と同等以上の観察眼、知能および学習能力を持つ機械の実現や、基礎医学にも役立つ技術・知見の創出です。そのために必要な新しい画像計測・解析手法、そして解剖学的知識を中心とした医学知識の計算機内表現などの研究に取り組んでいます。

医用ロボット

健康で豊かな社会基盤の構築を目的とし、これまでにない新たな医療福祉計測・支援システムの実現を目指します。具体的には、機械と電気電子との融合から生みだされたマイクロ・メカトロニクス技術を駆使して、超小型医療用デバイス、無痛薬剤投与デバイス、高齢者見守り支援システム、「噛む」見える化するデバイス、フレキシブル・ウエアラブルデバイス、超小型集積化センサデバイス等の創成に挑戦します。これらのデバイス・システム開発を通して、医学・工学・医療福祉産業の発展に広く貢献します。

脳情報科学

先進的な脳機能計測解析技術を開発し、それを医療・福祉・アミューズメント・脳科学等の分野に応用展開することを目指します。脳活動に随伴する光や電磁気などの物理現象を斬新な手法でとらえ脳信号を高精細で可視化する技術や脳神経系と外部機器とのインターフェースにより身体機能の拡張やアシストを実現する技術を開発します。

医用情報通信

病気や健康状態を連続的にチェックできるシステムの研究と、それに必要な生体信号処理、診断アルゴリズム、通信方式、ネットワーク技術、セキュリティ技術などを研究しています。情報通信技術を利用して、個人が、いつでもどこでも先端医療とつながっている社会の実現を目指します。

臨床情報医工学プログラム

医情報系、医療系、医工学系、医療理工学系の知識を身に付けた人材の育成を行います。

●広島市立大学・広島大学・広島工業大学・広島国際大学連携

臨床医学・医療分野の発展とその社会貢献には旧来の医療系研究の手法だけでは不十分で、飛躍的に進歩している情報学・工学分野との連携が必須です。本プログラムでは学士課程、大学院課程における医療系・情報系・工学系の異分野が融合した教育・研究の展開から、「臨床情報医工学」の確立を目指しています。カリキュラムでは、医療系・情報系・医工学系・医療理工学系の内容を含んだ講義を提供するとともに、豊富な臨床実習や特別演習による能動的学修環境を提供し、臨床現場での実践力を備えた人材を育成します。

●カリキュラム

本学の学生は情報科学部で学ぶ内容に加え、医療、医工学、医療理工学の知識を身に付けることができます。

共通科目

- ・早期医療体験実習
- ・臨床情報医工学特別演習

実際の医療施設等での実習により目標を明確にし、合同合宿研修等により能動的に問題解決する能力を養います。

医情報系科目 — 広島市立大学担当

- ・医用情報科学
- ・生体信号処理
- ・医用プログラミング

医療と情報科学の融合領域について学ぶとともに、生体信号処理や医用画像処理といった医用情報処理について学びます。

医療系科目 — 広島大学担当

- ・医歯薬保健学I
- ・医歯薬保健学II
- ・医療系実習

医歯薬保健学の基礎的事項を広く学び、医療と情報系・工学系の関係についても学びます。また、医療現場での実習を通して、知識を経験として得ることができます。

医工学系科目 — 広島工業大学担当

- ・医療機器の原理と構造
- ・医用電子工学
- ・臨床医工学実習

電気・電子回路の基礎知識を学び、学んだ知識が実際にどのような機器に利用されているか知ることができます。さらに実験を通して医療機器の設計や動作について学びます。

医療理工学系科目 — 広島国際大学担当

- ・保健医療学概論
- ・診療技術論
- ・医療理工学演習

医療職種、医療倫理、チーム医療、生命システムについての基礎を学びます。また、臨床放射線科学、臨床工学、臨床検査学、救急医療について講義・演習を通して学びます。

●遠隔講義システム

他大学の講義を受講するに当たっては、情報科学部に設置されている遠隔講義システムを利用します。他大学の講義を、他大学に行くことなく受講することができます。

●学生交流

学外にも共に学ぶ仲間を作ることで、学生生活がより有意義なものになります。

※ 本プログラムに関する記載情報は平成28年4月時点のものです。

教員一覧

氏名	所属学科／専門分野
	准教授 青山正人 AOYAMA, Masahito
	助教 厚海慶太 ATSUUMI, Keita
	講師 池田徹志 IKEDA, Tetsushi
	教授(情報処理センター長) 石田賢治 ISHIDA, Kenji
	教授 石光俊介 ISHIMITSU, Shunsuke
	准教授 市原英行 ICHIHARA, Hideyuki
	助教 稻木雅人 INAGI, Masato
	助教 稻葉通将 INABA, Michimasa
	助教 井上伸二 INOUE, Shinji
	教授(キャリアセンター長) 井上智生 INOUE, Tomoo
	准教授 井上博之 INOUE, Hiroyuki
	助教 岩垣剛 IWAGAKI, Tsuyoshi
	教授 岩城敏 IWAKI, Satoshi
	准教授 岩田一貴 IWATA, Kazunori

氏名	所属学科／専門分野
	准教授 岩根典之 IWANE, Noriyuki
	准教授 内田智之 UCHIDA, Tomoyuki
	准教授 大田知行 OHTA, Tomoyuki
	講師 岡本勝 OKAMOTO, Masaru
	講師 岡山友昭 OKAYAMA, Tomoaki
	准教授 小野貴彦 ONO, Takahiko
	准教授 小畠博靖 OBATA, Hiroyasu
	教授(学部長) 角田良明 KAKUDA, Yoshiaki
	特任助教 兼松佑典 KANEMATSU, Yusuke
	講師 神尾武司 KAMIO, Takeshi
	講師 上土井陽子 KAMIDOI, Yoko
	講師 川端英之 KAWABATA, Hideyuki
	助教 川本佳代 KAWAMOTO, Kayo
	特任助教 河本悠 KAWAMOTO, Yu

氏名	所属学科／専門分野
	教授 北上始 KITAKAMI, Hajime
	准教授 釣宮章光 KUGIMIYA, Akimitsu
	講師 串田淳一 KUSHIDA, Jun-ichi
	助教 窪田昌史 KUBOTA, Atsushi
	准教授 黒木進 KUROKI, Susumu
	助教 黒澤義明 KUROSOAWA, Yoshiaki
	講師 桑田精一 KUWATA, Seiichi
	講師 香田次郎 KOHDHA, Jiro
	講師 河野英太郎 KOHNNO, Eitaro
	准教授 小崎貴弘 KOSAKI, Takahiro
	助教 小作敏晴 KOSAKU, Toshiharu
	助教 児島彰 KOJIMA, Akira
	教授 小林康秀 KOBAYASHI, Yasuhide
	特任助教 近藤寛子 KONDO, Hiroko

氏名	所属学科／専門分野
	助教 齋藤徹 SAITO, Toru
	講師 齋藤夏雄 SAITO, Natsuo
	助教 齊藤充行 SAITO, Mitsuyuki
	教授 佐藤学 SATO, Manabu
	助教 佐藤康臣 SATO, Yasuomi
	教授 式田光宏 SHIKIDA, Mitsuhiro
	准教授 島和之 SHIMA, Kazuyuki
	講師 新浩一 SHIN, Koichi
	准教授 末松伸朗 SUEMATSU, Nobuo
	助教 鈴木祐介 SUZUKI, Yusuke
	准教授 関根光弘 SEKINE, Mitsuhiro
	准教授 双紙正和 SOSHI, Masakazu
	助教 高井博之 TAKAI, Hiroyuki
	准教授 高野知佐 TAKANO, Chisa

※の教員は、2016年度末に退職の予定です。

教員一覧

氏名	所属学科／専門分野	氏名	所属学科／専門分野
	教授 鷹野 優 TAKANO, Yu		講師 常盤達司 TOKIWA, Tatsuji
	教授 高橋健一 TAKAHASHI, Kenichi		教授 中田明夫 NAKATA, Akio
	准教授 高橋 賢 TAKAHASHI, Satoshi		特任助教 中田一紀 NAKADA, Kazuki
	助教 高橋雄三 TAKAHASHI, Yuzo		准教授 中野靖久 NAKANO, Yasuhisa
	准教授 高橋隆一 TAKAHASHI, Ryuichi		助教 中山仁史 NAKAYAMA, Masashi
	教授 高濱徹行 TAKAHAMA, Tetsuyuki		教授 永山 忍 NAGAYAMA, Shinobu
	教授(社会連携センター長) 竹澤寿幸 TAKEZAWA, Toshiyuki		准教授 難波英嗣 NANBA, Hidetsugu
	准教授 田中公一 TANAKA, Koichi		教授 西 正博 NISHI, Masahiro
	教授 田中輝雄 TANAKA, Teruo		助教 長谷川義大 HASEGAWA, Yoshihiro
	教授 田中宏和 TANAKA, Hirokazu		助教 畠山泰貴 HATAKEYAMA, Yasutaka
	講師 谷川一哉 TANIGAWA, Kazuya		准教授 八方直久 HAPPO, Naohisa
	講師 谷口和弘 TANIGUCHI, Kazuhiro		講師 馬場雅志 BABA, Masashi
	准教授 田村慶一 TAMURA, Keiichi		准教授 原 章 HARA, Akira
	助教 辻 勝弘 TSUJI, Katsuhiro		教授 日浦慎作 HIURA, Shinsaku

氏名	所属学科／専門分野	氏名	所属学科／専門分野
	講師 廣門正行 HIROKADO, Masayuki		准教授 宮崎大輔 MIYAZAKI, Daisuke
	教授 弘中哲夫 HIRONAKA, Tetsuo		准教授 宮原哲浩 MIYAHARA, Tetsuhiro
	教授 樋脇 治 HIWAKI, Osamu		准教授 村田佳洋 MURATA, Yoshihiro
	准教授 福島 勝 FUKUSHIMA, Masaru		助教 目良和也 MERA, Kazuya
	准教授 福田浩士 FUKUDA, Hiroshi		助教 森 康真 MORI, Yasuma
	教授 藤坂尚登 FUJISAWA, Hisato		教授(副学部長) 李 仕剛 Li, Shigang
	准教授 藤原久志 FUJIWARA, Hisashi		教授(副学長) 若林真一 WAKABAYASHI, Shin'ichi
	講師 藤原 真 FUJIWARA, Makoto		助教 脇田 航 WAKITA, Wataru
	准教授 舟阪淳一 FUNASAKA, Jun-ichi		
	准教授 古川 亮 FURUKAWA, Ryo		
	教授(附属図書館長) 前田香織 MAEDA, Kaori		
	教授 増谷佳孝 MASUTANI, Yoshitaka		
	教授 松原行宏 MATSUBARA, Yukihiko		
	准教授 三村和史 MIMURA, Kazushi		

※の教員は、2016年度末に退職の予定です。

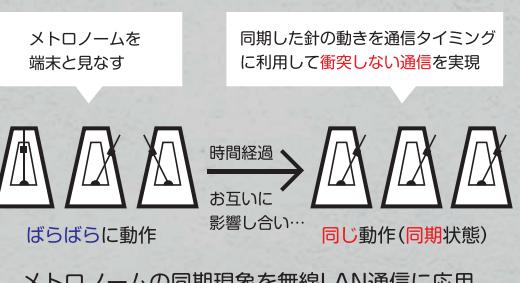
情報科学部のユニークな研究紹介

研究
その1

自然界に学ぶ無線LAN制御技術

情報工学科・情報ネットワーク研究室

最初ばらばらに動作するメトロノームの針が一定時間後に同期する現象を応用した無線LAN制御技術を研究しています。この技術を使うと街中のWi-Fiスポットを多数が同時に利用しても通信が遅くなりません。



研究
その2

スマホを原爆ドームに向けるだけ

知能工学科・画像メディア工学・CG研究室

タブレット端末やスマートフォンのカメラを原爆ドームに向けるだけで、画像中の建物の位置や向きを分析し、その上に被爆前建物のコンピュータグラフィックスをぴったり重ね合わせるような技術を開発しています。



研究
その3

五感情情報を人工的に作り出す

システム工学科・知的制御システム研究室

五感情情報を人工的に作り出すバーチャルリアリティに関する研究を進めています。この技術を応用することにより、他人の五感情情報を追体験したり、多地点間で共有したり、シミュレーションしたりすることができます。



研究
その4

耳は口ほどにものを言う

医用情報科学科・医用ロボット研究室

耳の穴に指を入れて、目を見開いたり閉じたりして表情を変えると、指先にかすかな動きを感じると思います。この微少な耳の穴の動きをイヤフォン型のセンサで計測して、表情で操作できる未来のエアラブルコンピュータ(earable、イヤラブル)を開発しています。ロッテリズミカム(写真)にもearableの咀嚼計測技術が活用されています。

<http://www.earable.jp/>



後列右から2番目が開発者の谷口講師

Voices

最初は工学部を目指していたのですが、これからは情報科学分野も重要と考え、情報科学も工学も学べる市大に入学。ソフトからもハードからもアプローチできる面白さを実感しています。昨年、企業インターンシップに参加して働く楽しさを知り、早く現場で経験を積みたいと思うようになりました。特に印象的だったのは電力設備の保守作業。停電時に電力を供給する蓄電池の点検で、生活に直結するインフラを扱う責任とやりがいを感じました。チームで実験などに取り組むことでコミュニケーションの大切さを学んだので、周りの人を上手く巻き込みながら、協力しあって何事にも取り組んでいきたいと思います。市大の情報科学部で知識・技術を幅広く学ぶことで、将来の選択肢が広がります。学科への配属は2年生の時に行われる所以、1年生の時にじっくりと方向性を考え、目標を見つけてください。



「使い手に喜んでもらえるもの」を。

情報科学も工学も、だから世界が広がる。

(情報科学部)
システム工学科 4年
伊藤 千聖
Ito Chisato
(広島県立広島皆実高等学校出身)

3年生から研究室に入り自動車のネットワークを研究しています。優秀な仲間と切磋琢磨できる恵まれた環境です。昨年、情報工学科の3年生全員が参加する授業「情報工学実験」で、Androidアプリを使ってロボットを遠隔操作するコンテストが行われました。家ではアプリの開発、実験室ではロボットの試運転と、試行錯誤を重ねたかいがあり、前期に個人最優秀・団体3位、後期に個人最優秀・団体最優秀を受賞しました。今年の目標は、今注目の情報セキュリティに精通した人材を育成する「セキュリティ・キャンプ全国大会」の参加者に選抜されること。競争率が高いのですが、福岡や沖縄の地方大会に以前参加した経験を生かして、ぜひ通過したいと思います。高校までに学んできたことは決して無駄ではないと、今は自信を持って言えます。勉強は生涯続くもの。強い意志を持って、悔いのないように学んでください。



長い間、研究も、趣味も、悔いのないようや引きることが目標！

(情報科学部)
情報工学科 4年
手柴 瑞基
Mizuki Teshiba
(広島県立廿日市高等学校出身)

Voices

2年生の時に友人と「レゴマス」というサークルを立ち上げました。レゴ社の「レゴブロック」と「マインドストーム」というロボットを扱っており、ロボコンに出場したり、「ロボカップジュニア」というコンテストにボランティアで協力したりしています。このような学内や地域とのつながりに加えて、私が受講している「臨床情報医学プログラム」では、参加大学との合同合宿や遠隔授業が行われるなど、他大学と交流する機会が多くあります。情報処理学会主催の「インターラクション2016」というシンポジウムでは、他大学の先生や学生さんと共に、人気アニメ有名な「スカウター」を参考にした作品を制作しました。市大では、「やりたい！」と手を上げれば、身近な人だけでなく知らない先生や学生までもが力を貸してくれます。今は目的がぼんやりしていても、きっとやりたいことが見えてくるので、興味の向く方向へ、まずは一步踏み出してみてください。



学内から他大学や地域まで
どんどん広がるつなぎと
素晴らしい人たちとの出会い。

(情報科学部)
医用情報科学科 4年
深町 侑加
Yuka Fukamachi

(広島県立五日市高等学校出身)

「知的メディア工学研究室」で、符号理論を研究しています。漠然とした興味で情報科学部を選んだため、最初は分からぬことばかりでしたが、どの先生も熱心に分かりやすく指導してくださいるので、今こうして楽しみながら研究に携わることができます。印象に残っているのは、IEEEという学会が主催の学生シンポジウムの運営に携わったこと。論文プログラム委員長を務め、責任の重さにプレッシャーを感じながらも最後までやり遂げ、非常に良い経験になりました。自分自身も「空間結合数独の符号理論的評価」という論文を発表して優秀研究賞をいただき、日ごろの努力が目に見える形で評価されたことは本当にうれしく、格別でした。知識が浅いからは分からないとしても、知識がつながってくると学ぶ意味が理解できモチベーションも上がります。少しでも興味があるなら、飛び込んでみてください。

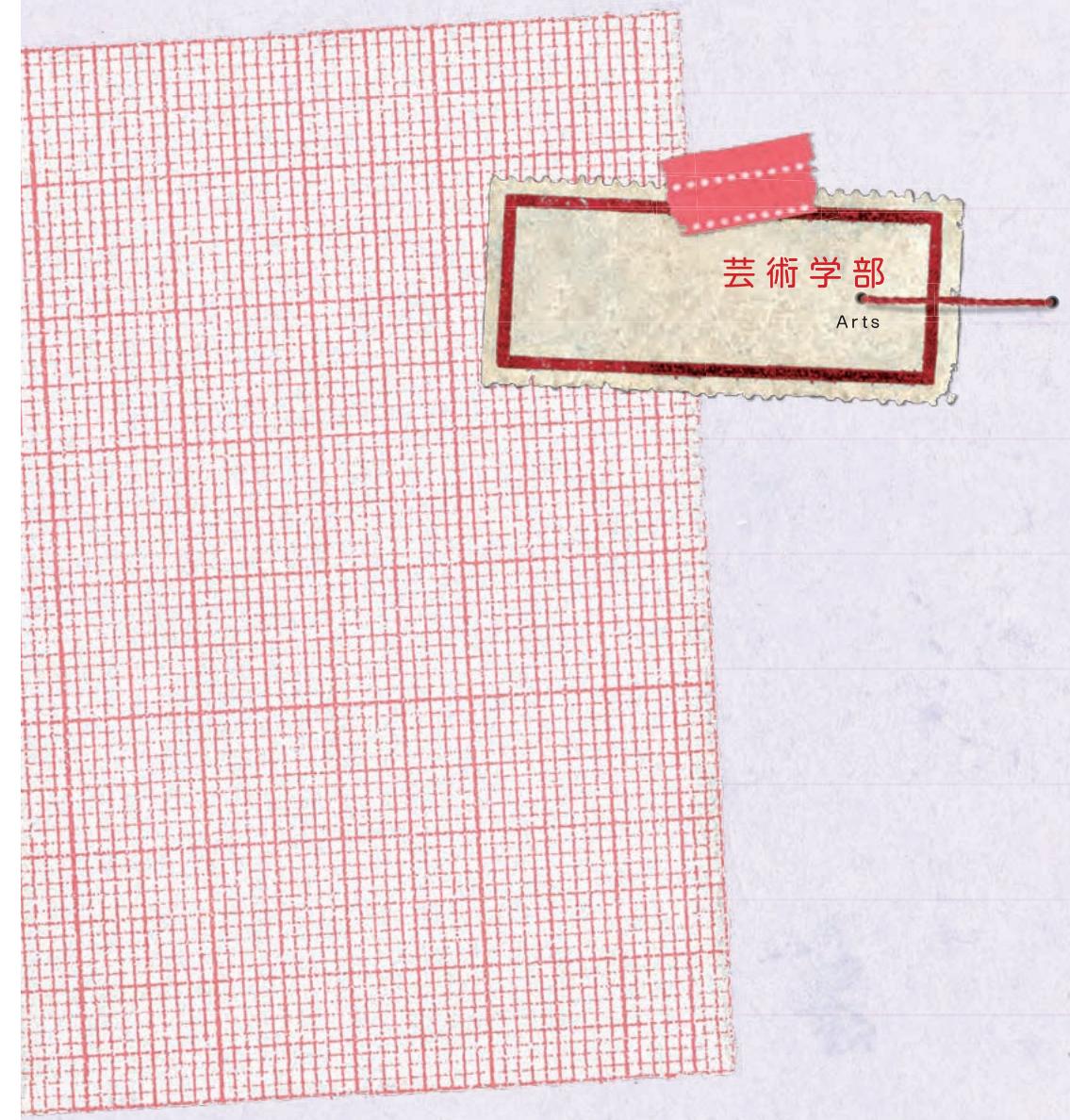


興味と意欲があれば
地道な研究が評価される喜びは格別。
知識や技術はついてくる。

(大学院 情報科学研究科 博士前期課程)
知能工学専攻 2年

北園 忠弘
Tadahiro Kitazono

(鳥取県立倉吉東高等学校出身)



これから社会と芸術文化を創造するためには

芸術は、人に感動と共感を与え、新たな価値観や示唆を生み出します。

近年では、地域社会と連携したさまざまなアートプロジェクトが、多く見られるようになってきました。

それは、芸術活動が社会と密接に関わることで、新しい関係性やネットワークを生み出し、活性をもたらしていく芸術特有の有用性があるからです。

当学部では、美術、デザイン工芸の両学科における基礎力を重視し、

専攻、分野の、より専門的な知識や技術の修得と、新たな表現の獲得を目指します。大学内外、地域社会や海外と連携した多角的な教育の中で、自身の制作を通して、揺るぎない礎を築いていくください。

主体的に学び、広い視野で国内外の芸術・文化をとらえ、

将来の活躍の場を獲得してほしいと思います。

現代の複雑な社会環境の中で、柔軟に対応できる判断力と創作力を養い、社会における芸術の役割と必要性を示し、

これから社会と芸術文化を創造していきましょう。



南 昌伸

芸術学部長
MINAMI Masanobu





自己表現の可能性を追求するために、理論と実技を身に付け、感性を育む

III 求める人物像

Admission Policy

豊かな感性と創造力を持ち、時代の変化に柔軟に対応して、
多様な技術を修得したいと考える学生を求めています。
創作活動を通じて、地域社会と国際交流に貢献する意欲を重視しています。

1

創作活動に必要な基礎的な表現力を持ち、
それをさらに伸ばしたいと考えている人

2

独自の表現方法を見つけて自分のものとするために、
多様な素材や技術を学びたい人

3

地域社会や国際交流を通して、
社会とかかわりながら表現活動を行いたい人

III 教育方針

Principles

創作活動の基本となる基礎実技をしっかりと修得し、
多様な技術を総合的に学んだ上で、地域社会や国際交流でも
アートを通して活躍できる能力を育んでいきます。

創作活動を続けるために基礎実技を重視

自己の表現を追求する創作活動を続けていくために必要な観察力と
造形力を養う基礎実技の修得を重視した教育を行っています。

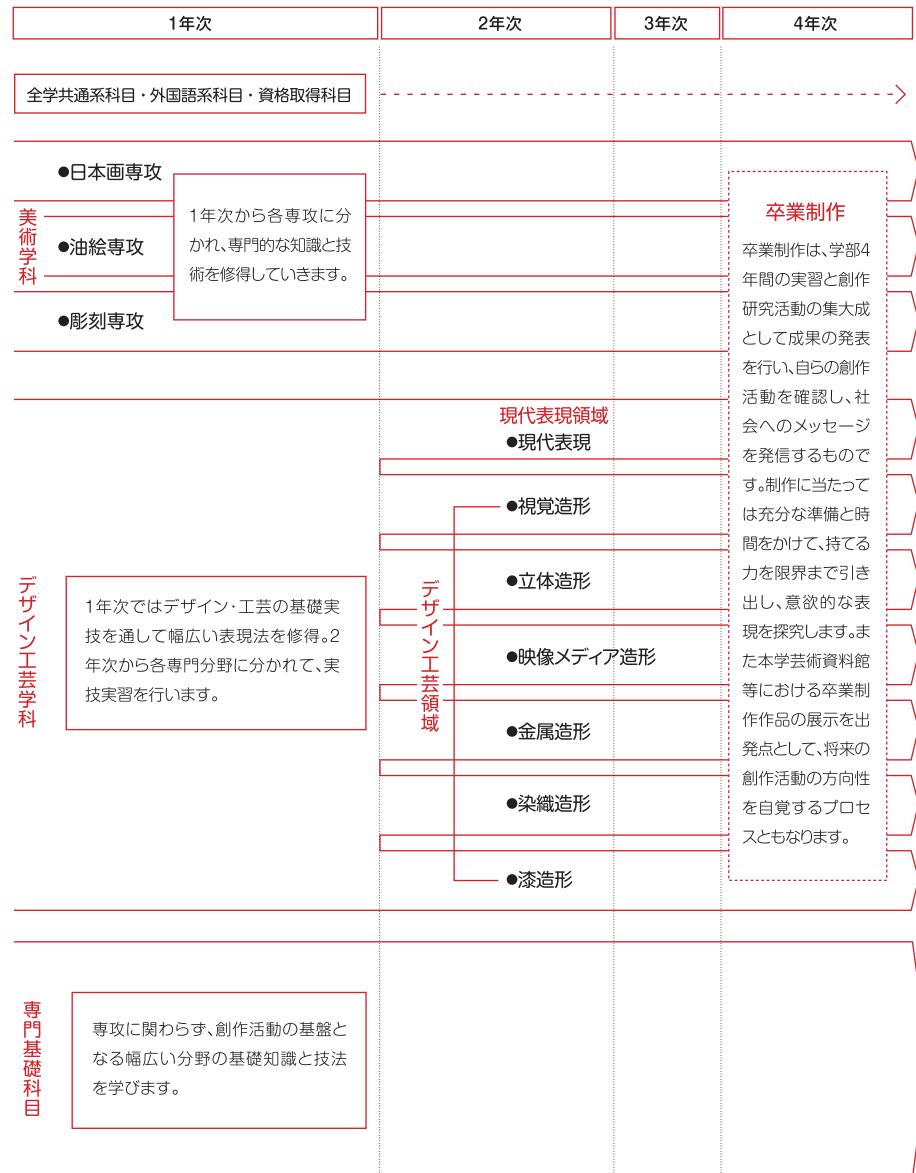
多様な技術修得のための多角的・総合的な教育

独自の表現方法と出会うために、過去から現在に至るさまざまな分野の素材や
技術を学ぶことができる、多角的で総合的な教育を行っています。

地域と国際を軸に芸術の社会的役割を学ぶ

地域社会との連携や海外との学術交流などを通して、芸術の社会的な役割を知り、
社会の中で表現活動を行う実践的な機会を提供しています。

年次チャート、学部共通科目



» 美術学科

●日本画専攻 ●油絵専攻 ●彫刻専攻

基礎技術修得と幅広いカリキュラムで、創造者としての感性を養い、時代に貢献する人材を育成

美術学科は、純粋芸術の専門的な教育・研究を行います。芸術の創造者としての基盤となる感性を養い、的確な造形表現をするための能力の充実を図ることができる基礎教育を重視します。日本画・油絵・彫刻は、それぞれの分野において造形の体系を形成した歴史や哲学、科学などがあり、人文科学的な要素についても学ばなければなりません。それらの確固たる造形性を修得した創造者を目指して、実技演習のみならず基礎の教養の充実を図ります。それとともに、現代を思考し、専門領域のみならず幅広い視野で芸術を理解できるようなカリキュラムを組み込み、これから社会に創造者として発表する上で必要な能力を育て、新たな時代を形成し貢献する人材を輩出することを目指しています。

III 教育課程

	専門基礎科目	日本画専攻	油絵専攻	彫刻専攻	
1年次	現代美術演習Ⅰ 美術解剖学 デザイン概論 工芸概論	油彩画材料論 油絵入門 日本画入門 色彩論	日本画実習Ⅰ 材料実習Ⅰ デッサン実習Ⅰ 構成演習Ⅰ(平面) 色彩論	油絵基礎演習 デッサン実習Ⅰ 構成演習Ⅰ(平面) 油絵実習Ⅰ 彫刻演習 版画制作実習Ⅰ	彫刻実習Ⅰ デッサン実習Ⅰ 構成演習Ⅰ 実材制作基礎演習 (工芸制作を含む。)
2年次	図法及び製図 西洋美術史 材料技法演習 現代美術演習Ⅱ 工芸制作Ⅰ・Ⅱ(演習) 芸術工学 工芸材料概説	写真(映像)概論 現代美術史Ⅰ・Ⅱ 版画制作演習 繪画論 アートマネージメント概論 造形応用研究Ⅰ	日本画実習Ⅱ デッサン実習Ⅱ 構成演習 材料実習Ⅱ(金属材料) 彫塑演習	油絵実習ⅡA・B 版画制作実習Ⅱ 学外演習 デッサン実習Ⅱ 構成演習Ⅱ(平面) 油絵材料・技法演習 (古典技法)	彫刻実習Ⅱ デッサン実習Ⅱ 実材制作実習Ⅰ 構成実習Ⅱ (平面・立体)
3年次	美学 日本美術史 東洋美術史	文化財学研究 彫刻概論 現代美術論 造形応用研究Ⅰ・Ⅱ 地域実践演習	日本画実習Ⅲ 古美術研究(演習) デッサン実習Ⅲ 材料実習Ⅲ 構成実習Ⅲ(平面)	古美術研究(演習) 構成演習Ⅲ(平面) 油絵実習ⅢA・B デッサン実習Ⅲ	彫刻実習Ⅲ 古美術研究(演習) 実材制作実習Ⅱ 彫刻論 (古典研究を含む。) 構成実習Ⅲ(立体) デッサン実習Ⅲ
4年次	造形応用研究Ⅰ・Ⅱ		日本画実習Ⅳ 繪画論演習 技法演習(裏打技法) 卒業制作(演習)	油絵実習ⅣA・B 卒業制作A・B(演習)	彫刻実習Ⅳ 卒業制作

※ 科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

日本画専攻

» 美術学科

基礎教育から独創的な表現に至る指導で、創造性に富んだ人材を育成

日本画専攻の目標

日本画の伝統的絵画表現という側面と、現代を生きる芸術家としての自由な表現とを両立した、広い視野を持ち、芸術表現の可能性を追求する21世紀に生きる現代日本画作家の輩出を目指としています。4年間の多彩で多様な授業を通して、高い知識、確かな技術を修得すると同時に創造性、独創性に富んだ卓越した人材を育成することを目標に、これから文化芸術の創造・発展に貢献することを理念としています。

■授業概要

4年間の授業の中で、写生、技法研究等の基礎教育から、独創的な表現に至る段階的な指導を行っています。1年次では材料の扱い方や制作を主に基盤力を高め、2・3年次では写生旅行や古美術研究旅行等によるスケッチ取材や文化財の実地見学の体験を通じ創作の幅を広げます。4年次には、今までの授業の集大成となる卒業作品を制作。各学年とも表現者としての基礎を身に付けるため、デッサンや写生を重視。また、古典模写や、専門的な裏打ち技法や金、銀箔の授業も随時開設など、効果的な教育プログラムとなっています。

■卒業後の展望

日本画専攻では、優秀な作家の養成とともに、教職課程、学芸員資格等の取得にも積極的に取り組んでいます。教育機関や研究施設における指導者、研究者として芸術文化の振興に携わり、地域の文化に貢献しています。より専門的な技術や高い芸術性の修得を求める学生は、大学院の進学を希望します。進学、就職と進路はさまざまですが、多くの卒業生が公募展や個展などで積極的に作品発表を続け、高い評価を得ています。

油絵専攻

» 美術学科

内面を重視しながら段階的に学んで、絵画の新しい造形と表現の可能性を探る

油絵専攻の目標

油絵は西洋の伝統的絵画造形の代表です。油絵を学ぶことは、その根底に流れる西洋の歴史や多様な精神文化も学び知ることになります。西洋の絵画を本質的に理解するための、実践的な実技教育を通して表現力を修得することで、指導内容に写実の精神のみならず、やがては新たな自己の表現を目指すことができる教育を目標にしています。油絵を学ぶことで自ら現代を広い視野で見ることができる人材の育成を理念とします。

■授業概要

4年間を段階的に教育・研究が進められるようカリキュラムを編成。1年次は、デッサン中心の基礎実技実習。2年次は、油絵制作中心の実技実習に加えて油絵材料・技法演習で基礎力を強化。また、1~2年次にかけて銅版画と木口木版画を学び平面造形を幅広く学びます。3年次には自主的な制作研究も取り入れ卒業制作への準備と、古美術研究では、イタリアでの実地研修で西洋の本質に触れて専門性を高めます。4年次は、集大成として卒業制作を行い、成果を発表します。

■卒業後の展望

卒業生はさらに専門性の高い教育を望み大学院進学や海外留学を選んだり、あるいは社会人として自立するために美術に関連する職業に従事しつつ、個展や公募展、各種企画展などの作家活動を続けています。中には既に作家として高い評価を得ている者もいます。また美術指導者や研究者として専任・非常勤の教員や学芸員として教育分野で活躍する者、培った造形的な応用力を生かしてデザインやアニメ、メディア業界などの多様な業種に進む者など、優秀な人材を輩出しています。

彫刻専攻

» 美術学科

基礎実習と実材研究を通した新たな彫刻表現の探求

彫刻専攻の目標

常に実在物や現実空間と対峙することを必要とする彫刻専攻では、体験的学習を重視。塑造実習や木・石・金属、ミクストメディア等の実材実習を中心に、古美術研究旅行、彫刻論等を通して、実際にモノを扱い、現地を訪れ、作家から直接聞くことをカリキュラムの核としています。また、古代から現代までの芸術文化を研究することで、現代社会における芸術の役割を認識し、新たな彫刻表現を探求。さらに国際交流・地域連携を積極的に取り入れ、地域文化をリードする国際性豊かな人材を育成します。

■授業概要

4年間を通して、彫刻の基礎となる塑造を中心に制作を行っていきます。人体をモデルに骨格・構造などの仕組みを把握し、自然から彫刻芸術の基礎的な形態を学びます。併せて東洋・西洋の古典、現代までの多様な芸術表現を学習することによって、自らの創造基盤をつくり上げます。1・2年次には、実材の基礎的知識と技術を身に付けることを目的として学習・制作に取り組みます。3年次以降は、実材を選択し、自主課題に沿った制作活動の中から自己表現の方法を学びます。

■卒業後の展望

学部卒業後は、毎年多くの学生が進学を希望し、さらに高度な創作・研究を進めていきます。学生の多くは、教職関連や造形力を生かせる職業に就きながら、作家としての自立を目指し、広島を中心に個展を開催したり、公募展やグループ展、プロジェクトに参加して、発表や活動の場を広げていきます。さらに、海外の芸術大学へ留学する学生もおり、国際的視野を持ち、併せて地域に根差したさまざまな方面で活躍しています。

» デザイン工芸学科

現代表現領域

●現代表現

デザイン工芸領域

●視覚造形 ●立体造形 ●映像メディア造形 ●金属造形 ●染織造形 ●漆造形

確かな造形表現のための基礎を重視しながら、創造的な活動および表現のできる能力を育てる

デザイン工芸学科は、社会と生活に関わる造形芸術の総合的な教育と研究を行うために、創造力、造形力を身に付け、確かな造形表現が行えるよう基礎教育を重視しながら、今日の社会における新しい表現と、長い歴史に培われた造形表現の双方を検証して、より専門的な造形表現へと展開していくける学科です。7つの分野を設け、幅広い表現を展開する専門領域の特徴を効果的に教育体制の中に反映させることで、広範な活動領域において柔軟に対応し、創造的な活動および表現のできる能力を育て、新たな時代の形成と社会に貢献していくことができる人材の育成を行います。

III 教育課程

	専門基礎科目	専門科目	
1年次	現代美術演習I 美術解剖学 デザイン概論 工芸概論 油彩画材料論	油絵入門 日本画入門 色彩論	造形実習IA・B 描出演習I 形体演習I
2年次	図法及び製図 西洋美術史 材料技法演習 現代美術演習II 工芸制作I・II(演習) 芸術工学 工芸材料概説	写真(映像)概論 現代美術史I・II 版画制作演習 絵画論 アートマネジメント概論 造形応用研究I	総合表現研究(演習) 造形実習IIA・B 描出演習II 形体演習II
3年次	美学 日本美術史 東洋美術史 文化財学研究 彫刻概論 現代美術論 造形応用研究I・II 地域実践演習		古美術研究(演習) テーマ研究(演習) 造形実習III A・B
4年次	造形応用研究I・II		造形研究(演習) 卒業制作(演習)

* 科目については、今後のカリキュラム改正により、変更等が生じる場合があります。

現代表現 » デザイン工芸学科

CA+T(Contemporary Art and Theory) 現代社会の要請に応える表現者を育成

現代表現分野の目標

現代表現分野では、現代美術から空間デザイン・都市デザインに至る、都市の公共空間や商業空間での先端的表現の実践と理論構築を通じて、現代社会の要請に応える表現者の育成を目指します。また、国内外におけるアートプロジェクトの自主企画を通して、表現活動を支えるアートマネジメントや、展示の企画運営を行うキュレーションを修得。将来、日本でも中心的な領域になるであろう現代美術を、専門的・体系的に学ぶことができます。

■ 授業概要

3年次では、前期に公共空間でのアートプロジェクトの企画を行い、後期に商業空間での先端的表現を実践します。現代美術と商業デザインの関係を探り、広い視野の獲得を目指します。また、表現者として必要なプレゼンテーションの方法やポートフォリオ、アーティストブックの制作を学ぶと同時に、現場で活躍するキュレーターによる講義で、アートマネジメントの基礎を学習。卒業制作では、豊富な活動と経験を有する教員により、個々の学生に応じた作品制作の指導を行います。さらに、撮影実習からカタログのデザインまで、将来の活動を支える実践的な授業も行っています。

■ 卒業後の展望

活動領域が日本国内にとどまらない国際的なアーティスト。表現領域が従来のデザインにとどまらない先端的表現者。そして、それらの表現者を支えるアートマネジメントの場が、卒業後の活躍のフィールドです。これまでに、多くの卒業生が、それぞれの才能を発揮して、さまざまな場面で活躍しています。また、海外への留学生が多い現代表現分野では、国際的に活躍する作家を多く輩出しています。

視覚造形 » デザイン工芸学科

視覚とコミュニケーションを重視した学習で、新しいビジュアル表現を創造

視覚造形分野の目標

視覚による知覚とコミュニケーションは、五感全体の8割を超えると言われています。視覚造形分野は、特にこの視覚を中心的に扱う分野として、「イメージを表現し伝えること(描く・書く・話す)」を重視しています。その具体的な仕事の一例は、グラフィックデザインやアートディレクション、イラストレーションに見ることができます。そして、視覚的表現を含むあらゆるデザインは表現の「計画」にほかならないのです。

■ 授業概要

調査に基づいた考察と対話を通じて表現計画を立て、多様な展開を示唆し創作性を向上させ、実習を通じて表現に必要な技術を修得。2年次は、イラスト・写真・CGといった描画基礎実習、ポスター・マーク・ロゴ・サイン計画・イベント企画・版画等の創作研究と東京デザイン研修を実施。3年次は、CI・広告・編集デザイン・テーマ制作等のグラフィックデザインを中心にデザインメディアへの応用・展開と、その表現とプレゼンテーションとして創作研究を行います。4年次では、創作研究、ポートフォリオ、卒業制作を行います。

■ 卒業後の展望

視覚造形分野では、過去に学び現代の洞察を通じて新しいビジュアル表現を創造する表現者の育成を目指しています。これまでの卒業生は、主にプロダクションにおけるグラフィックデザイナーとして活躍していますが、その他にも、広告代理店におけるCMプランナーやディレクター、印刷会社におけるアートディレクターや、イベントデザイナー、パッケージデザイナー、アーティスト、イラストレーターとなって、多方面で活躍しています。

立体造形 ≫ デザイン工芸学科

モノとデザインの本質を考え、幅広い視野で最適なモノづくりを目指す

立体造形分野の目標

立体造形は、生活の中の人—モノ—環境と関わる道具とシステム、人—情報が関わるさまざまな要素をデザインすることです。ともすれば効率性や経済的な価値を重視する現代の社会は、人と道具やモノに込められたココロの大切さを見失いかが。そこで、モノとデザインの本質を考え、幅広い視野で最適なモノづくりを目指します。人とプロダクトデザインの最適な関わりは何か。生活と社会中の立体造形に対する創造性豊かで自由な発想力を尊重します。

■授業概要

実習をプログラムの中心に、計画、造形、伝達などの基礎的な項目を構想から実物の製作まで学習。2年次は多様な素材の作品を制作、道具と空間をデザインします。3年次は、構造—造形—機能のデザインを具体化し、その成果を展示・公開。4年次は、卒業制作に向けて、計画—構想から試作、展示、伝達のすべてのデザインを行い、学外の卒業制作展に具体化します。また、芸術資料館のコレクションに手を触れて学び、専門工房で製作、学外の体験学習と地場産業の見学研修体験とともにデザイン能力、表現力向上を同時に進めます。さらに、交換留学できる環境のもと、学部—博士後期課程まで多くの海外学術交流協定大学からの留学生と共に学び、海外との研究、教育交流で多様な文化との活発な共生・協働ができる授業を行っています。

■卒業後の展望

自動車のデザイン、家具、玩具、ゲーム、Webデザイン、ファッション、店舗、企画開発といった生活に関わるさまざまな分野にデザイナーとして卒業生が多く就職し、新しい生活と近未来社会を目指して問題を解決し貢献できる活動を広げています。

映像メディア造形 ≫ デザイン工芸学科

CGやアニメーション、コンピュータなどの技術を駆使したアートやデザイン表現を創造する

映像メディア造形分野の目標

映像メディアはビジュアルコミュニケーションの中核を担う存在と言えます。多様なメディアに展開される「映像」を、「光・音・動き」によって構築された時間軸表現ととらえ、各素材を使って基礎的な映像造形力を養い、CGやアニメーション、電子デバイスなどの先端技術を駆使したアートやデザインを創造します。豊富な演習で、動画映像・表現を探求し、社会に適応できる人材を育成します。

■授業概要

2年次では、基礎的な造形力の養成をメインに「光」「音」「動き」等をモチーフにした造形実習を行い、同時にコンピュータでの各種アプリケーションソフトの技術修得によるスキルアップを図ります。3年次では、専門スタジオシステムを利用した映像制作の実習や、修得した造形感覚とスキルを生かし、各自が目指す方向性を探る演習を実施します。4年次前期は、卒業制作に向けて学生の感性とスキルに合わせ、計画から試作を検討。後期には卒業制作に取り組んで作品発表を行うとともに、カタログ制作や映像パブリッシュメディアの制作も行います。

■卒業後の展望

卒業後の進路としては、映像制作会社・TV放送局、Web制作・デザイン制作会社、ゲーム制作業界などへ就職し、身に付いた技術や表現力を發揮する道があります。また、アーティスト・映像クリエイターとして活動し、多くのコンペティションで受賞している卒業生もいます。4年間の映像メディア造形分野の学習を通して培われた先鋭的感性、情報処理能力、人間力を生かしさまざまな分野で活躍する人材を輩出しています。

金属造形 ≫ デザイン工芸学科

金属素材との対話を通した確かな技術修得、柔軟な思考が独自の表現を生む

金属造形分野の目標

人類が金属素材に出会って以来、金属の可能性への探求は、モノづくりへの挑戦から始まったと言えます。金属造形では、「彫金」「鍛金」「鋳金」といった金属工芸の伝統的技法の修得を通じて、素材や歴史的背景について理解を深め、自己の制作を通して感性を磨きます。修得した確かな技術と柔軟な思考をもとに、現代における工芸、金属造形のあり方を考え、独自の表現と新たな方向性を探ります。

■授業概要

2年次は、手仕事を中心とする金属工芸の伝統的基礎技法を修得しながら、金属工芸の基本的な知識と技術を学びます。3年次は、課題制作を通じて、複合技術の修得とともに、より深い知識と高度な技術を学ぶことで、高い専門性と応用力を身に付けます。また学年共通のテーマ制作では、制作から展示までのプロセスを総合的に学び卒業制作に備えます。4年次は、各自の卒業制作について綿密な検討を重ね、予備研究、習作を経て実制作に移り、4年間の集大成として卒業制作を完成させます。

■卒業後の展望

卒業後の進路は、製品開発、製造を行う企業での企画開発、デザインなどの分野で才能を発揮する、あるいはジュエリーデザイナーや工芸作家として独自の表現を追求する作家活動に入る、中学・高等学校の教員、専門学校の講師として学んだ技術を教える立場に立つなどさまざまな道に進むことができます。金属工芸を学び、磨いた感性を生かし、既に社会で活躍する多くの卒業生に続いて、これからも幅広い分野で活躍し、自己の表現を追求していくことを期待しています。

染織造形 ≫ デザイン工芸学科

染織に関わる多様な素材や技法を修得し、現代社会での新たな表現を問いかける

染織造形分野の目標

染織は古来より、人々の生活の中に息づいてきました。特に、日本の染織文化は我が国の民族衣装である「着物」を基にして世界に類を見ないほど高い水準に達しました。現代でも日本人の染織作品やテキスタイルデザインは独自の美意識で世界からも注目されています。染織造形では、日本独自の多様な技法と感性の蓄積を見つめ直し、現代社会における染・織・繊維造形のあり方を広い視野からとらえ、新しい染織の表現や可能性を問いかけていきます。

■授業概要

2年次には、染織に関する素材（主に繊維と染料）に関する基礎知識を学び、染（謄纏、型染、スクリーン捺染）、織（織織、組織織、二重織）特有の表現法を通して染織造形の基礎技法を修得します。3年次では、課題を通して技術・素材・知識に対する専門性を深め、個々の創作に対する意識の向上と創作表現に必要な技法の質的な向上を目指します。さらに、共通のテーマに応じた作品の制作・展示・プレゼンテーションすることで表現の幅を広げます。4年次は各自の考えたテーマによる卒業制作で自己表現の確立を目指します。

■卒業後の展望

染織造形では、染色、織物や繊維に関する知識と高い造形力を身に付け、デザイナーやアーティストとして、社会のさまざまな場で幅広く活躍できる人材の育成を目標としています。テキスタイルデザイナー、グラフィックデザイナー、染織作家、造形作家、教員など幅広い分野で活躍する人材を輩出しています。

漆造形 ≫ デザイン工芸学科

もの創りの必然性を追求し、創造性豊かな表現を目指す

漆造形分野の目標

現代の日本の経済力を作り上げた戦後の高度経済成長。しかし価値観が経済に集中しがちになった結果、画一化も進行し、人々の間で「心の豊かさ」が軽視されさまざまな社会問題が生じています。漆造形工房では、9千年に及ぶ人と漆の関わりや、技芸を学びます。自然と常に向き合う漆の仕事は自己を覚醒させ、もの創りの本質を導き出してくれます。長年の経験を必要とする奥の深い世界ですが、ここでの学習を生かし、現代社会に「心の豊かさ」を呼び戻す、そんな学生を育成します。

■授業概要

2年次以降の塗装基礎技術の修得として、多種多様な道具制作、木地から漆呂色上まで約40工程に及ぶ本堅地を学び、蒔絵・螺鈿・彫漆等の加飾技法を修得。3年次は素地造形を中心に轆轤・乾漆を修得。特に轆轤は地場産業でもある宮島轆轤の技術を基本に、刃物の鍛造から徹底指導。また金属など異素材の専門技術を学び、漆との複合的な創作研究や漆の歴史と自己表現のあり方を見直す古典を研究。4年次は学部の集大成とし、自由な造形表現の制作を行います。

■卒業後の展望

インテリアデザイナー、広告代理店、写真家、映像作家、高等学校教員、専門学校講師など、現在まで卒業生の就職率は非常に高く、幅広い分野で活躍する多くの人材を輩出しています。今後もより多くの分野で漆を学んだ学生が活躍することを望んでいます。

教員一覧

氏名 所属学科／専門分野

	講師 有持 旭 ARIMOCHI, Akira	デザイン工芸学科 映像メディア造形
--	-------------------------------	----------------------

	教授(副学部長) 伊東敏光 ITO, Toshimitsu	美術学科 彫刻
--	-------------------------------------	------------

	准教授 今村雅弘 IMAMURA, Masahiro	美術学科 日本画
--	----------------------------------	-------------

	教授 ウォーゼン, チャールズ WORTHEN, Charles	美術学科 彫刻
--	--	------------

氏名 所属学科／専門分野

	教授 海老 洋 EBI, Yo	美術学科 日本画
--	-----------------------	-------------

	教授 鰐澤達夫 EBISAWA, Tatsuo	デザイン工芸学科 現代表現
--	-------------------------------	------------------

	教授 及川久男 OIKAWA, Hisao	デザイン工芸学科 視覚造形
--	-----------------------------	------------------

	准教授 大塚智嗣 OHTSUKA, Tomotsugu	デザイン工芸学科 漆造形
--	-----------------------------------	-----------------

教員一覧

氏名 所属学科／専門分野

	教授 大矢英雄 OHYA, Hideo	美術学科 油絵
--	---------------------------	------------

	教授 笠原 浩 KASAHARA, Hiroshi	デザイン工芸学科 映像メディア造形
--	---------------------------------	----------------------

	教授 倉内 啓 KURAUCHI, Hiroshi	デザイン工芸学科 染織造形
--	---------------------------------	------------------

	講師 佐藤尉隆 SATO, Yasutaka	美術学科 油絵
--	------------------------------	------------

	准教授 志水児王 SHIMIZU, Jio	美術学科 油絵
--	-----------------------------	------------

	准教授 諏訪 敦 SUWA, Atsushi	美術学科 油絵
--	------------------------------	------------

	講師 田中圭介 TANAKA, Keisuke	美術学科 彫刻
--	-------------------------------	------------

	講師 釣谷幸輝 TSURITANI, Koki	美術学科 油絵
--	-------------------------------	------------

	教授 永見文人 NAGAMI, Fumito	デザイン工芸学科 金属造形
--	------------------------------	------------------

	講師 中村 圭 NAKAMURA, Kei	デザイン工芸学科 視覚造形
--	-----------------------------	------------------

	助教 七瀬綾乃 NANAKARAGE, Ayano	美術学科 彫刻
--	---------------------------------	------------

	講師 野田睦美 NODA, Mutsumi	デザイン工芸学科 染織造形
--	-----------------------------	------------------

芸術学部のユニークな研究紹介

研究 その1

目に見えるすべての「モノ」も、見えない「コト」も

立体造形研究室 教授:吉田幸弘

従来のプロダクトデザインという枠組みを超えて、目に見えるモノすべてがデザインの対象です。常に新しいモノを生み出す「創造」を追求しながらも、戦争で失ったモノを忠実に元の姿に戻す「復元」にもかかわり、新旧入り混じった世界を体験できる「タイムマシン」のような研究室です。シャレオ地下街のストリートファニチャー、鷹野橋の歩道橋、宇品橋、猿猴橋、横川の「かよこバス」など多くのプロジェクトに参加しましたが、共通するのは「一人では成し遂げられないこと」。地域の思いをくみ取り、一緒になって「モノ」をつくりながら、同時に、人とのつながりやものづくりの楽しさなどが広がっていくというような「コト」を動かす。それらすべてが「デザイン」なのだと、肌で感じながら学んでほしいと思います。



猿猴橋復元完成記念として猿猴橋で開催された祭り「えんこうさん」の様子

研究 その2

作品にかかる人々とのつながりを、彫り、深める

彫刻研究室 教授:ウォーゼン・チャールズ

今年から芸術学部出身の作家数名が「瀬戸内国際芸術祭」に参加しています。このプロジェクトは、国内外からアーティストが集まり、芸術活動を通して地域との交流を図る企画です。アートに触れながら、大自然の素晴らしさや野生動物との遭遇といった体験が、価値観や世界觀を変えてくれます。まさに、アートが人生を面白くしてくれることを実感できるプロジェクトです。作品をつくるには、環境を尊重する気持ちと地域の人々の協力が欠かせません。作家はあくまで作品を構成する鎖の一部。材料一つから、かかる人々の想いと力、作品を展示する環境まで、全てが連鎖するようにつながり、初めて一つの作品として完成します。その過程が彫刻の醍醐味。作家は作品をつくりながら人とのつながりも「彫刻」しているのです。



2トンのテトラポットを踊らせた作品「ひとりおどり」の設置チェックをしている様子

創作工房・実習アトリエ一覧

●創作工房

石彫工房

木彫工房

金属工房

テラコッタ窯場

鍛金・鍛造工房

彫金工房

プラスチック塗装工房

織工房

染工房

漆工房

版画工房

フレスコ室

石膏デッサン室

金属加工室

木材加工室

CA+Tラボラトリー

VCデザインスタジオ

2Dプリントルーム

3Dスタジオ

3Dプリントルーム

メディアワークスタジオ

アニメーションワークスタジオ

コンピュータールーム

フォトスタジオ

アートシアター

●実習アトリエ

日本画アトリエ

油絵アトリエ

彫刻アトリエ

デザイン工芸実習室

版画工房

織工房

鍛金・鍛造工房



Voices

オープンキャンパスで「キッズキャンパス」を知り、絵本を描きたいという夢があった私は、子どもたちと一緒にさまざまな創作活動に取り組めるこのプロジェクトに魅力を感じました。キッズキャンパスがきっかけで子どもの教育にも興味を持ち、アート療育を専門とする障がい児対象のデイサービスでアルバイトをしています。子どもがやりたいことを、指導員はあくまでもサポートする立場。私が学んできたことを生かし、アイデアの幅を広げてあげられるよう心がけています。私は油絵を始めたのも遅く、自信を持てないこともあります。でも、さまざまな活動に積極的に参加して多くの人と出会い、そこからチャンスが広がって、新しい目標や自分らしい成長の仕方を発見できました。何もせずに後悔するのではなく、思い切って動いて後悔するのなら価値があります。恐れず挑戦してください。



挑戦することで見つけた自分らしさ。

アート、子ども、福祉…

出会いからチャンスが広がって

(芸術学部)
美術学科 油絵専攻 4年
加藤 望
Nozomi Kato
(大阪府立夕陽丘高等学校出身)

将来は教育の方面で、芸術を通して学んだ柔軟な思考力などを生かしたいと考えています。芸術は遠い世界じゃなく身近にもあふれていると、子どもたちに気付いてほしいです。現在、アルバイトで、私と同じように耳の聞こえない子どもたちと触れ合っています。聴覚障がいを持つ私にとって、大学入学は挑戦でした。不便はあります

が、理解してくれる仲間ができ、要望を伝えることでサポートが増え、さらに、全日本ろう学生懇談会で企画を立てたり、サークルで山登りを楽しんだり、アートバザールで出店したり、自ら行動することで自分を見つめ、受け入れられるようになりました。私は市大の図書館が大好きで、本を読んで自分を見つめ直しています。彫刻は「動」、読書は「静」の時間。悲しみも、苦しみも、身の糧になるので、じっくり自分と向き合い、のびのび過ごしてください。



芸術はすぐそばにあるもの。

自分と向き合い見つめ直すなら

図書館がオススメ。

(芸術学部)
美術学科 彫刻専攻 4年
梁谷 侑未
Yumi Haritani
(大阪市立工芸高等学校出身)

Voices

ワンダーフォーゲル部に入部して自然の素晴らしさを知り、この目で見た景色、この胸にあふれた感動をそのまま届けたい。そのような絵を描いています。1人で1週間くらい山にこもり、スケッチをしている時間がとても幸せです。また、教員免許を取ろうと決めた時、どうも子ども独特の世界についていけない自分がいる気がして、克服するために、子ども向けのアートプログラム「キッズキャンバス」に参加しました。どっちが子どもなんだ!? っていうくらい一緒にあってはしゃいで、自分の中のいらない重石が取れ、とても有意義でした。画家を目指しているのですが、教員という立場からも「つくる楽しさ」を子どもたちに伝えられたらいいなと考えています。大学に入ってからが本当の勝負。何にでも対応できるように、しっかりと腕を磨いておけば、世界が広がります。

自ら楽しみ、子どもたちにも伝えたい。
この胸の高鳴りを、そのままに。

目の前に広がる素晴らしい景色を、

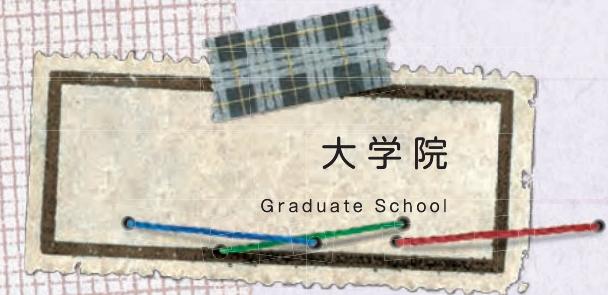
(芸術学部)
美術学科 日本画専攻 4年
松岡 円香
Madoaka Matsuoka
(兵庫県立姫路工業高等学校出身)

昨年、授業の一環で、オタフクソース(株)と協力して映像を制作しました。お好み焼きにまつわるエッセイを映像化するという課題で、私はプロポーズの話を実写化。ホームページで世間に公開されることや企業イメージにかかわることなど、大きな責任とプレッシャーを感じながらも、気合いを入れて取り組みました。スケジュール管理や進行など反省点は多々ありましたが、親身になってくださったオタフクソースの方や行き詰った時に的確なアドバイスをくださった先生など、多くの方が協力してください、本当に感謝しています。授業以外では、所属するMusic Art Club(軽音楽部)の宣伝映像やステージ演出用の映像をつくっています。大学祭など大きなステージで映像を流している時はうれしい気持ちになります。自分の課題もありますが、何か一つ自信が持てるなどを極め、強みをつくっておけば、支えになると思います。

経験と反省を糧にもつと成長し、心に強く訴えかける映像を自信を持って世に送り出せるようになります。

(芸術学部)
デザイン工芸学科 4年
迫 海憂
Miyu Sako
(広島県立安古市高等学校出身)





大学院

Graduate School

大学院の目的と特色

◎大学院の目的

1. 高度な学術知識や能力を修得した研究者及び専門職業人の育成
2. 21世紀の地球社会の多種多様な課題を発見、解明、解決するとともに、世界平和の構築に貢献する人材の育成
3. 最先端の学問領域を究め、社会の多様性と変化に即応しうる知性と感性と創造性をあわせもつ人材の育成
4. 地域と連携し社会に開かれた教育・研究の推進によって、多様化する地域社会の充実と発展に貢献する人材の育成
5. 高度な学際的関心と旺盛な知的好奇心を持ち、専門的学術研究を志向する社会人のための生涯学習の支援

教育・研究の特色

1. 高度な専門的教育・研究

- 専門領域諸分野についての最新の研究成果と研究手法を取り入れた教育・研究を行います。
- 最新の学術情報を接することも、学問の深奥に触れ、活発な問題意識を育む教育・研究を行います。

2. 高度な専門教育に相応した学際的教育・研究

- 高度な専門性を維持しながら、既存の縦割りの専門分野や研究領域を超えた、広範な横断的視野からの学際的な教育・研究を行います。
- 物事を広範な視野から考察し、総合的視点からの判断力と理解力を養う教育・研究を行います。

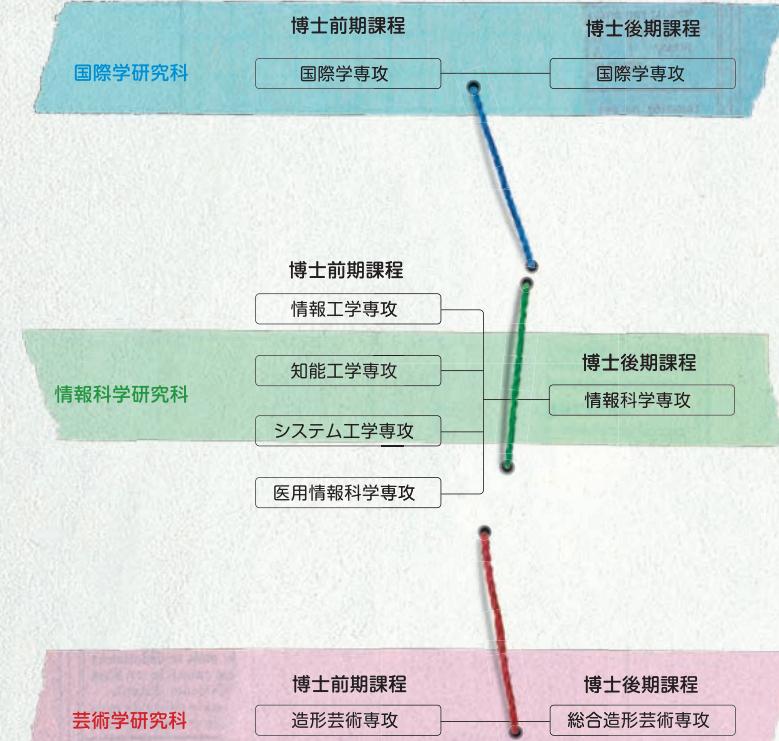
3. 論理性、創造性、独創性を涵養する教育・研究

- 論理的な思考力を養い、幅広い学識と豊かな人間性を育む教育・研究を行います。
- 研究意欲を高め、高度な専門的学術知識の修得を目指すとともに、創造性と独創性を涵養する教育・研究を積極的に進めます。

大学院組織図

自己の研究をより深め、視野・思考の幅を広げる大学院の研究

最先端の学問領域を究め、知性と感性と創造性を研ぐための学問の場である広島市立大学大学院。3つの研究科のそれぞれが、専門分野の高度な研究につながる授業科目群を設置するとともに、学際的な知識を修得して調和のとれた人間形成を図る科目群「21世紀の人間と社会」を開設。社会の指導的役割を果たす能力と人間力を育てていきます。



全研究科共通科目群 21世紀の人間と社会

学際的な視野から、明日の地球社会を見つめる

全研究科共通の選択必修科目群「21世紀の人間と社会」は、人文科学、社会科学、自然科学、芸術学など、既存の縦割りによる学問領域を越えて、より広範な学際的領域で編成されています。これらの科目群を通してさまざまな分野の本質に触れることで、学問研究に対する調和のとれた思考と柔軟な批判精神を養うとともに、修得した専門知識を再構築する機会となります。

このように、大学院では専攻する専門分野の既成の枠組みを越えて、常に、新鮮な視点、多様な問題意識、柔軟な判断力を養う、先を見通しにいく21世紀の社会に役立つ調和の取れた教育・研究を行っています。

開設授業科目

◎ 国際関係と平和 広島平和研究所長 吉川 元

20世紀の平和と安全保障の概念の変容について講義するとともに、冷戦後になぜ、新しい安全保障の概念や活動が展開されるようになったのか、その背景を考察します。そして、21世紀の平和と安全保障を俯瞰します。

◎ 日本論 教授 佐藤 深雪

20世紀初頭に、夏目漱石は、自己本位と則天去私にもとづいた個人主義によって独自の立脚点を得ました。ヘンリー・詹姆斯におけるヨーロッパとアメリカの関係と対比しながら、漱石の「私の個人主義」と「現代日本の開化」を中心に論じ、「日本」について考察します。

◎ 道具論 教授 及川 久男 ほか

道具がどのような存在であるかを論じます。道具存在論、道具が開く文明と文化の歴史過去と現在、未来論、形態と機能、美意識の国際比較、美術、工芸とインダストリアルデザインとの違いなど、道具を使う立場、つくる立場、考える立場、商う立場にとっての道具のありようの見方を論じます。

◎ 人間論A(人文・社会科学) 非常勤講師 上寺 常和

人間は歴史的・社会的・文化的・哲學的・教育的存在です。この前提に立って、人間学的視点から、また人類学的視点から人間論を展開します。現代社会は加速度的に急激な変化をしており、人間の本質、生き方、あり方を探求することは、極めて重要な意味を持ちます。

◎ 人間論B(自然科学) 非常勤講師 戸田山 和久

人間の大きな特徴は「心」をもっていることだと言われてきました。一方で、人間は動物であり、さらに究極的には物質にすぎません。こうした唯物論的な見方に立った上で、人間の心をどのように捉えていけば良いのか、心の科学と心の哲学の交差する領域の問題を考えていきます。

◎ 科学技術と倫理 非常勤講師 石田 三千雄

科学倫理や技術倫理、科学者：技術者の責任、技術の文明論的考察、生命操作技術の倫理や生命倫理学の倫理性、科学技術と公共性、市民の関与、技術倫理の仮説、技術者倫理教育の現状などを論じます。

◎ 情報と社会 非常勤講師 橋 啓八郎

私たちが生活している社会は情報化社会、電子社会等と呼ばれて久しい。現状では情報化、ITと称されている電子技術、情報通信技術によるコンピュータ及びそれらを結び合うネットワークシステムが重要な社会基盤と考えられ、それらの発展により私たちの生活や社会情勢が大きく変化しつつあります。本講義では経済、法制度、倫理、文化、国際関係等に情報関連技術の発展により、どのような問題が生じるのか、今後どのように対処すれば良いかを検討します。

◎ 都市論 教授 吉田 幸弘 ほか

グローバル化やマルチメディア技術の普及とともに都市はますます不可視となっていました。機械化、ネットワーク化する都市は、他方で生命体としての人間のエコロジー回帰を促してもいます。そもそも都市とは何だったのか、歴史の原点に遡り、かつ未来都市を構想しつつ、また視野を広く地球規模に広げて、世界に知られる都市広島においてこそ論じなければならない、21世紀の都市像とそのデザイン方法について実践事例や現地見学を含めて講じます。

大学院での教育・研究

国際学研究科

国際学部での学びは、大学院の国際学研究科に進学することで、より高度で先端的な研究へと発展させることができます。国際学研究科には、2年間学んで修士の学位取得を目指すコース(博士前期課程)と、修士を取得した上でさらに3年間研究を続けて博士の学位取得を目指すコース(博士後期課程)が設置されています。

大学院では、学部よりも新しい研究成果と研究手法を取り入れた高度な専門教育を行うとともに、研究領域を越えた広範な横断的視点から学際的な研究を指導します。そして、論理的、創造的、独創的な考え方を持ち、幅広い学識と豊かな人間性を備えた人材を育てるこを目標としています。

■ 博士前期課程

国際学研究科の博士前期課程では、5つの研究群、地域研究、そして平和学を学ぶための科目があります。5つの研究群の内訳は、国家、民族、国際組織、NGOなどの動きを観察する国際関係研究群、公共関連組織、民間企業、NPOなどの役割・機能について考察する公共政策研究群、経営知識、理論、実践の学修を目指す経営政策研究群、文化の相互交渉と個人間の相互行為から人類社会を分析する社会文化研究群、そして、言語と文化や社会の幅広い関わりに多様な視点から迫る言語文化研究群があります。地域研究では、既存の学問、またはそれらを横断する視点から地域を観察します。また、平和学を学ぶためのコア科目やピース・インターンシップなども用意されています。

以上の研究群、地域研究、または平和学関連科目から所定の科目と、全研究科共通科目、専門基礎科目などを学んだ上で修士論文等を作成し、それが認められれば修士(国際学、学術、または平和学)の学位が授与されます。また、中学校教諭一種免許状(英語)、高等学校教諭一種免許状(英語)を取得していれば、所定の科目を修得することで、それぞれの英語の専修免許状を取得することもできます。

■ 博士後期課程

博士後期課程では、博士前期課程と比べてさらに専門性が高く、高度な教育、指導を受けながら研究を進めます。そのため博士後期課程では、歴史、理論、政策の基本的な3領域を念頭に、包括的な2つの専攻研究分野で教育課程が編成されています。それは、国際社会が直面する諸問題について横断的に研究が可能な国際社会研究分野と、世界諸地域について多角的、多面的に研究が可能な地域研究分野です。

博士後期課程においても、所定の科目の単位を取得し博士論文が認められれば、その内容に応じて、博士(国際学、学術、または平和学)の学位が授与されます。

大学院での教育・研究

情報科学研究科

情報科学研究科は、21世紀の「情報技術」の先端的専門分野・情報科学と諸学問との学際分野において柔軟な発想と開発力で貢献する人材養成が目標です。そのため、創造性、自立性を養う自主プロジェクト演習など、科学技術の高度化と多様化に対応したカリキュラムを編成しています。情報科学研究科における特徴は以下の3つです。

1. 高度な専門的教育・研究

- 専門領域諸分野についての最新の研究成果と研究手法を取り入れた教育・研究を行います。
- 最新の学術情報に接するとともに、学問の深奥に触れ、活発な問題意識を育む教育・研究を行います。

2. 高度な専門教育に相応した学際的教育・研究

- 高度な専門性を維持しながら、既存の縦割りの専門分野や研究領域を越えた、広範な横断的視野からの学際的な教育・研究を行います。
- 物事を広範な視野から考察し、総合的視点からの判断力と理解力を養う教育・研究を行います。

3. 論理性、創造性、独創性を涵養する教育・研究

- 論理的な思考力を養い、幅広い学識と豊かな人間性を育む教育・研究を行います。
- 研究意欲を高め、高度な専門的学術知識の修得を目指すとともに、創造性と独創性を涵養する教育・研究を積極的に進めます。

博士前期課程

情報科学に関する学理の探求と科学技術の発展を推進するとともに、情報科学に関する研究開発を担う研究者および高度専門技術者を育成することを目的とし、総合的な分析力、企画力、判断力および国際的視野を身に付けた人材を養成しています。全研究科共通科目、専門基礎科目などを学んだ上で修士論文を作成し、それが認められれば修士(情報工学または情報科学)の学位を取得できます。

博士後期課程

情報基盤のグローバル化、ボーダレス化に伴い、パラダイムシフトを予見し、先導するための国際的な視野と競争力を持つ高度な研究者・技術者の養成は必要不可欠です。そこで、高度研究開発能力の育成・向上と実践的課題解決能力の育成を目指した教育・研究に取り組んでいます。前期課程と同様に所定の科目の単位を取得し博士論文が認められれば、博士(情報工学または情報科学)の学位が授与されます。

大学院での教育・研究

芸術学研究科

芸術学研究科は、高度な文化芸術の創造・発展に貢献することを理念とし、美術、デザイン、工芸に関する卓越した創作・研究能力を培い、地域文化振興と国際文化交流において指導的な役割を果たす、理論を踏まえた高度の専門性を有する人材を養成することを目的としています。

教育・研究の特色

芸術学研究科は、人材育成の目的を達成するため、次のような特色を持った教育・研究を行っています。

- 1 古典研究を重視しつつ現代の視点に立って、伝統的な文化芸術を継承・発展・創造する専門的人材を育成する教育・研究を行っています。
- 2 新しい素材や技法への研鑽を深め、電子メディア社会に即した先端表現を推進する教育・研究を行っています。
- 3 現代社会に対応する芸術領域の研究として、創作への深い理解に基づいた理論や歴史の教育・研究を行っています。
- 4 理論の習熟を基にした創作を探求し、創造表現およびその応用に必要な高度な技術と理論の教育・研究を行っています。
- 5 地域文化振興と国際文化交流等、社会における文化芸術の振興において指導的な役割を果たすことのできる人材を育成する教育・研究を行っています。

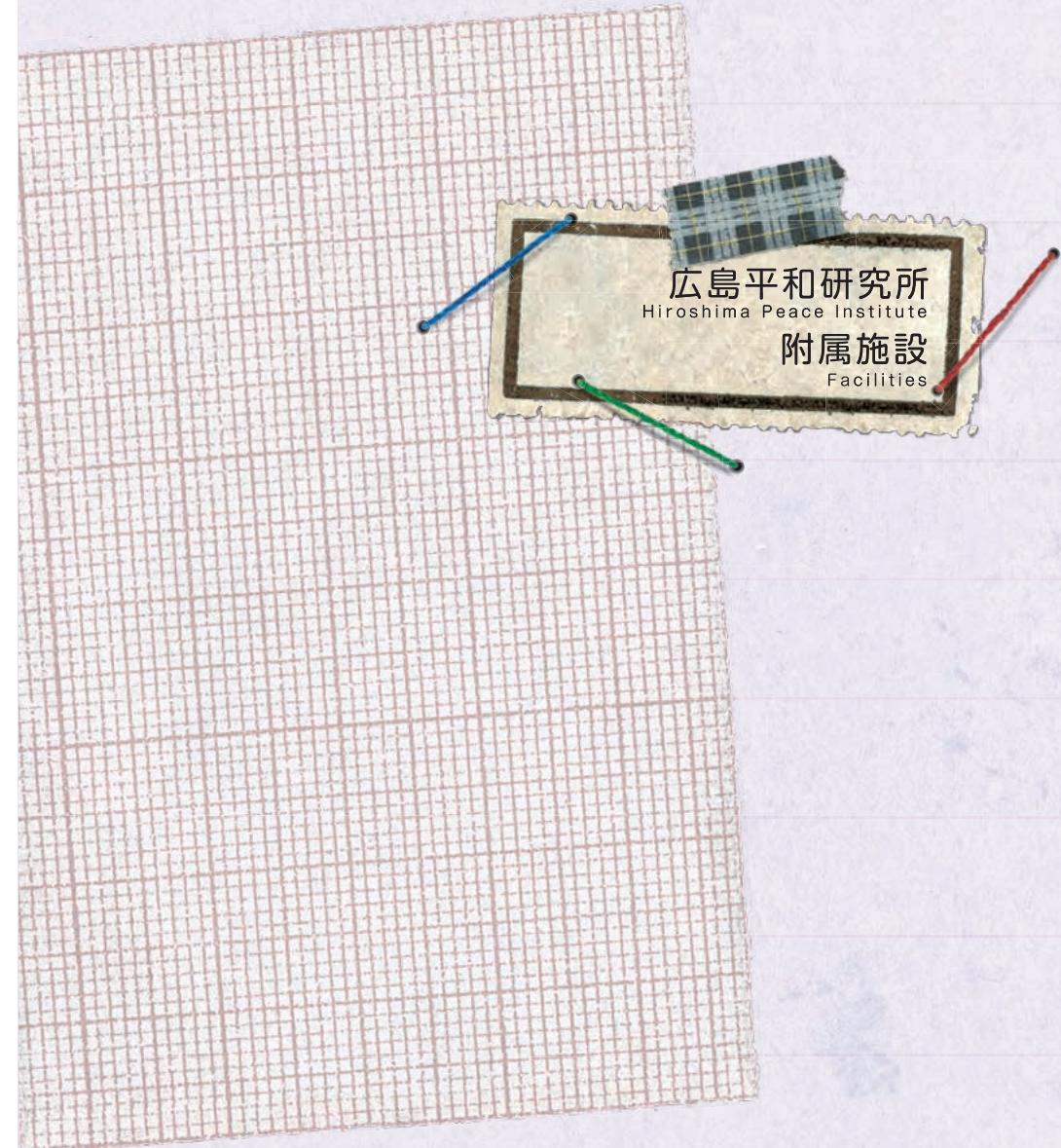
博士前期課程

博士前期課程では、美術、デザイン、工芸に関する幅広い知識と高度な技術、深い感性を体得させ、その基礎となる豊かな学識を養うことにより、将来、作家、デザイナー、教育者、研究者、学芸員(キュレーター)、ギャラリストなどの領域において指導的な役割を果たすことができる、幅広い視野と高度な表現力を持った人間性豊かな専門家を養成することを目標としています。

博士後期課程

博士後期課程では、芸術に関する高度な創造・表現の技術と理論を研究し、芸術文化に関する幅広い議見を有する芸術家および研究者を育成します。他領域との融合を重視し、学際的な議見を持ち、円満な人格と豊かな人間性に貫かれ、併せて時代に対応する創造性豊かで国際的視野を有する人材を養成することを目的としています。

広島平和研究所
Hiroshima Peace Institute
附属施設
Facilities



広島平和研究所

広島平和研究所長 吉川 元

広島市立大学に広島平和研究所が設立されたのは1998年4月のことです。当研究所は、被爆地・広島で平和を模索し、平和を創造するための学術研究機関として重要な役割を担っています。なぜ戦争は勃発するのでしょうか。なぜ核兵器の廃絶ができないのでしょうか。なぜ世界各地で武力紛争が絶えず、多くの人々が貧困に苦しんでいるのでしょうか。なぜ平和であっても、多くの国で政府は国民を虐げ、人権を侵害するのでしょうか。平和と人間の安全保障とは、いったいどのような関係にあるのでしょうか。

平和創造にも人間の安全保障にも、多くの課題があり、さまざまな障害が横たわっています。こうした疑問の解明に取り組むことが広島平和研究所に課せられた使命です。そして得られた平和研究の成果を学生たちとも共有しています。

平和外交を展開してきたはずの日本なのに、その日本を取り巻く東アジアの国際関係は、今日、世界でもっとも緊張する地域のひとつであり、これまで以上に平和創造は喫緊の課題として私たちに突きつけられています。

平和創造と人間の安全保障の実現には、政治と外交が重要な役割を果たします。その政治と外交を動かすのは、まさに皆さんの平和観であり、学術的に裏打ちされた見識です。広島市立大学でわれわれと共に平和について学びませんか。

●国際平和文化都市広島の「知」の拠点

世界初の核兵器による被爆を体験した「広島」の地に生まれた総合大学として、本学では、世界平和の創造・維持、地域社会の発展に貢献することを目指し、附置研究機関である広島平和研究所を設置しました。平和に関する学術研究を通じて、核兵器の廃絶に向けての役割を担うとともに、世界平和の創造に取り組んでいます。

●市民、そして世界への情報発信

広島平和研究所の活動状況は、随時ウェブサイトやニュースレターにより世界に向けて情報発信しています。研究成果は、「国際シンポジウム」や「フォーラム」および「連続市民講座」等の開催や、紀要『広島平和研究』、「広島平和研究所ブックレット」等の出版物、論文などにより市民に広く公開しています。

●学部・大学院教育への参画

本学の学部教育では、「平和研究Ⅰ／Ⅱ」、「広島・長崎講座」として開講している「平和と人権A（ヒロシマと国際平和）」、「広島からの平和学：実践の方法」、「平和インターーンシップ」、夏期集中講座「HIROSHIMA and PEACE」、「HIROSHIMA and PEACE Fall Seminar」、そして「歴史学」、「法学（日本国憲法）」の各講義を研究員が担当しています。また、平和・核兵器廃絶のための優れた研究・研究者を育成するために、大学院博士課程前期・後期の教育にも参画し、研究成果を教育に還元しています。



担当科目紹介

広島からの平和学:実践の方法

広島における平和の取り組みは、被爆体験を出発点としつつ、世界の多様な課題にも目を向けてきました。本講義は、広島の平和の取り組みに関する一定の基礎知識や関心を持つ2年生以上を対象とし、広島の経験を生かして平和活動を実践するための具体的な方法論を学ぶことを目的としています。広島平和文化センター主催の市民向け平和講座「ヒロシマ・ピースフォーラム」と連携し、被爆体験の継承や平和の実践活動を行っている学外の専門家から学びます。最終レポートでは、自ら参加可能な実践活動案に関する提言をまとめます。

平和インターーンシップ

広島市周辺に存在する郷土資料館、現代美術館、広島城をはじめ、平和や戦争、原爆被爆などについて学べる施設、史跡等に足を運び、実際に見学しながら専門家から講義を受けることで、平和に関する問題をより多角的に学びます。本インターーンシップは広島平和文化センター主催の市民講座「ヒロシマ・ピースフォーラム」と連携して前期に実施している集中講義「広島からの平和学:実践の方法」の後期日程でもあります。

平和研究Ⅰ／Ⅱ

平和研究所教員による国際学部向けのオムニバス形式の講義です。[I]では、現代の世界において平和を創造するために何が求められているのかを学問的に追究するために、平和研究に関する基本的な概念や枠組み、方法論を習得するとともに、当分野における問題点、課題などを学びます。広島・長崎をはじめとして戦争体験に根差している地域の視点を主眼に据えつつ、国家から個人に至るさまざまなレベルから平和を創造するためのアプローチを考察していきます。[II]では、平和および紛争研究の具体的な事例について、広島平和研究所各教員の研究成果を参考にしながら学び、現代の国際社会が直面する課題について考えます。



所長(教授)
吉川 元 KIKKAWA, Gen
国際関係論、国際安全保障論、予防外交論



副所長(教授)
水本 和実 MIZUMOTO, Kazumi
国際政治・国際関係、核軍縮、安全保障



教授
ガネサン, ナラヤナン GANESAN, Narayanan
東南アジア政治・国際関係



准教授
河上 晓弘 KAWAKAMI, Akihiro
憲法学、地方自治論、平和学



准教授
金 美景 KIM, Mikyoung
社会学、北東アジア問題



教授
ジェイコブズ, ロバート JACOBS, Robert A.
核兵器の歴史・文化



准教授
孫 賢鎮 SON, Hyun Jin
朝鮮半島の国際関係論、国際法、北朝鮮問題



講師
竹本 真希子 TAKEMOTO, Makiko
ドイツ近現代史、平和思想・平和運動史



教授
永井 均 NAGAI, Hitoshi
日本近現代史、日本・フィリピン関係史



准教授
福井 康人 FUKUI, Yasuhito
国際法(軍縮国際法、国際人道法等)、国際関係論(国際安全保障)



教授
湯浅 剛 YUASA, Takeshi
ポスト・ソ連空間の地域機構、安全保障

Facilities 附属施設

附属図書館



附属図書館長 前田 香織
(情報科学研究科教授)

図書32万冊、雑誌約400誌、視聴覚資料1,300タイトルをコンピュータで集中管理。必要な資料をスピーディーに手に入れることができます。館内には無線LAN環境が整備されており、Web情報や所蔵資料を活用しながら学習することもできます。また、新しく開設されたラーニング・コモンズでは、ディスカッションもでき、多様な学習や交流に役立つ場となっています。地域にも開放された、多彩な空間を持つ図書館です。



語学センター



語学センター長 渡辺 智恵
(国際学部教授)

各教室にCALL(コンピュータ支援による言語学習)システムを備え、英語や第二外国語の授業が行われることも、eラーニングを利用した自學型英語授業「CALL英語集中」や「eラーニング英語」の教室としても利用されています。自習室では、約4,300点の視聴覚教材や各種語学雑誌、NHK語学講座のテキストやCDが利用可能です。新たに開設されたランゲージラウンジは、ホワイトボードやソファを備え、リラックスした雰囲気で外国语での会話や交流を楽しむ場として利用されます。

情報処理センター



情報処理センター長 石田 賢治
(情報科学研究科教授)

高性能なネットワーク通信機器を備え、さまざまなネットワークサービスを提供しています。実習室にはパソコンを約160台設置し、1年生の必修科目である「情報基礎」の教室や自習スペースとして活用されています。教育環境は仮想化されており、自宅のパソコンや学内の貸出パソコンなど実習室以外でも実習室内と同じ環境が利用できます。実習室以外では、学内のあちこちでメールやWeb閲覧ができる無線LAN、休講・補講情報が確認できるデジタルサイネージ、他大学の講義が受講可能となる遠隔教育設備も整備しています。

国際交流推進センター



国際交流推進センター長 松本 良徳
(特任教授)

学生の海外留学派遣および留学生受入に関わる企画・広報・実施・相談などのサービスの提供に加え、国際化の面から大学の教育や研究の活性化を広範にサポートする活動に取り組んでいます。また、グローバル人材育成に向けて、熱意のある学生を親身に応援する体制を充実させ、将来を切り拓いていくこうとする学生を後押ししていきます。

芸術資料館



芸術資料館長 藪谷 実
(芸術学部教授)

教育・研究のための参考資料として、平山郁夫、野田弘志、淀井敏夫、イサム・ノグチほか、国内外の作家の作品を収蔵しています。また、研究成果としての作品群「光の肖像」シリーズ、デザイナーズチェア67点など、幅広い分野の収集を行っています。企画展や研究発表展の開催、国内外の美術館への作品貸出により、コレクションを一般に公開しています。学生は授業や展覧会でこれらの作品を鑑賞することにより自らの制作に生かし、創作の水準を上げよう努力しています。

キャリアセンター



キャリアセンター長 井上 智生
(情報科学研究科教授)

学生自らがキャリア(進路)について考え行動できるように、求人情報などの就職関連情報を随時提供することに加え、就職支援セミナーの実施や企業の採用担当者を多数招く「大学説明会」の開催など、さまざまな支援を行っています。また、経験豊富なキャリアアドバイザーが常駐しており、随時個別相談に応じ、模擬面接やエントリーシートの添削を行うなど、一人ひとりに合わせてきめ細かく丁寧に支援しています。



社会連携センター

社会連携センター長 竹澤 寿幸
(情報科学研究科教授)

広島市立大学では、教育や研究だけでなく社会貢献にも積極的に取り組んでいます。その対象は、地域住民、地元企業、広島市をはじめとする行政機関などさまざまです。社会貢献活動の中心的役割を果たす「社会連携センター」は、大学と社会、人と人とのつながり、国際、情報科学、芸術、平和のそれぞれの分野で活躍する教員や学生の成果を社会に還元するための取り組みを行っています。主な取り組みとしては、産学連携・地域連携の推進、知的財産の管理と活用、学生の社会貢献活動の支援、公開講座などがあります。



大崎上島におけるデザインプロジェクト



基町プロジェクト活動拠点施設「M98」



県立広島大学・広島市立大学連携公開講座

社会連携センターが支援する产学連携・地域連携の取り組み事例

●研究成果の産業界への還元を通じた社会貢献

研究成果の社会還元を推進するため、企業等と連携した共同研究や技術相談を実施しています。

- 産学連携研究発表会
- 共同研究・受託研究の促進
- 企業等からの技術相談

●行政や市民団体との協働による社会貢献

地域住民や広島市と協力しながら地域の活性化を目指します。

- 行政課題解決への協力
- NPO、市民等との協働事業
- 生涯学習支援
- 大学と行政の協働による創造的な文化芸術活動や地域交流等
- 基町プロジェクト活動拠点施設「M98」での地域再生事業

●知的財産の管理と活用

知的財産の権利化、管理、技術移転を行います。

●プロジェクト研究

産業界への技術移転などにつながる研究や行政課題に対応した研究を通じ、研究成果の産業界・地域社会への還元を推進しています。

●公開講座の開催

市民を対象としたさまざまな公開講座を開催します。

- 一般市民向けの講座、中高生向けのサマースクール、社会人向けの技能講座
- 県立広島大学・広島市立大学連携公開講座

2015年度 公開講座

学部	区分	テーマ
国際学部	一般向け講座	Visitorsから見た広島
	市大英語eラーニング講座	リーディング・リスニング・文法プログラム スピーキングプログラム ライティングプログラム 小学校英語教育指導者養成プログラム 通訳ガイド養成プログラム
情報科学部	高校生対象講座	高校生による情報科学自由研究
	社会人対象講座	実践情報科学セミナー ●非接触3次元形状計測の基礎と要点 ●テキストマイニング:テキストからの情報発見 講演会 ●病気の診断に用いるアミノ酸計測装置の開発 ●どこでも見れる全周視覚
芸術学部	一般向け講座	日本画、油絵、版画、彫刻、金属造形、映像メディア造形
	中・高校生向けサマースクール	日本画、油絵、彫刻、デザイン工芸
	社会人向け工芸・版画技能講座	金工、染織、版画

●県立広島大学・広島市立大学連携公開講座

「社会人のための英語再チャレンジ」

- イギリス発、ファンタジー文学を英語で楽しむ
- Batter Up! Learning English through Baseball
- Do people from different cultures think differently?
- 一般語彙から専門語彙まで語源を使って単語学習

「ひろしま学を考える」

- 広島築城を再考する
- 嚴島の景観に魅せられた人々
- 伝統的工芸品広島銅鏡とは
- アスリートに刻まれた「ひろしま」の記憶

●2015年度市大生チャレンジ事業

学生が自ら選定したテーマなどに基づき実施する社会貢献活動に対し、活動費の一部を助成しています。

テーマ	内容
市大生によるパソコンなんでも相談室2015	大学で学ぶ情報科学の知識を、市民や社会に還元するとともに、自身のコミュニケーション能力向上させる。
HAPPYします。OKI land プロジェクト	大崎上島を舞台に、地域に根差したデザインの提案・実現に取り組むプロジェクト
ヒロシマピースキャンプ2015	平和記念式典に参加する国内外の来訪者のために臨時キャンプサイトを運営
3学部生コラボレーションによる禁煙バフォーマンス -未成年の未喫煙者のために-	喫煙習慣をもつて至らない未成年者(高校生～未成年大学生)を対象に、同世代の大学生自身がたばこの有害性を学び、それを同世代にアピールする手法でプレゼンテーションをする。

Campus Life

キャンパスライフ

Student Discussion

広島市立大学の現役大学生が語る

学生|座|談|会

大学の 魅力とは

右 国際学部

国際学科4年

高田 陽一朗さん

(広島県立広島観音高等学校出身)

中 芸術学部

デザイン工芸学科3年

中村 美緒さん

(広島市立基町高等学校出身)

左 情報科学部

知能工学科3年

中野 美登里さん

(広島県立安古市高等学校出身)



大学生活はとにかく「自由」!

だからこそ、気持ちと時間をしっかりマネジメントして。

大学生活には、知的好奇心を存分に満たしてくれる授業や、

「好き!」に全力で打ち込める課外活動など、夢中になれる時間がいっぱい。

個性あふれる3学部の仲間が集まれば、楽しい化学反応も起こります。

大学生活ってどんなもの? 高校とは何が違うの?

3名の学生に、学生生活を送ってきた「実感」を聞かせてもらいました。



—— 3年間通ってみて感じる大学生活的印象

高田 国際学部は、たくさんの授業があつていろいろな角度から学べるし、「HIROSHIMA and PEACE」、ドミニカのカーブアカデミーでの企業インターンシップ、提携校への交換留学など、独自のプログラムも多いから、そういう機会を見つけて飛び込めば、いろいろな学びが得られます。それだけに経験値も人それぞれで、やりたいことを見つけて積極的に挑戦しているような、すごいなって尊敬できる人もいるし、何もしなければ、なんとなく時間が過ぎていくだけ…。

中野 自分がどう積極的に動くかが大事ですよね。

中村 大学は入った途端に、自由。空き時間が多くて最初は何をすればいいのか分からず、授業の取り方にも戸惑ったけど、自由な時間が多いということは、やりたいことができる時間が多いくてこと。だから、やりたいことや勉強したいことに注ぎ込んで集中できる時間が増えたかな。芸術学部は2年生から自分で専攻を選んで、勉強というより自分の好きなものを作って、先生からアドバイスをもらうという感じ。だから私は楽しんでいます。

中野 情報科学部はテストや実験が多くて、他学部に比べて空き時間は少ないかもしれません。1年生の時は基礎をひたすら勉強するのですが、だんだん専門的になってくると、自分がやりたい研究ができるから、大変な中にも達成感が大きくなり、楽しめるようになります。

高田 大学生になって時間の使い方を意識するようになりましたか? 1年生の時は空き時間の使い方が分からなかったけど、バイトにしても、学生時代にしかできない意味を見出すとか。それまでは漠然とやっていたことにも自分なりに意味を見出して考えて行動するようになりました。図書館にいる時間も増えたかな。学年が上がるにつれて専門性が深まって、やる気も高まる感じ。

中村 そうそう。1年生の時はよく分からぬまま授業に参加して、とりあえず単位をとらなきゃやって。でも、だんだんやりたいことが見えてきて、集中できるようになりますよね。

高田 やりたいことが見つかるまでは、ちょっとだけ耐えて頑張る期間なのかも。

—— サークル、クラブ、課外活動、学外活動

中野 2年生の終わりまで大学祭実行委員会に入っていました。後期に入るとめちゃくちゃ忙しくて。OB・OGの方に力を借りつつ、なんとかやり遂げました。



Student Discussion

広島市立大学の現役大学生が語る

学生座談会

大学の魅力とは

高田 でもそれだけ充実していたんじゃない?

中野 大変だった分、フィナーレの達成感と感動はすごかったです。模擬店やフリーマーケットなど、学内外の出店者の方と連携できることは良い経験になりました。あと営業も。運営費を確保するため近隣の企業さんに協賛をお願いするんです。自分で電話して、承諾を得て、お金をいただくという一連のこと

を全て、1年生から任されます。

高田 学外とのつながりって、いろいろな活動を通じて意外とありますよね。僕は、「AIESEC」という海外インターンシップ事業を運営する学生団体で、2年生の途中まで活動していて、他大学とのかかわりがありました。企業の人に協力をお願いすることもあって、そういう形で得られた外部とのコネクションはその場限りではなく、大切にすればのちのち自分を助けてくれることもあります。就活の時、お世話になった企業の方にアドバイスしてもらったという先輩もいました。

中野 やりたくて参加したことなら、大変でも、最後に充実感や達成感がありますよね。

中村 サークルで大学の外に出るというイメージがなかったからびっくりしました。スポーツなど、共通のものを好きな人たちが集まって学内で活動しているのかと。

高田 僕はバスケット部にも入っているんですけど、入らなかつたらかわらなかつたような他学部の友人めどりましたし、サークルには入った方がいいんじゃないかなと思います。

中野 他学部とのつながりは普段の生活にはあまりないので、私も実行委員会に入ったから話すことができたし、良かったと思います。他学部が普段何をしているのか分からぬし、自分のイメージや先入観しかないから、接点ができると新しい発見があって刺激になります。

高田 違う見方ができるようになるよね。アルバイトはしていますか?

中野 情報科学部は、定期的に時間が取りづらいので、自分が入りたい時に入れてもらえるようなアルバイトを選んでいます。

高田 これも僕のイメージですが、情報科学部って、テストや勉強が大変そうだけど、加えて実行委員会で活動していた時は、勉強との両立はやはり大変でしたか?

中野 確かに大変ではありました。忙しい時は空き時間の利用方法が大切ですね。友達とおしゃべりしたい…でもレポートや課題も…って悩ましいけど、友達と一緒に少しずつ進めておくんです。家に帰つたら、疲れてはいるけど、ここでも少しだけ進めておく。ためこんでしまうと「やりたくない!」という負の連鎖に陥ってしまうので…。少しずつでも進めていくことが大事。

高田 いかに有效地に時間を使って勉強するか。両立するにはその意識が大切なのかな。

中村 芸術学部は、簡単に言うと、つくりさえすればいいのでバイトも自由。たとえば、水曜はちょっ



とだけ実習してバイト、木曜は一日中実習とか、みんな自由に計画を立てています。でも課題の提出前になると、一晩中家に帰らず作っている人もいるし、「のんびりコツコツ」「締め切りギリギリになって一気にすませちゃう」とかタイプがあるから、自分のペースで進めておけば大丈夫。

高田 国際学部は、自分が力を入れたいところをしっかり決めて、自分なりに緩急のバランスをとれば、バイトやいろいろな活動との両立も十分可能かな。

中村 何を重視するかですよね。自分が何をしたいか。

高田 学生時代にしっかりお金を貯めておきたいといってアルバイトを重視している人もいれば、自分のやりたいことをしっかり勉強したいからアルバイトはしないという人もいる。自分の目的とマネジメント次第ですよね。大学生はホント自由だから、自分次第でどうにでもできる気がする。他大学の学生さんたちともかかわってみて思うんですね、「どの大学に入るか」はあまり問題ではなくて、大学のネームブランドよりも「入ってから何をするか」の方が大事なんじゃないかって。自由な時間が多いうからこそ、時間の使い方によって、どんな大学生活を送れるかも全然変わってくる。

中村 自分がやらないと何もできないし、やる気があれば何でもできる!

中野 情報科学部は、授業のある期間中は自由が少なくて、他大学の理系学部に進んだ友人も同じことを言います。「自由はどこへ?」みたいな(笑)。夏休みなど長期休暇は余裕がありますね。



——「やりたい!」を追求している人

中村 漆の櫛を作りたいといって、確か長野県の方まで漆職人さんを訪ねた同級生がいます。

中野 情報科学部には、独学で、iPhone用のゲームを開発した人がいます。ゲームが好きすぎて「作りたい!」って突き詰めている、ついに作ってしまったみたいです。



高田 国際学部では留学する人は多いのですが、現在、アフリカのルワンダに留学している友人っています。以前からアフリカ大陸にすごく興味を持っていて、文科省の「トピタ! 留学JAPAN」に応募し、念願かなって。あとは、最近、日中、日韓などの学生会議があつて、全国の大学生が集まっているテーマでディスカッションするんですけど、首都圏の大学生が多い中で市大から飛び込んでいった先輩がいます。その先輩は、6年間大学に在学していて、フランスに留学を行ったり、学生会議に参加したり、やりたいことには全部やりたい! っていうパワフルな人。ほかにも、北欧留学で出会った人と国際遠距離恋愛の末に結婚して、今は向こうで働いている先輩もいます。

中野 国際学部は、留学や海外支援のイメージだけ、学生会議などもあるんですね。

高田 先生も先輩も、いろんな人がいるから面白いですね。いろんな価値観があるから。

——キャンパスライフを楽しむコツ

高田 空いた時間をいかに有効に使うか。いかにやりたいことを見つけて、それに向かって頑張つていけるか。遊ぶのは誰だって楽しいけど、それ以外をいかに充実させ楽しめるかが大切。

中村 やりたいことを見つけて、そこに時間を使う。大学生のうちにしかできないことを!

中野 努力次第で良くも悪くもなるのが大学生。あと、人とのつながりを大切に。同級生、先輩、後輩、先生、他学部の人、他大学の人など、つながり次第で楽しみ方も変わってくるのかも。





4月 Apr.

- 春季休業
- 入学式
- オリエンテーション
- 市大キャンバスウォーキング
- 前期授業開始
- 交換留学生とのパーティー

5月 May.

- 情報科学部
新入生オリエンテーションセミナー

6月 Jun.

- プレ・オープンキャンパス(19日)
- ごみゼロ・クリーンウォーク

7月 Jul.

- 七夕ライブ
- 前期定期試験(～8月上旬)

8月 Aug.

- HIROSHIMA and PEACE(2日～10日)
- オープンキャンパス(7日)
- インターンシップ(～9月下旬)
- 夏季休業(～9月下旬)

9月 Sep.

- 芸術学部卒業・修了作品展
- 西風新都駅伝大会
- 卒業式、卒業・修了祝賀会

10月 Oct.

- 後期授業開始
- ライブキャンパス(10日)
- 通学路等クリーンキャンペーン

11月 Nov.

- ホームカミングデー(5日)
- 大学祭(5日、6日)

12月 Dec.

- 防火・防災訓練
- 冬季休業(～1月上旬)

1月 Jan.

- 後期定期試験

2月 Feb.

- 後期定期試験
- 学年末休業(～3月下旬)

3月 Mar.

- 芸術学部卒業・修了作品展
- 西風新都駅伝大会
- 卒業式、卒業・修了祝賀会

※2016年度のカレンダーです



学生の皆さんのが安心して大学生活を送れるように、
大学としてさまざまなサポートを行っています。

1 経済面をサポート

●特待生制度

2年次以上の学部生を対象として、成績優秀で、かつ他の学生の模範となる学生に対して1人当たり年額200,000円の奨学金を給付する特待生制度があります。平成26年度から制度を開始し、2年生から4年生の各学年10名の学生を特待生として選考し、奨学金を給付します。

● 奨学金制度

本学では「日本学生支援機構奨学金」をはじめ、自治体や民間団体などさまざまな奨学金を扱っています。日本学生支援機構奨学金は、大学に在学する優れた学生で経済的理由により修学に困難がある者に対して学費を貸与・給付するもので、無利子の「第一種」と、有利子の「第二種」があります。どちらも、出願者の中から、学力、人物、家計、健康を総合的に判断して、本学が日本学生支援機構に推薦します。また、自治体や民間団体などの奨学金で、大学を通して募集するものは、隨時掲示して周知しています。

● 授業料奨学融資利子補給制度

経済的な不安を抱える学生を支援するため、金融機関と提携し、授業料の融資を受けた学生に対し、在学中の利子を補助する制度を設けています。

● 入学料・授業料等の減免・徴収猶予

入学前1年以内に災害を受けた場合などの一定の要件で、入学料等の減免を受けることができます。(入学手続きまでご相談ください。)また、「経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀であると認められる場合」には、授業料の減免または徴収猶予を受けることができます。

2 生活面(住居)をサポート

キャンパス内に学生寮があり、自宅からの通学が困難な学生のために提供しています。学生寮は4棟からなり男女各48室の個室を整備しています。入居期間を2年間として、毎年、男女各20名程度の新入生が入居しています。使用料は月額5,900円(共益費年額1,000円、光熱水費の実費は別途徴収)で、管理人も常駐していることから、経済的で安心できる居住スペースとして人気があります。また、1階はバリアフリーとなっており、車椅子で生活されている方も安心して寮生活を過ごせます。入寮している学生同士の交流も盛んで、各種イベントが企画されたり、外国人留学生も入寮していることから国際交流の場にもなっています。学生寮以外の住居についても、アパート、ワンルームマンション、下宿などの賃貸情報を、学生の皆さんのがいつでも閲覧できるようにしています。

3 課外活動をサポート

クラブ・サークル活動費や備品整備費、大学祭などの学生主催イベント経費をはじめ、学生が企画・参加して留学生や外国人と交流する国際交流事業、自主研究活動や展覧会などを行うための経費を大学後援会から助成しています。また、ボランティア情報も随時提供しています。毎年6月には、市内一円で行われるごみゼロ・クリーンウォークに参加したり、秋には通学路等クリーンキャンペーンに参加したりするなど、幅広く活動機会を提供しています。その他、テントやクーラーボックスなどのキャンプ用品、ビデオカメラなどの視聴覚機器、そしてソフトボール用具やテニス用具などの運動用具等の無料貸出を行っています。

4 心身の健康と安全・安心をサポート

心と体の両面から快適な学生生活を過ごすことができるよう、さまざまな配慮をしています。学生の「癒しの場」にもなっている「保健室」ではケガや病気の応急処置と健康相談を、落ち込んだ時の「支え」になる「相談室」では心配事や悩みを聞いたり「自分探し」を手伝ったりする学生相談を行っています。また、セクシュアル・ハラスメントを含む、学内のハラスメントの発生防止を図るために、教職員10名をハラスメント相談員に任命し、苦情の申し出や相談に応じています。さらに、トレーニング方法などを体育教員がアドバイスする「スポーツ相談」も実施しています。他にも、通学中、授業中、またはクラブ活動中にケガをした場合などのために、傷害保険・賠償責任保険に加入したり、個人ロッカーの無料貸出を実施したりするなどのサポートをしています。

Clubs & Circles

クラブ & サークル

クラブ・サークルは、自分の可能性を広げるとともに、
新たな「つながり」をつくるきっかけにもなります。
本学では、定番のクラブ・サークルに加えて、平和活動を行うクラブなど、
ユニークなものも多数あります。
学部学生の半数以上が大学公認のクラブ・サークルに所属しており、
活発な活動を行っています。

トライアスロン部紹介 | Message

はじめまして、こんにちは! 広島市立大学トライアスロン部です。私たちは、泳ぎ、漕ぎ、走るというトライアスロンの競技を行っている部活です。「そんなに厳しいのなんて、無理!!」と思われる方が大勢だと思いますが、実はトライアスロンのレースを完走するのはそれほど難しいことじゃないんです! 選手は皆、経験のない初心者から始めています。だから、初心者でも安心して始められるんです。もちろん、経験者の方も。そして、選手をサポートしてくれる心強いマネージャーも大歓迎です。

活動の基本は週3回の部活。話題のロードバイクを使った練習とランニング・スイミングを中心に、楽しく部活を行っています。大きなイベントとしては、5月に行く遠足、6月に行われるインカレ予選、夏休みに行う合宿、8月末の大学トライアスロンの頂点を決めるインカレ、10月後半に行われる大学祭などなど、盛り沢山。また、トライアスロンは全国各所で行われていて、様々な場所に遠征に行くことができるのも魅力の一つです。さらに、他大学や、社会人のチームの方、現地の方と交流でき“つながり”が広がります。部活に打ち込み、一つのことに情熱をかけ、仲間たちと競い合い、強い“絆”をつくる。熱く、充実感に満ちた大学生活を送ってみませんか?



Sports(体育系)

[クラブ]

- ① サッカー部
- ② ラグビー部
- ③ 硬式テニス部
- ④ 軟式野球部
- ⑤ トライアスロン部
- ⑥ 剣道部
- ⑦ 男子バスケットボール部
- ⑧ 弓道部
- ⑨ アーチェリー部
- ⑩ バドミントン部
- ⑪ 男子バレーボール部
- ⑫ 陸上競技部
- ⑬ ワンダーフォーゲル部
- ⑭ 水泳部
- ⑮ 女子バレーボール部
- ⑯ 合氣道部
- ⑰ ダンス部
- ⑱ 女子バスケットボール部
- ⑲ 卓球部
- ⑳ T.A.S(ソフトテニス)
- ㉑ 少林寺拳法部
- ㉒ Olive(フットサル等)
- ㉓ 空手道

[サークル]

- ㉔ FC海人(サッカー)

Clubs & Circles

クラブ & サークル



茶道部表千家紹介 | Message

茶道部表千家は、市大開学当初から続く歴史のある部活です。「表千家」とは茶道流派の一つで、千利休を祖とする流派です。市大には他の流派「裏千家」「上田宗箇流」がありますが、それをお点前の様式が違うものとなっています。

普段は学生会館の和室で、週一回の稽古を行っています。茶道のプロの先生に来ていただき、茶会に向けてお点前・半束・点出し・頂き方の指導をしていただいている。主な行事として、年に三回ほど茶会を開きます。大学の和室で催すものから、デパートの大きな茶室を借りて行うものまであります。また、茶会で使うお茶碗を作りに、年一回陶芸教室にも行っています。

表千家にいることで得られるものは、日本文化であるお茶にまつわる知識、礼儀作法、着付けが自分でできるようになることなどさまざまです。茶会に来て下さるお客様をおもてなししたり、礼状を書いたりすることによって、正しい言葉遣いや常識を自然と身に付けられます。

表千家は部員同士仲良く、和気あいあいと活動しています。茶会が終わったら打ち上げをしたり、長期休暇で合宿をしたりと、メリハリをつけて楽しむ時はとことん楽しむ部活です。ぜひ一度、お茶を飲みに和室へいらして下さい。



Culture(文化系)

[クラブ]

- ①茶道部表千家
- ②裏千家茶道部
- ③自主制作映画研究会
- ④Music Art Club(軽音楽)
- ⑤電子音楽部
- ⑥陶芸部
- ⑦マンドリン・ギター部
- ⑧吹奏楽部
- ⑨演劇部
- ⑩Table Game 研究会
- ⑪上田宗箇流茶道部
- ⑫CREATIVE(創作活動)
- ⑬マスコミ研究会
- ⑭ねっこ広島(環境ボランティア)
- ⑮Pret-a-Porter(ファッション)
- ⑯S2(平和活動)
- ⑰にっこり(韓国文化)
- ⑱レゴマス
- ⑲アカペラ部regalo
- ⑳HIF(国際交流)
- ㉑天文研究会
- ㉒Sign(手話愛好会)
- ㉓落語研究会 落花生

Campus Map

キャンパスマップ

①学生会館

学生食堂や喫茶、書店や画材店、そして売店などがあります。学生食堂と喫茶は、2015年度にリニューアルされました。



喫茶

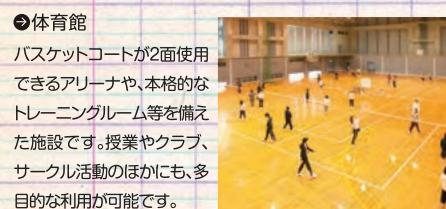
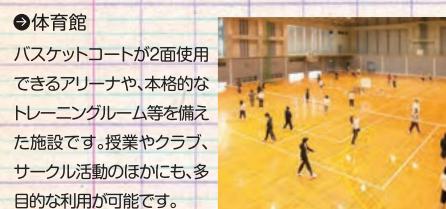
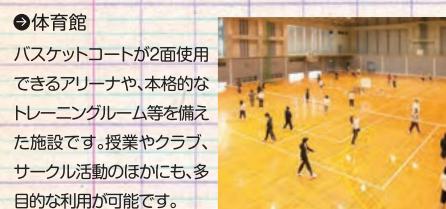
②講堂

壁面レリーフや舞台の緞帳などに芸術学部教員たちの作品を生かした、本学ならではの施設です。大小のホールと、大型スクリーンや国際会議も可能な同時通訳設備と、機能も充実しています。



③グラウンド、トラック・フィールド

全天候型のテニスコート4面と、野球、サッカーなどが可能なグラウンド、トラックフィールドがあります。サークル、クラブ活動以外でも、利用することができます。

④保健管理室
(保健室・相談室)

心身の健康上の悩みや相談に応じ、学生の「疾病の予防」と「健康相談」、「カウンセリング」を中心に健康の維持増進を図ります。



⑤学生寮

他県など遠方からの入学生に対して安価な住居を提供しています。1・2年生の男女、100名弱が入居して共同生活を営んでいます。キャンパス内にある学生寮の1階はバリアフリーになっており、車イスの方でも安心して利用できます。外国人留学生も入居しており、国際交流の場となっています。



① 本部棟・国際交流推進センター

キャリアセンター・保健管理室

② 講堂

③ 図書館・語学センター棟

④ 学生会館

⑤ エネルギーセンター

⑥ 芸術資料館

⑦ 芸術学部棟

⑧ 工房棟

⑨ 講義棟

⑩ 国際学部棟

⑪ 情報処理センター

⑫ 情報科学部棟

⑬ 情報科学部棟別館・広島平和研究所・社会連携センター

⑭ 体育館

⑮ グラウンド

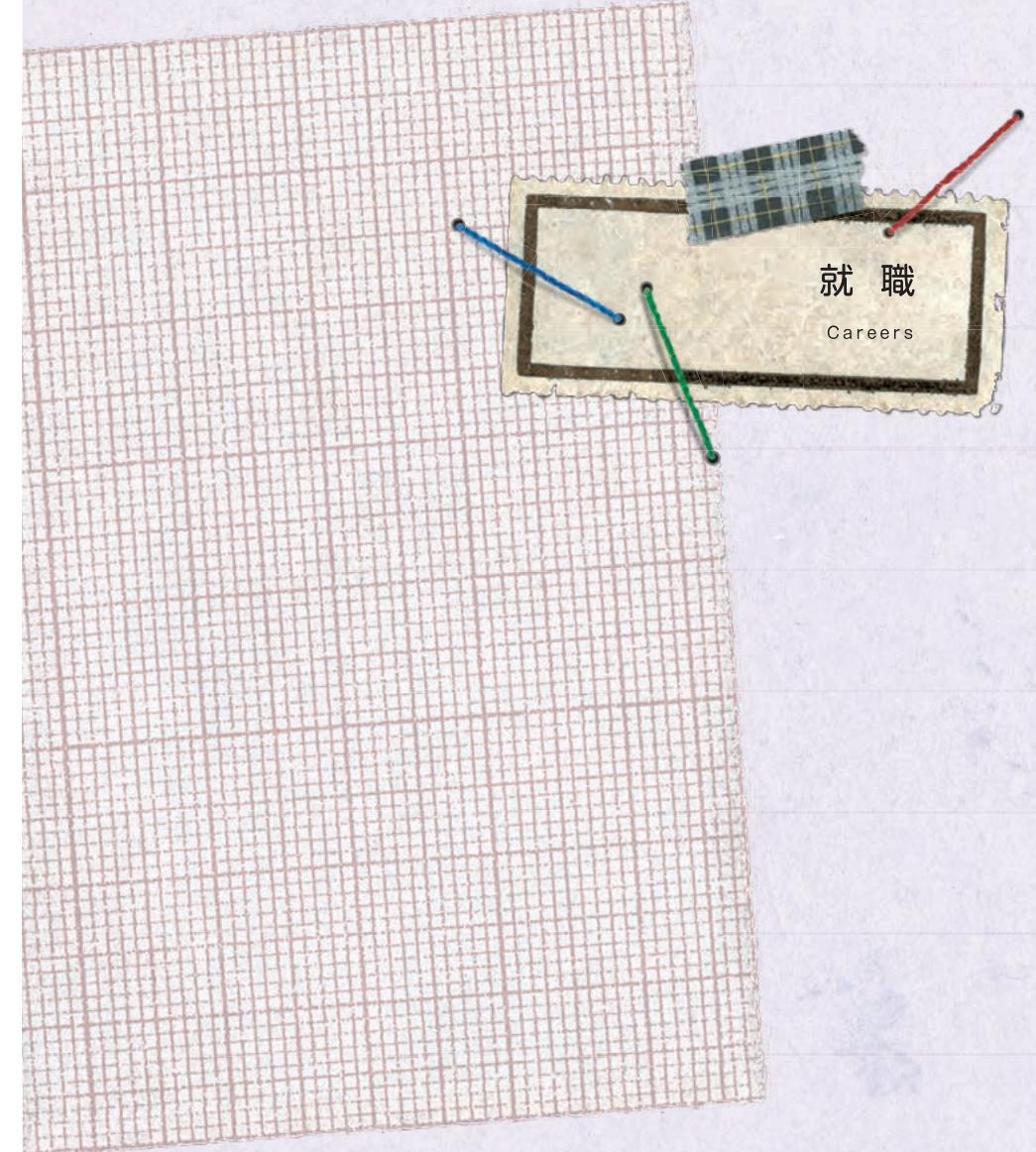
⑯ トラック・フィールド

広島市立大学 サテライトキャンパス

所在地：広島市中区大手町四丁目1番1号 大手町平和ビル9階

本学の市内中心部における活動拠点機能強化と市民の生涯学習のさらなる推進のため、市内中心部にサテライトキャンパスを開設しています。セミナールームやPCルーム、小教室などを備えており、各種講演会、セミナー、公開講座を実施するほか、学生と地域住民との交流の場としても活用しています。





キャリア・就職サポート

学生自らがキャリア（「働くこと」を踏まえた生き方）について
考え方行動できるように全力でサポートします。

進路支援の2つのポイント

大学をあけての支援

学生のキャリア形成支援・就職支援は、文字どおりキャリアセンターが中心となって全学的に取り組んでいます。大学説明会・情報交換会・合同企業説明会の開催、大阪・東京・岡山方面の企業研究ツアーの実施、各種就職支援セミナーの開催、保護者対象の教育・進路説明会の実施など、さまざまな角度からの就職支援を、後援会と連携・協力しながら取り組んでいます。

きめ細かな個別指導

教員と学生の距離が近い本学は、就職支援でもその環境が生かされた細やかなサポートを実現しています。キャリアセンターでは、就職活動だけでなく個別の進路相談に対応しています。志望や適性に沿って一人ひとりに合った指導を行い、キャリア形成を支援しています。

◎インターンシップ

企業などで実習体験する「インターンシップ」をキャリア形成の柱の一つに位置付けています。単に体験するだけでなく、実習と事前セミナーや報告会などを組み合わせて実になるものを目指し、インターンシップ研修の充実や協力企業の開拓にも取り組んでいます。広島市教育委員会と連携して、教員志望者を対象とした広島市立学校での実習体験活動を行っています。



◆広島東洋カープ企業インターンシップ(国際学部生対象)

広島東洋カープには、カリブ海の国、ドミニカ共和国に地元の若手野球選手たちを育成する施設（カープアカデミー）があります。ここで現地のスタッフと一緒に仕事をしながら、さまざまな体験することができます。また、インターンシップを通じて、自ら期限を決め、スケジュール管理を行うことや予定外の事態にも臨機応変に対応できるように準備しておくことの重要性など、社会人として大切な事柄を学ぶことができます。

◆在日米国総領事館インターンシップ

在日米国総領事館（大阪）の学生インターンシッププログラム（電話での顧客対応、データ入力、企業リサーチ、展示会等のイベント補助など）の参加を通じ、学生が異文化に触れる機会や国際的に活躍する人材と交流する機会を提供しています。年2回（夏休み・春休み各1名、約1ヶ月間）学内で公募・選考し、派遣しています。

◆広島市有給長期インターンシップ

広島市が2014年度から実施している有給のインターンシップです。企業と学生が雇用契約を締結し、夏休み期間中の1ヶ月半程度、受入企業の実際の職場で働きながら与えられた課題に取り組むインターンシップです。参加学生には受入企業から賃金が支払われるため、企業の一員として責任を持って働くことが求められます。また実際の業務に従事することで、働くことについての具体的なイメージを持つことができます。

◎大学説明会・情報交換会

大学説明会では、約250社の企業の採用担当者を招待して、学生および教職員が一体となって本学の概要や各学部、研究科の特色などを紹介しています。情報交換会では、学内外で活躍している学生によるポスタープレゼンテーションや芸術学部卒業生・修了生作品のパネル展示を通じて、学生の意欲や資質をPRしています。学生によるプレゼンは企業の方から好評をいただいているます。



◎学内合同企業説明会

企業の採用担当者と学生の情報交換の場として年2回実施しています。2017年3月には2017年3月卒業・修了予定の学生を対象に2日間で235社の企業の参加がありました。参加企業は「市大生を探りたい」という本学のファンばかりで、毎年、この説明会の参加企業から多くの学生が内定を頂き就職しています。近年では本学卒業生が採用担当者として参加することが多くなり、人のつながりが広がっています。



◎就職支援パートナーシップ制度

本学は、「就職支援パートナーシップ制度」に参加しています。この制度は、在籍する大学がある地域とは異なる地域で就職（Uターン、Iターンなど）を希望する学生のために、各大学がサポート（地元の求人情報の閲覧、学内合同企業説明会の情報提供、就職相談、就職ラウンジの利用など）を行うものです。

（パートナー大学）

横浜市立大学、北九州市立大学、静岡県立大学、兵庫県立大学、大阪市立大学、福井県立大学、信州大学、都留文科大学、国際教養大学、名古屋市立大学

◎キャリア形成・実践科目

「キャリアデザイン」、「キャリアサポートベーシック」は、キャリアセンターが提供するキャリアデザインのための全学共通系科目です。進路や職業選択に向けて、大学で何を学び、大学生をどう過ごせばよいかを考えながら、キャリアデザインを実現するため、特に働くことと就職にかかる具体的な知識・スキルを学びます。外部講師や卒業生を招いての講義も組み込まれています。他にも適職診断や礼儀・マナー講座などさまざまなセミナーが用意されており、これらが互いに連動して実践力を身に付けられるようになっています。

◎キャリアアドバイザー

キャリアセンターには2名の経験豊富なキャリアアドバイザーが常駐しています。随時個別相談に応じ、模擬面接やエントリーシートの添削を行うなど、一人ひとりに合わせてきめ細かく丁寧に支援しています。

就職活動体験談



国際学部 国際学科 4年
徳田 智子

親身に支えてくれた
キャリアセンター

私は就職活動を行う中で、頻繁にキャリアセンターを利用していました。主にエントリーシートの添削や面接指導をしていただき、自分が納得のいく選考となるよう備えていました。また、就職活動中はささいなことで悩んだり、自分に自信が持てなくなることが多々あります。私はその度にキャリアセンターに足を運び、いろいろと話を聞いていただきました。キャリアアドバイザーの方は、どんなに小さなことでも毎回親身になって相談に乗ってくださり、また、今までたくさんの学生を指導されてきた経験からアドバイスをしてくださるので、とても心強く、精神的に大きな支えとなりました。就職活動で何か迷ったときは、まず一番身近なキャリアセンターに行ってみることをおすすめします。



情報科学部 情報工学科 4年
萩原 彼野人

合同企業説明会で
就職先企業に出会いました

就職活動にあたり、私は合同企業説明会の参加に力を入れました。大学で行われる合同企業説明会の他に、大阪・東京での合同企業説明会にも参加し、計70社程の説明を聞きまし。多くの話を聞くうちに、どのような業種が多いのかが分かり、自分が楽しいと思った内容の共通点を探し、やりたい仕事を見つけることができます。自分の興味のある会社は志望動機も見つけやすく、面接でもいろいろと話すことができます。私は東京の合同企業説明会で出会った会社に入社すること決めました。この会社は事前にチェックしていた訳ではなく、会場で呼び込みを受けて説明を聞いた会社です。自分が入りたい会社がどこで見つかるか分からないので、食わず嫌いをせず、たくさん会社の合同企業説明会に参加しましょう。



芸術学部 デザイン工芸学科 4年
平川 かな江

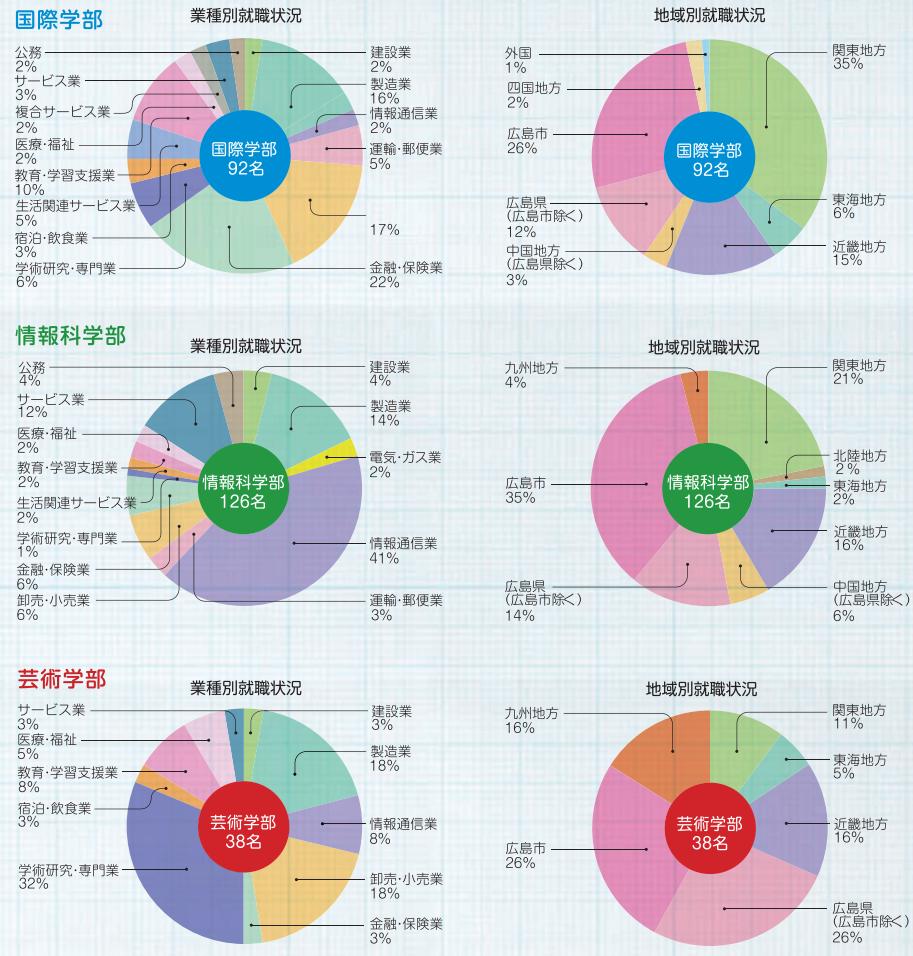
自分の目でのごとを
考えることができました

3年次、夏休みと春休みを利用して東京と大阪のデザイン会社へ現場を勉強するためインターンとして参加しました。地域の違い、会社の規模の違いを自分の目で見て、社員の皆様と行動を共にさせていただいたことで、より身近に就職というものを感じることができました。実際に自分の考えを提案させていただく機会も何度かあり、クライアントの考え方をリサーチし、デザインを提案していくリアルな現場がものすごく新鮮で刺激的なものでした。長期休暇を活用して、自分の目で興味のある分野をしっかり調査し就職活動に生かしてみてください。

就職データ

平成28年3月大学卒業者の学部別就職状況

区分	国際学部	情報科学部	芸術学部	合計
卒業者(名)	103	195	91	389
就職希望者(名) A	94	127	44	265
就職決定者(名) B	92	126	38	256
就職決定率 B/A×100(%)	97.9	99.2	86.4	96.6
(参考)進学者(名)	2	64	20	86



就職先・進路(国際学部)

国際学部卒業生は、国際機関、企業、公務員、教員、国内外の大学院など、幅広い進路で活躍しています。

企業に就職

各プログラムから提供される専門科目、そしてそれを複数のプログラムから選択して学修することにより、専門性と幅広い視野を兼ね備えた国際学部の卒業生は、国内外の幅広い企業で活躍しています。

■ 主な就職先 (五十音順)

- アイホン(株)
- サントリービバレッジサービス(株)
- 東京海上日動火災保険(株)
- ヒロテック(株)
- アサヒビール(株)
- 株サンフレッチェ広島
- TOTO(株)
- 株百十四銀行
- 株アシックス
- JFEスチール(株)
- 西川ゴム工業(株)
- 株ファーストリテイリング
- 味の素(株)
- 株JTBC中国四国
- 西日本電信電話(株)(NTT西日本)
- 株フジクラ
- イオン(株)
- 株商工組合中央金庫
- 日産自動車(株)
- 富士ゼロックス(株)
- 伊予銀行
- 重慶長安鈴木汽車有限公司
- 株日本政策投資銀行
- 富士通(株)
- 岩谷産業(株)
- 新関西国際空港(株)
- 日本通運(株)
- 株船井総合研究所
- 株ウッドワン
- 株新潮社
- 日本放送協会(NHK)
- 株プリムスホテル
- 株エイチ・アイ・エス
- 新日鐵住金(株)
- 日本郵便(株)
- マツダ(株)
- エーザイ(株)
- 住友生命保険(相)
- 日本アイ・ビー・エム(株)
- 株ミカサ
- SMBC日興証券(株)
- 積水ハウス(株)
- 日本銀行
- ミズノ(株)
- 株NTTドコモ
- セコム(株)
- (一財)日本国際協力センター
- 株みずほファイナンシャルグループ
- 株エフピコ
- 全日本空輸(ANA)
- 日本生命保険(相)
- 三井住友海上火災保険(株)
- 大塚製薬(株)
- ソニー損害保険(株)
- 株日本旅行
- 株三井住友銀行
- オタフクソース(株)
- 第一生命保険(株)
- 西日本高速道路(株)
- 株三越伊勢丹
- オリックス(株)
- ソフトバンク(株)
- 野村證券(株)
- 三菱重工業(株)
- ㈱オントワード樫山
- 損害保険ジャパン日本興亜(株)
- 大陽日酸(株)
- パナソニック(株)
- 三菱UFJ信託銀行(株)
- カルソニックカンセイ(株)
- 大和日酸(株)
- 大和証券(株)
- バンドー化學(株)
- 明治
- キユーピー(株)
- 高砂熟業工業(株)
- 広島アルミニウム工業(株)
- 明治安田生命保険(相)
- 株共同通信社
- キリンビール(株)
- 武田薬品工業(株)
- 広島エフエム放送(株)
- 株もみじ銀行
- 株クボタ
- 株中国新聞社
- 広島ガス(株)
- 株モルテン
- KDDI(株)
- 中国電力(株)
- 株広島銀行
- 株リクルートホールディングス
- コカ・コーラウエスト(株)
- 株中電工
- 広島信用金庫
- 株リコー
- ㈱サタケ
- ツネイシホールディングス(株)
- 広島電鉄(株)
- ㈱りそな銀行
- サノフィ(株)
- ㈱ディスク
- ㈱広島東洋カープ
- リヨービ(株)
- 山九(株)
- 東海旅客鉄道(JR東海)
- 広島放送(株)
- ㈱ワールド

大学院に進学

より専門的な学修や高度な研究を目指し、国際学部卒業生は大学院に進学しています。博士前期課程を修了し、企業、国際機関、教育機関などで活躍しているほか、博士後期課程に進学して大学教員として活躍している卒業生も輩出しています。

公務員・教員

広島を中心に、公務員や教員として活躍している卒業生を多数輩出しています。主な進路は、広島県内では広島市、広島市教員、広島市消防局、廿日市市、東広島市、福山市、三次市、三原市、広島県、広島県警察本部、広島県教員、また、広島県外では岡山県、倉敷市、山口県岩国市、東京都教員、香川県、警視庁、外務省、厚生労働省、国土交通省、防衛省、法務省など多岐にわたりています。

Voices (卒業生)



大学時代に学んだ
「なぜ?」を考えること

石橋 あゆみ

広島市立広島特別支援学校

(2012年3月 国際学部国際学科 卒業)

「なぜ?」「どうして?」毎日子どもたちと一緒に「?」を探すこと、それが私の仕事です。私は、特別支援学校の教師として働いています。大学受験のときは、とにかく広く世界を知りたいと思い、国際学部を選びました。国際と聞くと英語のイメージが強いかもしれません。しかし、私が学んだのは「どうしてそうなるんだろう?」と、さまざまな方向から考えて学ぶ方法でした。外国語を学ぶ中でも、言語学、心理学、社会学…と多面的に考えながら自分の抱いた疑問の答えを探し続けられます。今の職場でも、子どもに「理解させること」だけではなく「なぜ?」と思わせること」が必要です。本当の理解の前には必ず「なぜ?」がある。それが広島市立大学で学んだことです。



「誰かのために自分の力を発揮したい」
という気持ちが人を動かす

岩下 綾華

株式会社鷗州コーポレーション

(2013年3月 国際学部国際学科 卒業)

私は進学塾の講師をしています。小・中学生に算数・数学・理科の授業を行う他、進路相談や生徒・保護者のカウンセリングも行います。教員は子供の頃からの夢だったので、生徒の成績向上や進路決定により得られる達成感はひとしおです。塾に通う生徒の目標やニーズはさまざまですが、全員に満足していただける授業とはどんなものかを考えるときに、大学3年時にぜひ学んだミクロ経済学の視点が役立っています。また国際学部の学びでは、特に「地域貢献への使命感」を意識しました。今こうして目の前の生徒に全力で向き合うことができるのも、同級生の熱意や行動力に強く刺激されたからだと思います。国籍や地域、年齢、性別にかかわらず、「誰かのために自分の力を発揮したい」という気持ちこそが人を動かすと実感する日々です。

就職先・進路(情報科学部)

情報科学部卒業後は、大きく分けて2つの進路があります。会社員、公務員、教員として、社会に巣立つコースと、さらに専門知識・技術を磨くため大学院に進学するコースです。

企業に就職

今、最も注目されている情報分野の知識や技術を修得した情報科学部の学生は、卒業後、情報通信、ソフトウェア、情報機器製造、コンピュータなど、時代の最先端の企業で活躍しています。これまで、次のような企業に就職しています。

■主な就職先(五十音順)

- IMV(株)
- ソフトバンク(株)
- 株インターネットイニシアティブ
- 第一生命保険(株)
- 日立コンシューマ・マーケティング(株)
- ウォルト・ディズニー・ジャパン(株)
- 株ソリコム
- 第一生命保険(株)
- 株日立情報通信エンジニアリング
- 株ウッド・ワン
- 株日立製作所
- ダイハツ工業(株)
- 株日立ソリューションズ
- 株エディオン
- 大和証券(株)
- 株日立ソリューションズ西日本
- NECソリューションイノベータ(株)
- 株中国銀行
- 株広島銀行
- NTTコミュニケーションズ(株)
- 株中電力(株)
- 株NTTデータ中国
- 株中電工
- 広島信用金庫
- 株NTTドコモ
- 株TSSソフトウェア
- 富士重工業(株)
- 株エヌティティ
- 東海旅客鉄道(株)(JR東海)
- 富士ゼロックス(株)
- 株鷗洲コーポレーション
- 凸版印刷(株)
- 富士通(株)
- キヤノン(株)
- 西日本電信電話(株)(NTT西日本)
- 協栄産業(株)
- 西日本旅客鉄道(株)(JR西日本)
- 株熊平機製作所
- 日機製作所
- 富士通FIP(株)
- KDDI(株)
- 日本アイビーエム中国ソリューション(株)
- ボッシュ(株)
- 株コア
- 日本マツダ(株)
- コンチネンタル・オートモーティブ(株)
- 日本電気(NEC)
- マツダE&T
- 株サイバーエージェント
- 日本特殊陶業(株)
- マツダエース(株)
- 株サタケ
- 日本無線(株)
- 三菱電機エンジニアリング(株)
- 株JMS
- 日本郵政インフォメーションテクノロジー(株)
- 株ノーリツ
- 三菱電機ビルテクノサービス(株)
- 新川電機(株)
- パナソニック(株)
- 株ミライ
- スズキ(株)
- パナソニックアドバンストテクノロジー(株)
- 株もみじ銀行
- 住友林業(株)
- リクルートホールディングス
- 綜合警備保障(株)
- リコージャパン(株)
- リコージャパン(株)

大学院に進学

情報科学部の卒業生のうち、例年約4割の学生が本学の大学院に進学しています。また、他大学の大学院に進学する学生もあります。これまで、筑波大学、東京工業大学、電気通信大学、長岡科学技術大学、静岡大学、名古屋大学、北陸先端科学技術大学院大学、奈良先端科学技術大学院大学、京都大学、神戸大学、広島大学、九州大学などの大学院に進学しています。

公務員・教員

一般企業のほか、公務員や教員として活躍している卒業生もいます。これまでの主な進路は、広島市、広島市教員、広島県、広島県警察本部、大阪府警察本部、警察庁中国管区警察局、国土交通省中国地方整備局、財務省造幣局、防衛省海上自衛隊、防衛省航空自衛隊、東京消防庁、神奈川県教員などです。

Voices (卒業生)



在学中に学んだ
「一つのことを追及することの大切さ」

沖田 大

株式会社鶴州コーポレーション

(2015年3月 情報科学部知能工学科 卒業)

私は小中学生を対象とした学習塾で理系科目的講師をしています。日々、生徒の前に立ち、物事を伝え、心を動かし続けるのは容易ではありません。しかし、それをを目指して努力を続けられるのは、在学中のさまざまな経験があつたからこそだと確信しています。講義や実習を通して多くの知識を得ましたが、特に卒業研究に取り組む中で「一つのことを徹底的に追究することの大切さ」を学びました。また、友人と共同で主催した100人規模のイベントを通して、人の心を動かし協力して成功させることの難しさや楽しさを知りました。大学時代の先生方や友人、そして家族、多くの方に支えられてきた自覚と感謝の心を忘れず、生徒たちが夢を叶えるのを支えていこうと思います。



研究での経験や考え方が
実務につながっている

北居 潤

マツダ株式会社

(2015年3月 情報科学部研究科 博士前期課程 システム工学専攻 修了)

私は、自動車の企画・開発から生産までのプロセスと、特に開発の実務を知るために、現在、配属先の技術本部から車両開発本部に3年間留学しています。車両開発本部では、車両実研部・強度実研グループにおいて、自動車用ドア、ボンネット類の信頼性・商品性を担当しており、お客様に安心・安全と快適な操作性をご提供するための開発を行っています。まだ学ぶべきことが非常に多いですが、責任がありやりがいを感じています。大学時代はメカトロニクス研究室に所属し、人間と機械に関する研究をしていました。その時に習得した計測技術や信号処理、統計処理の技術は今の業務に直結しています。また、課題にぶつかった時、大学の研究で学んだ課題解決の考え方方が役立っていて、突発的な不具合に対しても迅速な対応がとれています。日々の業務を通して、大学での経験や考え方方が生かされていると実感しています。

就職先・進路(芸術学部)

芸術学部で修得した知識と技術を生かして、さまざまなクリエイティブの現場で活躍しています。

また、さらなる表現を追求し、進学、留学、そしてアーティストへ。

企業に就職

ものを創り、その意味を伝える。芸術学部で培ったスキルと感性は、“今”という時代だからこそ、さまざまな業種で求められています。自分の力を示す、あらゆる可能性がそこにはあります。

■主な就職先（五十音順）

- 櫻アートフリーク
- 櫻アクタス
- 櫻石井表記
- 櫻インフォ・エヌ
- 櫻内田洋行
- 櫻ウッドワン
- 櫻小峰玩具製作所
- 櫻家庭学習研究社
- かめや釣具㈱
- 川崎重工業㈱
- 櫻ガッシュ・エアスタジオ
- ガレリア・レイノ㈱
- TBカワシマ㈱
- 櫻キタムラ
- 岐阜信用金庫
- キヤノンマーケティングジャパン㈱
- 櫻DNP西日本
- 岩信用金庫
- 櫻呂竹
- 櫻渕水社
- 櫻研創
- 櫻幻生社
- 櫻広告通信社
- コクヨマーケティング㈱
- 櫻コトブキ
- 櫻コナミデジタルエンタテインメント
- 櫻コロプラ
- 櫻心石工芸
- 産興㈱
- 櫻サンライズ

- 櫻ザメディアジョン
- 櫻資生堂
- 櫻シグマ
- 櫻スタジオプラスボ
- 櫻ステージュニオン広島
- 櫻スマイルデザイン㈱
- 櫻スペース
- 櫻エーム・ジャパン㈱
- 櫻創ホーム㈱
- 櫻ソララ
- 櫻体育社
- 櫻中国四国博報堂
- 櫻TSSソフトウェア
- 櫻ティ・エス・プロダクション
- 櫻GKデザイン総研広島
- 櫻デジタライズ
- 櫻テレビ朝日クリエイト
- 櫻テレビ東京コミュニケーションズ
- 櫻テンポスポットドットコム
- 櫻電通
- 櫻東急ハンズ
- 櫻トッパングラフィックコミュニケーションズ
- トヨタ紡織㈱
- トライボット・デザイン㈱
- 櫻ニシキプリント
- 西日本印刷㈱
- 任天堂㈱
- ユーペルメディア㈱
- 櫻ノエビア
- パナソニック㈱

大学院に進学

芸術学部の卒業生のうち、例年約4割の学生が、自己の表現を追求し、探求するために本学の大学院に進学しています。また、各々の専門性を高めるため、国内や海外の大学の大学院に進学する学生もいます。さらに、より高度な研究を目指して博士前期課程を修了し、作家、クリエーター、デザイナー、キュレーター等として活躍する卒業生を輩出しています。

創作活動・美術教育

卒業後も作家やクリエーターを目指して作品制作に励む者も少なくありません。その活躍は、国内の公募展や国際的コンペティションなどで数多くの入賞実績を数え、多方面のメディアに取り上げられています。個展やグループ展を開催するなど活躍の場を広げたり、新たな創作環境を求めて海外に活躍の場を展開する卒業生もいます。また、広島市教員、広島県教員をはじめ、大学、専門学校、高等学校、中学校などの教育現場で美術指導を行う教員となる卒業生も数多くいます。

Voices (卒業生)



学生時代に身に付けた作品への姿勢と根気強さが今の仕事に生きている

伊東 静穂

株式会社半田九清堂

保存修理技術者

(2013年3月 芸術学部美術学科 日本画専攻 卒業)

半田九清堂は東洋の絵画や書跡、歴史資料、染織品を修理する会社です。私はここで修理、調査や記録、材料づくり等幅広いかかわり方で修理の対象と向き合っています。在学中の「よい作品のために努力する姿勢」は修理の現場でも共通していると感じています。例えば制作や鑑賞をするうちに持った「どうやって描かれた絵なのかを探る視点」は、修理するものの状態を調査する上で必要な見方に通じると考えています。裏打ち実習や講義で学んだ方法を制作に取り入れることで、作品への効果や描く前の準備の重要性を実感でき、繰り返し行うことで技術面でも練習になりました。また制作で身に付いた根気強さは今の仕事でも必要なものでした。仕事を始めてみるとこうした姿勢やものに対する興味・探求心が重要なことに気付かされ、在学中に制作に打ち込めたことは私の財産になっていると感じます。



展覧会企画や場所づくりといった創作活動の幅広さが新たな活動を生む

今井 みはる

公財)みやうち芸術文化振興財団

アートギャラリーミヤuchi 学芸員

(2007年3月 芸術学研究科 博士前期課程 造形計画専攻 修了)

学部時代は空間造形(現:現代表現領域)に所属しており、先生や先輩たちが病院跡地といったギャラリー以外の空間を利用した展示をすることが多く、漠然とそういう姿に憧れしていました。ただ作品制作は苦痛で、院生の時に旧社員寮などで展覧会を企画したことが転換期となりました。自分の作品云々よりも、作品を空間に合わせて展示することや来場者が展覧会を通してコミュニケーションを楽しんでいる姿に喜びを感じました。展覧会をつくる側として、研究室で当時運営していた広島アートプロジェクトに院生から約7年かかり、多くの人と共に事業を展開していく難しさの中で、柔軟に対応していくことの大切さを学びました。展覧会だけではなく場所やコミュニティをつくるといった創作活動の幅広さを知るきっかけとなり、現在のギャラリーでもジャンルにこだわらずさまざまな創造活動を行う人たちと新たな取り組みにチャレンジしています。

Website

ウェブサイト紹介

◎トップページ

本学に関する最新の情報をることができます。ウェブサイトは、随時更新しています。

学部・大学院

大学の授業や、大学院について
もっと知りたい方はこちら。

イベント情報

オープンキャンパスの情報など、大学
の最新情報をすることができます。

入学案内

入学に関する大事な情報を随時掲載し
ています。まずはこちらをクリック。



今週の展覧会

本学の学生、教員や卒業生が開催
する展覧会の情報をについて知るこ
とができます。

※背景は毎月変更しています。季節を感じるデザインもぜひお楽しみください。

いちだい 知のトライアスロン

読書・映画鑑賞・美術鑑賞を推進
する教育プログラムです。

「夢ナビ」は、株式会社フロムページが管理運営して
いるインターネット上のサービスサイトです。「関心
ワード」に対応した学問分野の「夢ナビ講義」(ミニ
講義)を検索することができます。また、大学案内の
資料請求ができるなど、さまざまな機能があります。



「夢ナビ」は広島市立大学ウェブサイトにあるこのバナーから!
<http://yumenavi.info>



◎キャンパスライフ

大学生活についてもっと知りたい方はこちらをご覧ください。



課外活動

クラブ・サークルに
に関する情報を紹介
しています。

◎大学紹介

大学の概要や基礎データ、広報に関する情報などを掲載しています。



Voices

(在学生・卒業生紹介)

本学の学生や卒業生の
紹介「Voices」です。
ロングインタビューな
ど、ウェブサイトならで
はの情報が満載です。



◎携帯電話からもご覧いただけます。

<http://m.hiroshima-cu.ac.jp/>

入試情報

募集人員

学部	学科・専攻	入学定員	募集人員						
			一般入試		特別入試				
			前期日程	後期日程	推薦入試 市内公募	全国公募	自己推薦 入試	外国人留学生入試	※(注2)参考
国際学部	国際学科	100	60	20	10	10	—	若干名	
情報科学部 ※(注1)参照	情報工学科	210	130	40	20	20	—	若干名	
	知能工学科								
	システム工学科								
芸術学部	医用情報科学科	40	30	10	—	—	—	若干名	
	日本画専攻								
	美術学科								
	油絵専攻								
芸術学部	彫刻専攻	10	—	7	—	3	若干名	若干名	
	デザイン工芸学科								
	※各学科・専攻								

注1)情報科学部の募集は学部一括で行い、学科への配属(情報工学科・知能工学科・システム工学科定員各60名、医用情報科学部定員30名)は本人の希望および1年次の成績により、2年次進級時に実施します。

注2)外国人留学生入試の募集人員「若干名」は、一般入試の募集人員に含まれます。

試験日程

	出願期間	個別学力検査等期日	合格発表
推薦入試 (国際学部・情報科学部のみ)	2016年11月1日(火)～11月7日(月)	2016年11月19日(土)	2016年11月30日(水)
自己推薦入試 (芸術学部 美術学科 彫刻専攻のみ)	2016年10月26日(水)～11月4日(金)	2016年11月19日(土)	2016年11月30日(水)
一般入試前期日程	2017年1月23日(月)～2月1日(水)	2017年2月25日(土) (芸術学部は下表の日程)	2017年3月7日(火)
一般入試後期日程		2017年3月12日(日) (芸術学部は下表の日程)	2017年3月21日(火)
学科・専攻	日程区分	個別学力検査等の日程	
美術学科	日本画専攻	後期日程	2017年3月12日(日)～3月15日(水) 4日間
	油絵専攻	前期日程	2017年2月25日(土)～2月28日(火) 4日間
	彫刻専攻	後期日程	2017年3月14日(火)～3月15日(水) 2日間
デザイン工芸学科	前期日程	2017年2月25日(土)～2月26日(日) 2日間	
	後期日程	2017年3月14日(火)	1日

(注)外国人留学生入試の日程は、国際学部・情報科学部・芸術学部美術学科油絵専攻およびデザイン工芸学科については、一般入試前期日程と同じです。芸術学部美術学科日本画専攻専攻および美術学科彫刻専攻については、一般入試の後期日程と同じです。

入学料・授業料 ※金額は、2016年4月現在のものです。料金改定が行われた場合には、改定後の料金が適用されます。

・入学料(入学手続時に支払い) 広島市内の者 282,000円 左記以外の者 423,000円

・授業料(4月と10月に半期分を支払い) 年額 535,800円

入試の実施状況(2016年度)

学部	学科・専攻	試験区分	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	倍率
国際学部	国際学科	推薦入試(市内公募)	10	14	13	8	1.6
		推薦入試(全国公募)	10	37	37	17	2.2
		前期日程	60	167	153	73	2.1
		後期日程	20	193	95	24	4.0
		外国人留学生入試	若干名	11	7	5	1.4
情報科学部	情報工学科 知能工学科 システム工学科 医用情報科学科	推薦入試(市内公募)	20	31	31	22	1.4
		推薦入試(全国公募)	20	47	47	22	2.1
		前期日程	130	452	406	161	2.5
		後期日程	40	717	211	53	4.0
		外国人留学生入試	若干名	3	3	1	3.0
芸術学部	美術学科	日本画専攻	後期日程	10	42	29	14 2.1
		油絵専攻	前期日程	20	47	46	27 1.7
		彫刻専攻	自己推薦入試	3	15	12	4 3.0
	デザイン工芸学科	日本画専攻	後期日程	7	29	25	11 2.3
		油絵専攻	前期日程	30	111	108	36 3.0
	※各学科・専攻	外国人留学生入試	若干名	0	—	—	—

試験教科等

【一般入試】

学部・学科・専攻	学力検査等区分	大学入試センター試験の利用教科等	個別学力検査等
国際学部	前 期	「国」「地歴または公民」「数」「理(基礎を付した科目から2、または物、化、生、地学から1)」から2と「外」	小論文
	後 期	〔3教科3科目(4科目)〕	総合問題
情報科学部	前 期	「国」「数(2科目)」「理(物、化、生から1)」「外」	数学、英語、理科 (物理または化学)
	後 期	「数(2科目)」「理(物)」「外(英)」 〔3教科4科目〕	数学
芸術学部	日本画専攻	後 期	実技検査
	油絵専攻	前 期	実技検査
	彫刻専攻	後 期	実技検査
	前 期	〔3教科3科目(4科目)〕	実技検査
	後 期		実技検査

注)詳細および推薦入試、自己推薦入試、外国人留学生入試については、学生募集要項で確認してください。

学生募集要項の請求方法

自己推薦入試学生募集要項は2016年7月下旬に、推薦入試学生募集要項は2016年9月上旬に、一般入試学生募集要項および外国人留学生入試学生募集要項は、2016年11月下旬に発表する予定です。

① テレメールを利用して請求

携帯電話・スマートフォンで右のバーコードを読み取り、 テレメールにアクセスしてください。

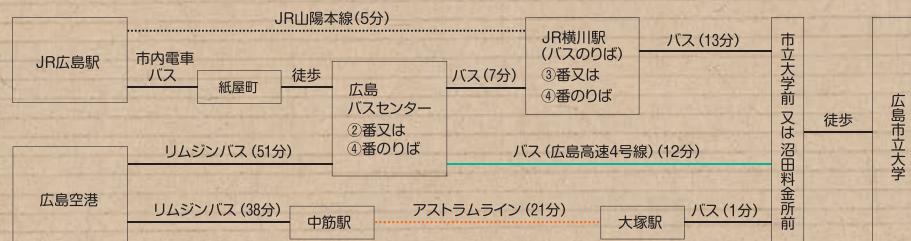


② 大学情報センターの「モバッちょ」を利用して請求

携帯電話・スマートフォンで右のバーコードを読み取り、モバッちょにアクセスしてください。

◎その他の請求方法については、本学ウェブサイトの「資料請求」をご覧ください。

ACCESS MAP アクセスマップ



*「市立大学前」バス停から大学までは徒歩すぐ、「沼田料金所前」バス停から大学までは徒歩8分かかります。

●所要時間は目安です。

●広島バスセンター発「くすの木台」・「沼田ループ右回り 広島駅」方面行きのバスは、「市立大学前」バス停を経由します。

広島バスセンター発横川駅経由「花の季台」・「こころ西風梅苑」・「こころ産業団地」・「こころ南」方面行きのバスには、

「市立大学前」バス停を経由する便としない便とがあります。「市立大学前」バス停を経由しない便では、「沼田料金所前」バス停で下車してください。

Memo





広島市立大学 大学案内 2017

監修／広島市立大学企画・広報委員会
印刷／株式会社中本本店
発行／広島市立大学
発行日／2016年7月1日
撮影／橋本健佑(広島市立大学 写真映像教務員)
粟根靖雄(HYDE PARK)

広島市立大学は、公益財団法人大学基準
協会による大学評価において、大学基準
に適合していると認定されています。





3つのひかり 未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University

〒731-3194
広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号
tel.082-830-1500(代) fax.082-830-1656
<http://www.hiroshima-cu.ac.jp>

